

武蔵野市エコプラザ（仮称）の整備に向けた  
市の基本的な考え方

平成30（2018）年11月

武 蔵 野 市

# 目 次

はじめに	3
I 求められる環境啓発の取り組み	4
1 地球温暖化を背景とした啓発の取り組み	4
2 エコプラザ（仮称）から啓発する意義	4
II エコプラザ（仮称）検討の経緯	5
1 新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会の検討	5
2 武蔵野市エコプラザ（仮称）検討市民会議における検討	6
3 市民意見の聴取	7
III 基本理念	8
1 エコプラザ（仮称）が目指すもの	8
2 コンセプト	9
IV 機能	10
1 エコプラザ（仮称）の位置付け	10
2 エコプラザ（仮称）の機能	10
V 連携、協力	11
1 多様な主体との連携、協力	11
2 市の環境啓発事業の整理、再編	12
3 市の環境啓発事業との連携、協力	12
4 環境を切り口とした他分野事業との連携	13
VI 管理運営	13
1 運営の考え方	13
2 運営にかかるコスト	14
3 評価、検証のあり方	14
4 運営上の留意点	15

Ⅶ	空間の利用	16
1	ごみ処理施設にあるエコプラザ（仮称）	16
2	リノベーション方針	17
3	機能と各階の配置構成	19
4	機能と空間利用	20
Ⅷ	スケジュール	22
1	「市の基本的な考え方」決定までのスケジュール	22
2	全体スケジュール	22
	資料編	23
1	環境について考える中高生世代ワークショップ*実施概要	24
2	エコプラザ（仮称）整備に向けた一般向けワークショップ実施概要	26
3	エコプラザ（仮称）×モノづくりワークショップ実施概要	28
4	エコマルシェ・環境フェスタブース出展実施概要	31
5	地球温暖化についての講演会実施概要	40
6	市民団体へのアンケート調査結果概要	44
7	庁内推進本部実施状況	51
8	先進施設視察概要	52
9	武蔵野市エコプラザ（仮称）の整備に向けた市の基本的な考え方（案）への意見及び取り扱い方針	57
10	用語解説	75

文中の「\*」印をつけた用語について、言葉の意味などを、資料編「10 用語解説」に記載しています。

## はじめに

武蔵野市エコプラザ（仮称、以下「エコプラザ（仮称）」という。）は、武蔵野クリーンセンター（以下「クリーンセンター」という。）の建て替えに伴い、新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会の議論の中で、エネルギー供給施設エコセンター（仮称、新工場棟）とともに、ライフスタイルの変化やごみの減量を促す環境啓発の拠点として提案された施設です。

昭和59（1984）年から、市民生活に欠かせないごみ処理を担ってきた旧クリーンセンターの建物の一部を改修して使うことで、本市のごみ処理の歴史を次代に残すとともに、もったいない、ガレキを出さないといった環境面にも配慮した施設として、平成32（2020）年11月の開設を目指しています。

昨年2月には、同協議会から報告された「エコプラザ（仮称）事業のあり方中間まとめ」を受けて、全市的な視点で施設のあり方について検討する武蔵野市エコプラザ（仮称）検討市民会議を設置しました。同市民会議では、多様な環境問題や環境の大切さ、つながりなどを考え、環境に配慮した行動を促す施設として検討が進められ、この8月に検討結果がまとめられました。

この検討結果を受けて、市では「エコプラザ（仮称）の整備に向けた市の基本的な考え方（案）」を作成し、9月15日号市報で公表、パブリックコメントを実施するとともに、オープンハウス形式によるヒアリングや無作為抽出ワークショップを行いました。

いただいたご意見を反映し、このたび、「エコプラザ（仮称）の整備に向けた市の基本的な考え方」を決定しました。

今夏も、地球温暖化が原因とみられる強い台風やゲリラ豪雨などの気象災害により、全国各地で多くの方が深刻な被害を受けました。私たちが心豊かに暮らし続けていくために、また、次代を担う子どもたちに持続可能な未来をつなぐために必要なエコプラザ（仮称）のあり方を示したものです。

今後は、管理運営のあり方や空間の具体的な利用方法、実際に行うプログラムなどについて順次検討を行い、より良い施設となるよう開設準備を進めてまいります。

平成30（2018）年11月

武蔵野市長 松下 玲子

## I 求められる環境啓発の取り組み

### 1 地球温暖化を背景とした啓発の取り組み

地球規模で気温や海水の温度が上昇し、氷河などが縮小する地球温暖化は、気温の上昇だけでなく、熱波や大雨、干ばつなど、様々な気候の変化をもたらしている。地球の気温は今後も上昇し続けると予測されており、生態系や水資源\*、食糧、健康などに深刻な影響が生じると考えられている。

地球規模で気温が上昇している原因は、産業革命以降の人間の活動によって生じる温室効果ガスが増加したことによる可能性が高いと考えられており、その対策としては、地球温暖化に及ぼす影響がもっとも大きな温室効果ガスである二酸化炭素の排出を削減することにある。二酸化炭素の排出削減は、私たちの日々の暮らしの中でも、例えば節電・節水など、誰もが身近な取り組みとして実践することができる。

私たち人間は、地球生態系の一部であり、これと共生する社会をつくる主人公であるとの自覚をもって、低炭素社会\*づくりに参加し、二酸化炭素の排出を削減するための様々な取り組みを実践し、その情報を発信し、共有していくことが重要である。

地球温暖化問題に関して正しい知識をもち、自然に対する慈しみ、次世代に対する責務により、環境に配慮した市民生活を実践するためには、ごみをはじめ、資源、エネルギー、緑、水循環、生物多様性\*など、多様な環境問題と環境の大切さ・素晴らしさ、日常生活と環境問題とのつながりなどについて啓発し、市民一人ひとりの環境に配慮した行動を促していく必要がある。

### 2 エコプラザ（仮称）から啓発する意義

武蔵野市のごみは、昭和33（1958）年から三鷹市の「ふじみ処理場」で同市と共同処理を行っていたが、昭和45（1970）年頃になると、周辺住民から、騒音や悪臭、ばい煙などの被害を訴える声が上がリ、本市のごみの搬入に対する抗議運動が起こった。翌昭和46（1971）年には、市内のごみは市内で処理する「自区内処理」を求められ、本市のごみの搬入が阻止される事態となり、ごみ処理施設を市内に設置する方向性が市議会で示された。

建設用地の選定は難航し、近隣住民の方々との度重なる意見交換が行われた結果、当時、市営総合グラウンドのあった現在の敷地に決定した。

昭和56（1981）年には、近隣住民の方々や専門家、行政関係者による「クリーンセンター・まちづくり委員会」が発足し、3年間で75回の討論を重ね、5回の中間報告と、「ごみの処理・リサイクル」「周辺土地利用」「まちづくりの取り組み方」などに関する3回の提言がまとめられた。

旧クリーンセンターは、こうした市民参加の議論を経て、昭和59（1984）年10月に稼働し、昨年4月、新しいクリーンセンターが稼働するまで本市のごみを処理し続けてきた。旧クリーンセンターの建物の一部を、ごみ問題をはじめとする低炭素社会\*づくりに向けた環境啓発の発信拠点として、今後も引き続き活用し、この施設を通して市民にごみ処理への理解を求めていくことは、これまでごみ処理施設として旧クリーンセンターが歩んできた経緯を踏まえると重要な意義がある。

## Ⅱ エコプラザ（仮称）検討の経緯

### 1 新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会の検討

平成 22（2010）年 2 月に設置した新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会（以下「周辺整備協議会」という。）は、学識経験者や周辺地域の方、関係市民団体の代表者などで構成され、現在の第四期に至るまで、新施設の機能や周辺のまちづくりなどについて、様々な議論を重ねてきた。

期	エコプラザ（仮称）に関わる検討内容	
第一期	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境への配慮などから事務所棟とプラットホーム*を再利用し、地球温暖化を考える環境啓発の拠点エコプラザ（仮称）を整備する</li> <li>ごみを通じて低炭素社会*に向けた行動を促す場とする</li> </ul>	
第二期	エコセンター（新しい工場棟）との共通の基本理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>低炭素モデルの実現</li> <li>地域力の向上</li> <li>まちづくりとの連携</li> </ul>
	具体的な取り組みの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフスタイルを変える</li> <li>ごみ減量につなげる</li> </ul>
	対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>広く全市民</li> </ul>
	必要な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境啓発機能 ⇒ごみから学ぶ</li> <li>リユース*・リサイクル（アップサイクル*）機能 ⇒ごみから新たな価値あるものを創る</li> <li>交流・ネットワーク・情報発信機能 ⇒ごみを媒介に対話を生み出す</li> </ul>
	運営のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての市民が利用でき、市民のしたいことをサポートできる運営</li> <li>人材育成やネットワーク、地域力を重視した運営</li> </ul>
第三期	<ul style="list-style-type: none"> <li>先進施設への視察</li> <li>アップサイクルに関する事例研究</li> </ul> ⇒これまでの検討内容を第四期周辺整備協議会へ引き継ぐ	
第四期	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一期から第三期までの検討内容の再整理</li> <li>地球温暖化を背景に、ごみへの関心を拡大する相乗効果を図るため、広範な環境啓発機能を付加する</li> </ul>	

## 2 武蔵野市エコプラザ（仮称）検討市民会議における検討

平成29（2017）年2月、公募市民や市民団体などの代表者、事業者の代表者、教育関係者、学識経験者、行政関係者で組織した武蔵野市エコプラザ（仮称）検討市民会議（以下「市民会議」という。）を設置した。委員間の情報共有を図りながら、第四期周辺整備協議会から報告された「エコプラザ（仮称）事業のあり方中間まとめ」を基に、全市的な視点で環境啓発施設のあり方について、活発な意見交換を行ってきた。

今年8月には、施設の理念や機能、運営、空間利用などについて、市民会議の検討がまとめられている。

検 討 内 容	
目指すもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低炭素モデル地域の実現</li> <li>・地域力の向上</li> <li>・まちづくりとの連携</li> <li>・生活・地域とのつながり</li> </ul> ⇒これらを目指すことでSDGs（持続可能な開発目標 17 項目 P9※参照）の達成に貢献する
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで作ろう！子どもたちに未来をつなぐエコプラザ</li> <li>・コンセプトを表す環境を切り口とした4つのキーワード 「共」すべての人、団体、事業者、行政が<b>共</b>に参加する 「創」既にあるものにとらわれず、柔軟に新しい価値を<b>創</b>り出す 「継」持続可能な環境を子どもたちの未来に引き<b>継</b>ぐため、大人が責任をもつ 「場」人、知恵、情報が集い、交流することができる<b>場</b>をつくる</li> <li>・基礎にある考え方 「クリーンセンターの歴史の継承」、「市民参加」、「異なる主体の協働による課題の解決」、「進化、成長」、「ごみゼロ」</li> </ul>
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集・伝達：専門的・客観的な情報、アーカイブ*、情報の伝達</li> <li>・学ぶ・学び合う：展示、参加・体験・体感、行動・活動、探究・創造 ESD（持続可能な開発のための教育、以下※参照）</li> <li>・つなぐ：環境分野をつなぐ、人と人をつなぐ、世代をつなぐ</li> <li>・はぐくむ・育てる：環境への興味・関心をはぐくむ、活動を育てる</li> <li>・支える：相談、支援</li> </ul>
運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過渡的な運営体制から始め、5年間を目途に将来の運営体制のあり方を検討する</li> </ul>
空間利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラットフォーム：モノづくり工房ゾーン、フリーゾーン</li> <li>・事務所棟 1階：エコカフェ・情報ゾーン</li> <li>・事務所棟 2階：アーカイブ・市環境啓発ゾーン</li> </ul>

※ESD（Education for Sustainable Development）とは、単なる知識の習得や活動の実践にとどまらず、日々の取り組みの中に、持続可能な社会の構築に向けた概念を取り入れ、問題解決に必要な能力・態度を身に付けるための工夫を継続する教育をいう。

### 3 市民意見の聴取

#### (1) イベントなどにおけるアンケート調査

本市では、無作為抽出ワークショップ\*や環境イベントへの出展、講演会などを利用して、エコプラザ（仮称）に関する様々な意見を伺う機会をつくってきた。アンケート調査結果（P24～43 資料編1～5参照）では、エコプラザ（仮称）に期待することや、どんな機能があったら行ってみたいかとの問いに対し、常に一番多く得られた回答は「環境学習・体験の場」で、幅広い世代から体験しながら環境のことを学べる場が望まれていることが窺えた。

また、「環境遊具・環境教材等の貸し出し」や「省エネ等の最新技術の紹介」などの機能にも期待が寄せられている。

■エコプラザ（仮称）にどんな機能があったら行ってみたいか？（複数回答可）			
環境学習・体験の場の提供	70人	活動する人と活動の場のマッチング	15人
環境遊具・環境教材等の貸し出し	40人	人材発掘、ボランティア養成	13人
省エネ等の最新技術の紹介	26人	環境ライブラリ	12人
活動する人同士の交流の場	20人	その他	10人
環境情報の収集・発信	19人	回答者数 99人	

※平成30（2018）年6月実施エコマルシェにおけるアンケート調査結果より

#### (2) 環境市民団体へのアンケート調査

今年7月に行った環境市民団体へのアンケート調査結果（P44～50 資料編6参照）では、団体の抱える課題やエコプラザ（仮称）でできたら良いことなどを調査した。団体が抱える課題としては「活動場所」「活動内容の周知」「運営体制」「資金の確保」などが多く、エコプラザ（仮称）でできたら良いことでは「環境学習・体験事業」「相談・アドバイス・活動をサポートする仕組み」「子どもや親子が遊び、学べる設備・教材・場所」「エコな暮らし方につながるスキルを市民同士で教え合う・学び合う機会」などに多くの回答が得られた。

#### ■ 貴団体が活動に取り組む中で、どのような課題がありますか。

① 活動する場所	17
② 展示やイベントの開催	14
③ 活動に必要な環境問題などの情報の入手	9
④ 活動に対する、行政や民間団体による支援制度の情報入手	10
⑤ 他団体との意見交換、事業の連携・協力	12
⑥ 団体の運営体制	15
⑦ 活動資金の確保	15
⑧ 活動内容の周知	17
⑨ その他	7

※平成30（2018）年7月実施環境市民団体への環境に関するアンケート調査結果より

■貴団体の活動にかかわらず、エコプラザ（仮称）でできたらよいと思うことは何ですか。その期待の度合いを5段階でお答えください。

エコプラザ（仮称）でできたらよいと思うこと	期待度				
	5	4	3	2	1
① 最新の環境情報を入手できる。	9	13	8	2	1
② 個人・団体が環境に関する情報を発信できる。	11	9	7	3	1
③ エコな暮らし方につながるスキルを市民同士教え合う、学び合う機会がある。	13	11	4	3	1
④ 子ども同士や親子連れで、遊び、エコについて学べる設備・教材・場所がある。	12	14	5	0	2
⑤ 環境について学びたい、活動したいときに、同じ悩み、課題意識を持つ市民同士をつなげてくれる。	14	8	9	2	0
⑥ 環境について学びたい、活動したいときに、相談、アドバイスを受けたり、活動をサポートしてくれる仕組みがある。	14	14	5	0	0
⑦ エコに関連した市民の漠然としたアイデア・悩みに耳を傾けてくれて、それを実現・解消するための様々な方法を示してくれる。	9	12	7	2	1
⑧ エコプラザ（仮称）の空間を生かした活動のアイデアを受け付けてくれる。	9	12	8	1	1
⑨ 環境学習・体験事業（講座、イベント等）に参加できる。	14	14	4	0	1
⑩ 訪れた人が、何気なくエコな暮らしに関心を持つような仕掛けがある。	8	17	5	0	1
⑪ 省エネや再生可能エネルギー（太陽光発電など）の最新技術を知り、体験できるなど、エコにつながる暮らし方を学べる。	11	11	9	1	0
⑫ エコプラザ（仮称）で行われた展示・イベントなどの記録を見て、具体的な活動ノウハウを得ることができる。	6	11	10	3	1
⑬ 市内各地域・各施設と連携し、地域への出前型の取り組みができる。	11	10	7	1	1

※平成30（2018）年7月実施環境市民団体への環境に関するアンケート調査結果より

これらのアンケート調査結果において、利用する市民と活動する市民団体の双方から「環境学習・体験の場、体験事業」が期待されており、「環境学習・体験の場、体験事業」がエコプラザ（仮称）の大きな機能の一つになると考えられる。

### Ⅲ 基本理念

#### 1 エコプラザ（仮称）が目指すもの

「日常生活における環境問題への気づき」

⇒日々の暮らしの中に環境問題があることを知る

「低炭素モデルの実現」

⇒気づきを環境に配慮した行動に結びつける

「地域力の向上」

⇒一人ひとりの行動をつなぎ、地域ぐるみの取り組みへと広げる

「まちづくりとの連携」

⇒地域の取り組みを武蔵野市全域へと拡大し、より良いまちづくりを目指す

エコプラザ（仮称）では、これらを目指すことで、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標＝17の目標 P9※参照）の達成に貢献する。例えば、環境に関連した再生可能エネルギー\*の普及や省エネルギー化、地球温暖化対策、循環型社会\*の構築、生物多様性\*の保全などの分野の活動を通じ、持続可能な地域づくりを目指す。

※SDGs（Sustainable Development Goals）とは、平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された、貧困や不平等、格差、気候変動など、様々な問題を根本的に解決し、世界中のすべての人が将来にわたってより良い生活を送ることができるようにするための世界共通の17の目標のことで、平成42（2030）年を達成の期限としている。



1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう*
6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任、つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう

## 2 コンセプト

### (1) エコプラザ（仮称）のコンセプト

「みんなで作ろう！子どもたちに未来をつなぐエコプラザ」

コンセプトを表す環境を切り口とした4つのキーワード

「共」…**共**に参加する

「創」…新しい価値を**創**り出す

「継」…子どもたちに未来を引き**継**ぐ

「場」…交流できる**場**をつくる

### (2) 基礎となる考え方

#### ①多様な環境に関する啓発

地球温暖化を背景に、ごみをはじめ、資源、エネルギー、緑、水循環、生物多様性\*など、多様な環境問題と日々の生活とのつながりを知ることから始めて、行動へと結びつける。

#### ②市民参加・市民提案

創造的な成果を生み出せるように、多くの市民、多世代の市民（在勤者・在学者、NPO、民間事業者などを含む）が共に参加し、交流しながら多様性に富んだ環境に関する取り組みを展開する場。

### ③市民団体・事業者・市など異なる主体の連携

市民、NPO、民間事業者、行政など、異なる主体がそれぞれの強みやノウハウを持ち寄って、共通認識のもと課題に取り組み、地域ぐるみの取り組みをまち全体に広める。

### ④進化しながら磨く

常に完成形としないで、時代や価値観、ニーズの変化などに対応しながら、人も施設も学び合い、新しい価値を創り続ける。

### ⑤クリーンセンターの歴史の継承と連携

エコプラザ（仮称）の原点は本市のごみ問題にあるため、新旧クリーンセンター建設の歴史や議論、成果、関わった方たちの思いなどを次代に引き継ぐとともに、クリーンセンターと連携して、ごみの発生を可能な限り抑制し、持続可能なまちを目指す。

## IV 機能

### 1 エコプラザ（仮称）の位置付け

#### （1）多様な環境啓発と環境に関するネットワークの拠点施設

エコプラザ（仮称）は、地球温暖化を踏まえ、ごみをはじめ、資源、エネルギー、緑、水循環、生物多様性\*など、多様な環境啓発の拠点施設として市内全域へと環境に配慮した行動を促すとともに、環境に関する総合的なネットワークの拠点とする。

#### （2）誰でも利用できる施設

エコプラザ（仮称）は、市民をはじめ、様々な人やNPO、民間事業者など、誰でも利用することができる。また、施設に来なくても情報が得られたり、出張型の取り組みに参加することができたり、利用にあたって様々な選択肢がある。

### 2 エコプラザ（仮称）の機能

エコプラザ（仮称）の基本的な機能は以下のとおりとする。

機能	重要な要素	内容
知る	情報の一元化・体系化	講座やイベントだけでなく、科学的知見や社会動向なども含めた環境に関する様々な情報が一元的に集約・体系的に発信され、常に最新の正しい情報を得ることができる。
	アーカイブ*化	施設で新たに生み出される講座やイベントなどの事業の成果や、活動の記録が残され、閲覧・活用できる。
	情報伝達のノウハウ	効果的な情報の伝え方について相談ができ、ノウハウが得られる。

学 ぶ 学び合う	展示	環境に関心を持つ入口として、視覚に訴えられ、実感・共感が得られる。
	参加・体験・体感	参加したくなる魅力的なイベントや、身体で感じることのできるプログラム・設備がある。
	行動・活動・探究・創造	一人ひとりの思いを行動や地域活動につなぐとともに、考える過程を楽しむ探究の場として、新しい価値が生まれる。
	ESD（P6※参照）	持続可能な社会に何が大切かを理解でき、問題解決に必要な能力・態度が身に付けられる。
はぐくむ 育てる	環境への興味・関心をはぐくむ	小さい頃から環境に親しめるように、気軽に来ることのできる場があり、小さな環境への関心を大きく幅広くはぐくんでいく。
	活動を育てる	環境に関する知識や、活動の立ち上げ・継続に必要なノウハウが得られ、地域における環境活動が育っていく。
つなぐ	環境分野をつなぐ	環境問題は一つの分野を知ると他の分野との関わりに気づき、知識や関心が広がるため、分野を超えた多様な情報・活動が集まり、連携できる場がある。
	人と人をつなぐ	環境を切り口に様々な人と人、活動と活動が出会い、交流できるように、日常的な使い方やイベントなどで、新たなつながりが得られる仕掛けがある。
	世代をつなぐ	子どもには伝統的な知恵を継承し、大人には子どもの感性・発想から学びが得られるような世代間交流の機会がある。
支える	相談	環境に関する「どうして」や「なぜ」といった思いを受け止め、助言をしたり、活動につなげたり、次の段階へとつなげる役割を担う。
	支援	環境活動に取り組む際に課題となる活動場所や資金、広報活動などを解決するための各種相談支援や、具体的な助成制度の紹介などを行う。

## V 連携、協力

### 1 多様な主体との連携、協力

#### (1) 総合的なネットワークの構築

エコプラザ（仮称）では、市民や市民団体、民間事業者など、多様な主体と接点を持ちながら、環境問題を一緒に考え、持続可能な社会を目指す。

環境啓発の取り組みは、市だけでなく、市民や市民団体、民間事業者など、様々な主体がそれぞれの環境分野で行っている。エコプラザ（仮称）では、これまで環境分野ごとに連携してきた市民団体や民間事業者などとの関係を生かし、環境に関する総合的なネットワークを構築する。多様な環境に関する情報の集約やそれぞれの活動の広報、啓発の取り組みに生かすほか、新たなつながりが新たな活動を生み出せるよう検討を進めていく。

### （２）出前・出張型事業の展開

エコプラザ（仮称）では、市内のあらゆる主体と連携することで、様々な施設・場所を活用しながら、環境啓発の取り組みを展開していく。

### （３）全国各地の施設等との連携

全国各地の類似施設や関係自治体、友好都市などとも連携し、各施設や自治体の特徴ある環境の取り組みを参考にしながら、幅広い環境の取り組みを行っていく。

## 2 市の環境啓発事業の整理、再編

市の環境啓発事業については、以下の視点などにより見直しを図り、より効率的・効果的な事業へと再編を進めながら、エコプラザ（仮称）に引き継ぐ事業を検討する。

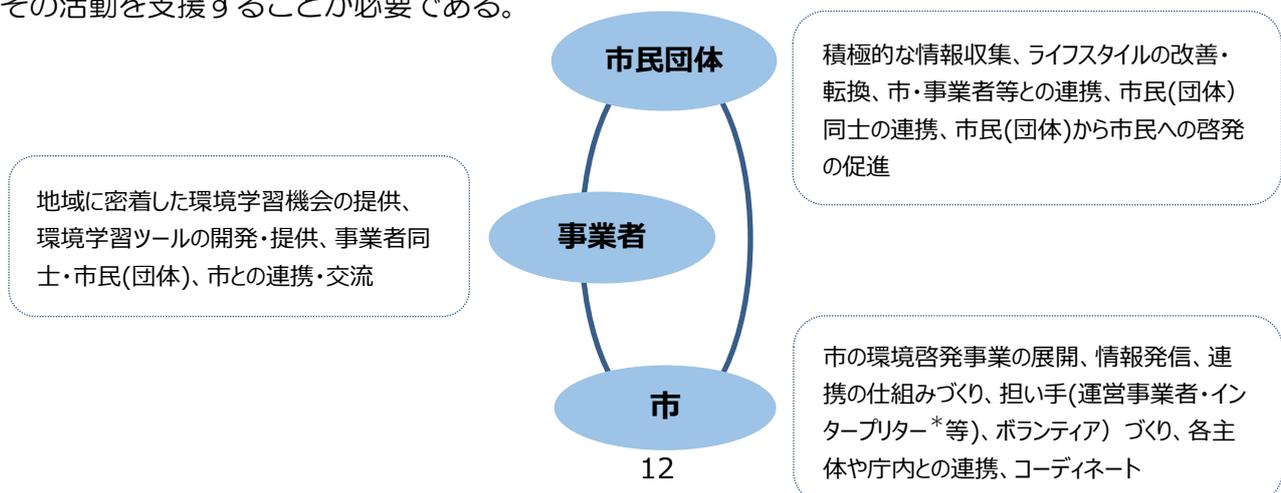
（１）政策目的に立ち返り、目標を明確にするとともに、適切な評価指標を設定し、効果測定を行う。

（２）環境問題の根源・本質を正しく理解できるように、それぞれの事業に見合った環境の歴史や課題、問題点などを正しく伝える。

（３）環境に関心が低い層を対象とする場合は、具体的な活動や行動へとつながるように、継続的・段階的な仕掛けを考える。

## 3 市の環境啓発事業との連携、協力

エコプラザ（仮称）では、市の環境啓発事業を展開していくが、市が行う環境啓発事業の中には、市民団体や民間事業者などが実施した方が、より効果的に啓発できる事業が含まれている。エコプラザ（仮称）では、市民団体や民間事業者が環境啓発の担い手・主体として活躍できる機会を提供し、その活動を支援することが必要である。



## 4 環境を切り口とした他分野事業との連携

市の他の分野の事業の中には、子どもや子育て親子に向けた事業や自然体験事業、文化・教育・福祉・生涯学習など、環境を切り口にエコプラザ（仮称）で展開できる事業がある。市の事業のほか、財政援助出資団体\*の事業についても連携できる事業があることから、今後、施設開設に向けて、より効果の高い連携の取り組みが進められるように、関係課などと協議を進めていく。

## VI 管理運営

### 1 運営の考え方

エコプラザ（仮称）の運営は、将来的には、一定程度の独立性・独自性を生かした取り組みが可能な運営形態を目指していくが、市の環境啓発事業の再編や環境を切り口とした他部署との連携、市の政策目的を反映した事業展開の必要性などを考慮すると、開設当初から当面の間は、市が関与した運営体制が望ましい。

市の環境啓発を担当する部門がエコプラザ（仮称）の施設内で執務することを考慮し、開設から5年を目途に、市の直営体制と個別の事業委託、市民参加を組み合わせた過渡的な運営体制を採用し、その間に、事業の安定化、ノウハウの蓄積、施設や事業に関わる人材の育成などを進め、将来の運営体制のあり方を検討する。

なお、運営にあたり、求められる運営者の資質については以下のとおりである。

#### （1）顔が見える関係の構築

利用者からの信頼を得るために、一人の人間として利用者に接し、お互いが顔なじみとなる関係を築くことができる。

#### （2）耳を傾けて聴く姿勢

利用者からの環境に関する質問・意見・相談に対応する際に、しっかりと利用者に寄り添い、真摯に耳を傾ける姿勢で対応できる。

#### （3）エコプラザ（仮称）の顔

上記2つを表す象徴として、施設の顔となる存在が望ましく、こうした意識を持って運営ができるように、人材を発掘または育成していくことが必要である。

#### （4）環境に関する専門的知識

エコプラザ（仮称）は、ごみをはじめ、多様な環境について啓発する施設のため、広範な環境についての基礎知識、重要分野についての一定の専門的な知見などが必要となる。

#### （5）市民参加事業などの経験

市民提案・市民参加を取り入れた運営を行うためには、類似施設の立ち上げ経験や継続的な市民参加の事業経験のある、コーディネーター\*やファシリテーター\*となれる人材が必要である。

## (6) 情報収集力

他の地域の取り組み事例や市内の環境市民団体の情報などを収集し、整理する力が求められる。

## 2 運営にかかるコスト

運営にかかるコストを算出するには、業務の範囲や開館日・開館時間、事業の実施頻度など、管理運営方針を検討する中で定めていく内容が多く含まれているため、現時点では、運営にかかるコストを直接的に積み上げることは難しい。

今後、本「市の基本的な考え方」に基づき、さらに管理運営のあり方について詳細に検討し、今年度中に管理運営方針を策定する。その中で、運営にかかるコストについても試算する。

## 3 評価・検証のあり方

事業の評価・検証のあり方については、類似の環境学習施設などでも課題とされているが、エコプラザ（仮称）のマネジメント\*として、事業計画の作成・評価・見直しを継続して行っていく必要がある。市民会議のまとめの中では、以下のような手法が挙げられているが、今後、管理運営方針を策定していく中で、引き続き検討していく。

### (1) 事業の評価

一般的に言われる来館者数は、評価の一つの基準となることはあっても、総合的評価として、必ずしも評価基準となるものではない。エコプラザ（仮称）では、活動の結果から生じる市民生活への波及効果を定量的に把握し、価値判断を加えるソーシャルインパクト\*の評価手法を用い、エコプラザ（仮称）独自の効果を測定することが考えられる。

また、様々な事業を実施した結果、SDGs（P9※参照）にどのくらい貢献し、より良い社会になったかを見える化できると良い。エコプラザ（仮称）が目指すものに対し、どれだけ効果があったかをSDGsへの貢献度で評価する。

さらに、学習過程で生徒が作成した様々なものを保管するポートフォリオ（ファイルフォルダに集められた資料や情報のこと）を使った評価も考えられる。個人の変容を質的、総合的に評価するポートフォリオは、個人が変容し、行動につながったことまで評価することができる。

### (2) 事業の検証

エコプラザ（仮称）には、運営について協議する運営に関する協議会を設置し、事業や施設の総合的な評価を行い、年度ごとに報告する。検証結果は翌年度以降の事業計画に生かし、適切にマネジメント\*を行っていく。

## 4 運営上の留意点

### (1) 財政的な支援の必要性

エコプラザ（仮称）は、クリーンセンターの敷地内にあるため、「ごみ処理施設の付帯施設」と位置付けられており、都市計画法上、営利を目的とした事業などは制限され、現時点では財政的な自立を望むことは難しい。また、市の環境啓発部門がエコプラザ（仮称）の施設内に入り、この施設で市の環境施策を推進していくことを考慮すると、一定程度市の財源の投入が必要である。

### (2) クリーンセンター敷地内の一体的な活用

エコプラザ（仮称）は、クリーンセンター旧事務所棟と旧プラットホーム\*だけでなく、クリーンセンター敷地内の新工場棟や新管理棟、芝生広場など、様々な施設やフィールドを使って取り組みを展開し、ごみをはじめとする多様な環境啓発を進めていく。

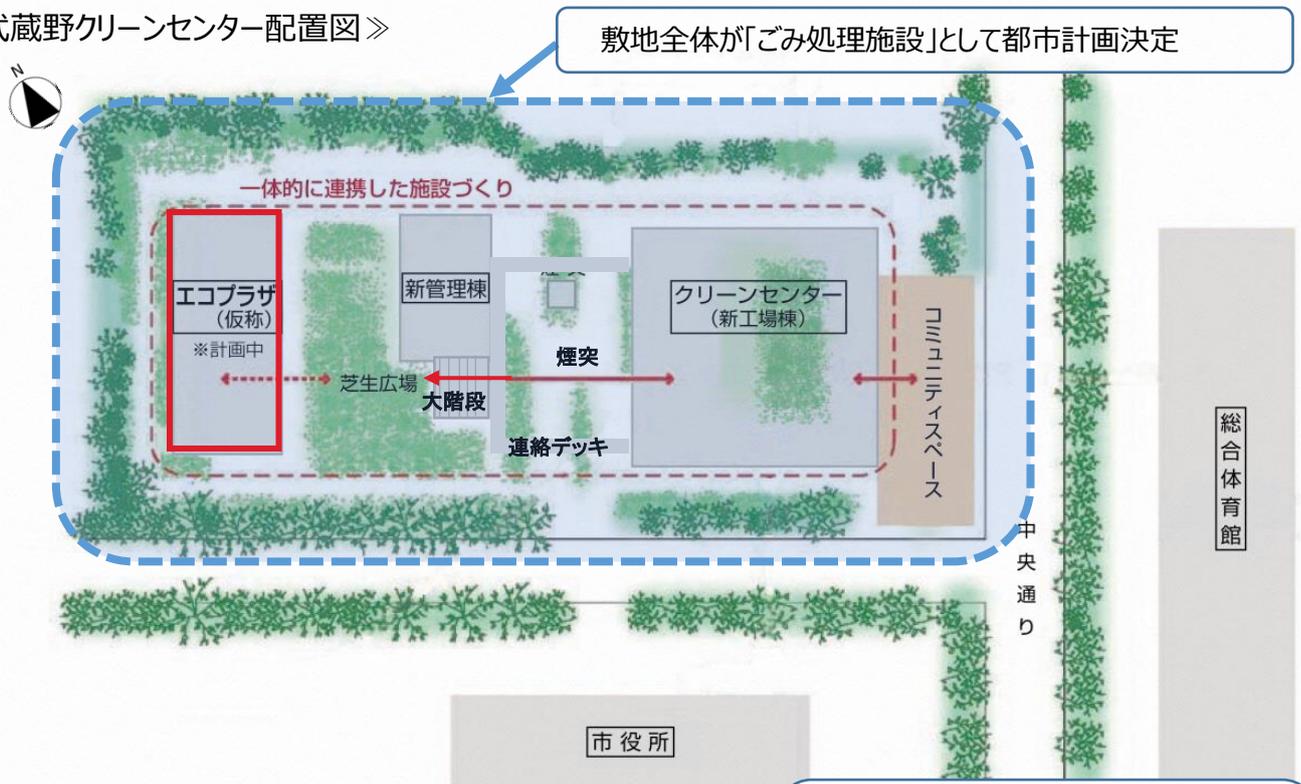
また、クリーンセンターの見学後、エコプラザ（仮称）に移動し、クリーンセンターで集めた廃材を使って工作をしたり、エコプラザ（仮称）のプログラムの一部にクリーンセンターの見学を取り入れたりするなど、ごみ焼却施設の付帯施設ならではの啓発について、今後、検討していく。

## VII 空間の利用

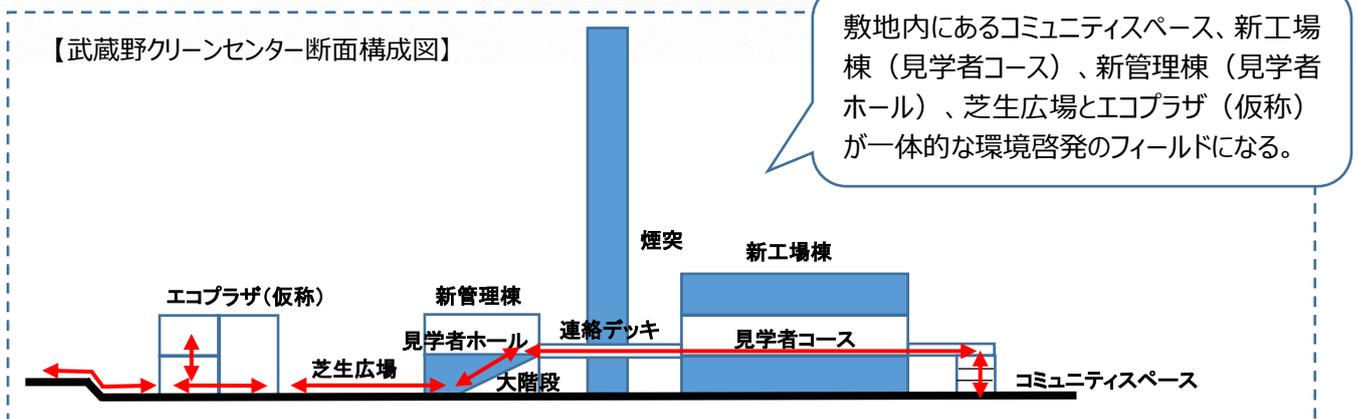
### 1 ごみ処理施設にあるエコプラザ（仮称）

旧クリーンセンターは、昭和 59（1984）年の工場棟稼働以来、本市のごみ処理を担ってきた。平成 29（2017）年 4 月には、さらなる技術進化による高度なごみ処理と廃熱エネルギー利用を実現した新工場棟が本稼働した。クリーンセンターの敷地は「ごみ処理施設」として都市計画決定されており、このことは近隣住民の方々の理解を得て、市民生活に欠かせないごみ処理が担保されていることを意味する。そのため、新工場棟では、安全・安心なごみ処理が責務であり、さらにごみ処理に対する市民の理解が深まるように、見学者コースでごみ処理を見て学ぶことができる。そしてエコプラザ（仮称）（旧事務所棟と旧プラットフォーム\*を減築保全、リユース\*）は、「ごみ処理施設」に存在を残し、市民一人ひとりがごみや環境のトピックを通じて、日常生活と環境問題との多様な接点やつながり・関係性などをより深く考え、学び、行動することにより、SDGs の達成に貢献する未来に向けた環境啓発施設である（平成 32（2020）年 11 月開設予定）。

《武蔵野クリーンセンター配置図》



【武蔵野クリーンセンター断面構成図】



## 2 リノベーション方針

### (1) 事務所棟・プラットホーム\*再利用範囲の検討結果

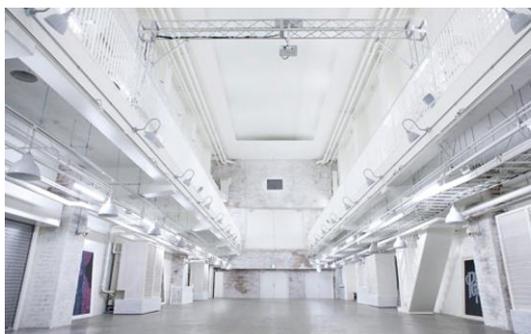
旧工場棟を解体し、事務所棟 1～3 階部分とプラットホームを残置すると、構造バランスが変わるため、構造計算\*を行った。その結果、通常の耐震基準\*（重要度係数=1.0）は確保しているが、市の耐震基準Ⅱ類（重要度係数=1.25）は確保できなかった。そのため、事務所棟 3 階を減築し、加重軽減を図り市の耐震基準Ⅱ類（重要度係数=1.25）を確保した。よって、事務所棟・プラットホーム再利用範囲は事務所棟 1～2 階とプラットホームとした。

概略図			
	事務所棟 事務所棟	プラットホーム	工場棟 解体
規模	2000 m <sup>2</sup> 800 m <sup>2</sup>	(2 階) 600 m <sup>2</sup>	(1 階) 600 m <sup>2</sup> +プラットホーム

### (2) エコプラザ（仮称）リノベーション方針

#### ① リノベーションとは

リノベーションとは、既存の建物に改修工事を行い、性能を向上させたり、付加価値を与えることである。元印刷工場をリノベーションしたオフィス商業複合施設や元学校をリノベーションしたアートセンターなどの事例がある。エコプラザ（仮称）では特にプラットホーム\*の大空間が魅力的であり、この空間を活かした事業展開が重要である。



複合施設「TABLOID」

東京湾岸、役割を終えた巨大印刷工場のリノベーション。ギャラリー、アトリエ、スタジオ、オフィス、カフェなどの複合施設として再生。工場であったという制約を、すべて魅力に反転していく「逆転の発想」。



「3331 Arts Chiyoda」

旧中学校を利用して誕生したアートセンター。地下 1 階、地上 3 階の館内には、アートギャラリー、オフィス、カフェなどが入居し、展覧会だけでなくワークショップ\*や講演会といった文化的活動の拠点として利用されている。

## ②エコプラザ（仮称）リノベーション方針

- プラットホーム\*として使用していた雰囲気を残し、大きく内装改修は行わない。
- プラットホームゾーンは大空間が特徴的であり、この空間を多用に使用できるようにするため、間仕切壁等で仕切らない。
- プラットホームと旧事務所棟 1 階との構造壁 1 か所を撤去（構造計算\*上可）し、出入りを設け、一体的な利用を可能とする。
- 旧事務所棟については既存の内装仕上げを全面的に撤去し、30 年使用の耐用年数を超えた電気・空調・給排水・エレベーター等の設備機器をすべて交換する。（1・2 階共通）
- 内装仕上げはできる限り行わず設備現し\*とし、コスト縮減を図り、シンプルな設えとする。（1・2 階共通）
- 1 階には多目的トイレ、授乳室を完備する。

### 【リノベーション室内空間のイメージ】

イメージ写真



※「産廃からはじまる創造／想像（そうぞう）」展（株）ナカダイHPより

## ③エコプラザ（仮称）の改修費用

- 改修コスト（粗概算）は概ね5.5億円  
（建築 1.194 億円、設備 3.066 億円、旧事務所棟3階解体 1.19 億円）
- 維持管理費概算（年間）は 700 万円（+電気量 300 万円相当）

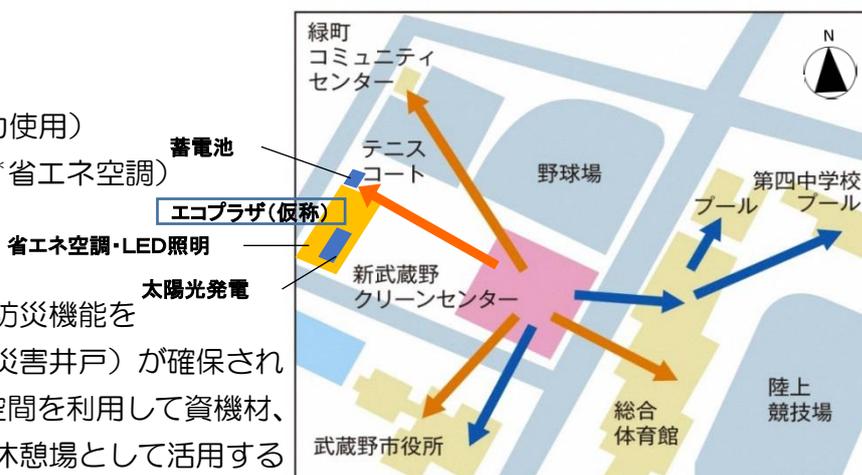
## ④エコプラザ（仮称）のエネルギースペック（性能）

エコプラザ（仮称）は地球環境やエネルギーを考える場であり、市建築物環境配慮指針\*に基づき、環境に配慮した施設とする。環境省の「公共施設等先進的 CO2 排出削減対策モデル事業」により、クリーンセンターごみ発電による公共施設へのエネルギー地産地消\*モデル構築の一環として、エコプラザ（仮称）に電力供給と、以下のエネルギー装置の設置を予定している。

- 太陽光発電システム\*（10kw）
- LED\*照明
- 蓄電池設置（300kwh 夜間電力使用）
- 個別空調（電気式ヒートポンプ\*省エネ空調）

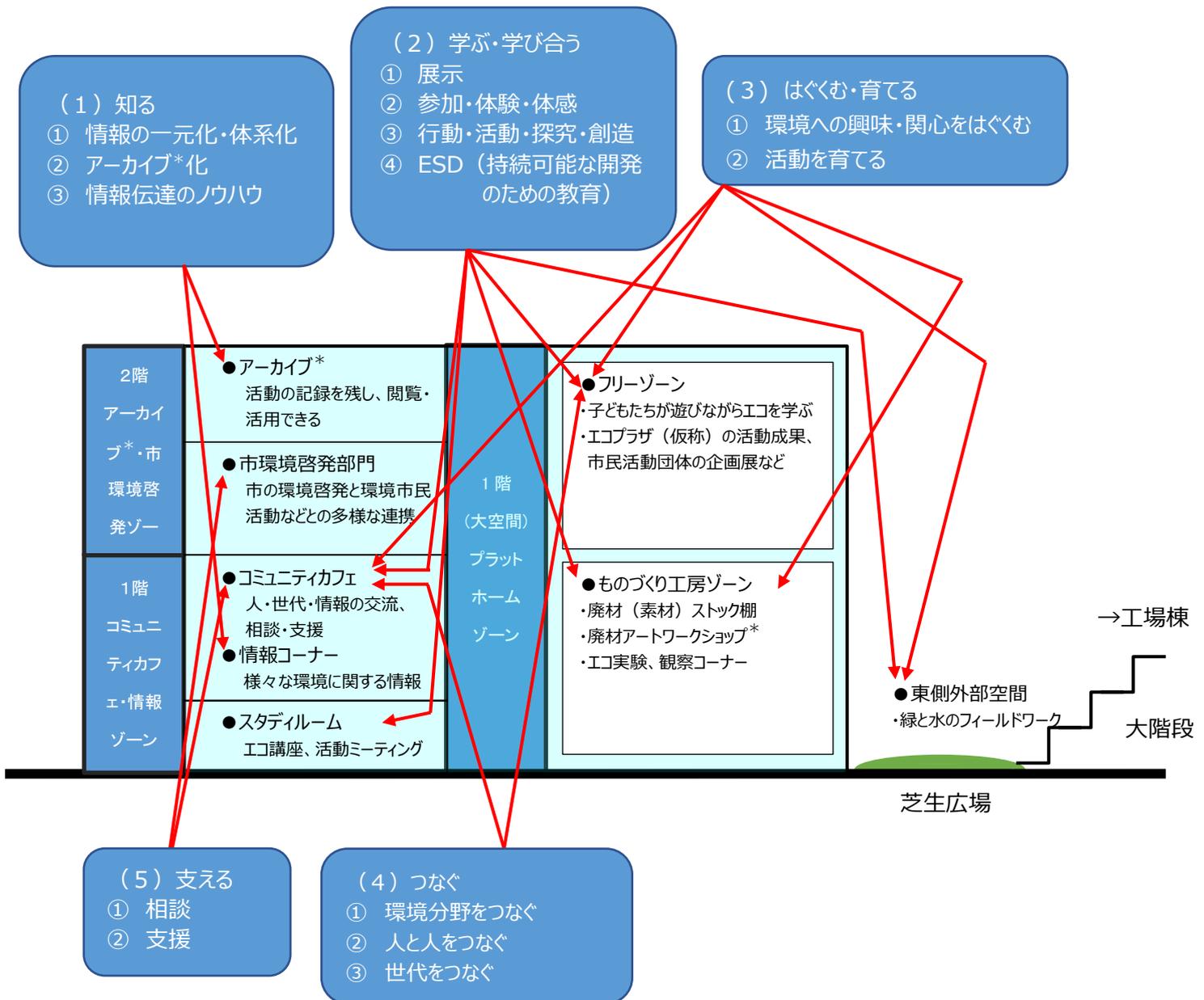
## ⑤エコプラザ（仮称）の防災機能

エコプラザ（仮称）を活用した防災機能を付加する。災害時には電気、水（災害井戸）が確保されているため、プラットホーム\*大空間を利用して資機材、緊急物資置場、ボランティア等の休憩場として活用する



### 3 機能と各階の配置構成

エコプラザ（仮称）の理念を実行するため、機能として「知る」「学ぶ・学び合う」「はぐくむ・育てる」「つなぐ」「支える」があり、これらの機能と各階の配置構成を示す。



#### 【旧プラットホーム】

旧プラットホームは収集車がごみを運び、ごみをピットに投下する場所で、通常関係者以外立ち入りすることができなかった場所である。その場所をエコプラザ（仮称）として再利用し環境啓発の場としてよみがえらせるものである。奥行き 50m、幅 15m、高さ 8 mの大空間で、あえてプラットホームの設えを残すことから、この空間に入ると自然にごみ処理の歴史を感じ取ることができる。また、この大空間を利用し様々な環境啓発のプログラムを通じて「環境を学ぶ、学び合う」「環境への興味・関心をはぐくむ、活動を育てる」「環境分野、人をつなぐ」ことができ、自ら環境への行動を触発させる。



旧プラットホームの風景

## 4 機能と空間利用

### (1) エコプラザ（仮称）1階の機能と空間利用イメージ

- ・プラットホームゾーンは機能面では通常、ものづくり工房ゾーンとフリーゾーンに使い分け、イベント等の開催においては全体を使用できるフレキシブルな利用を想定する。
- ・コミュニティカフェ\*・情報ゾーン（旧事務所棟1階）は、コミュニティカフェと情報コーナーが一体的な一つの空間にあり、他にスタディールーム、運営スペースがある。多目的トイレ、授乳室を完備する。

旧プラットホームでのイベント

H28. 10. 9開催

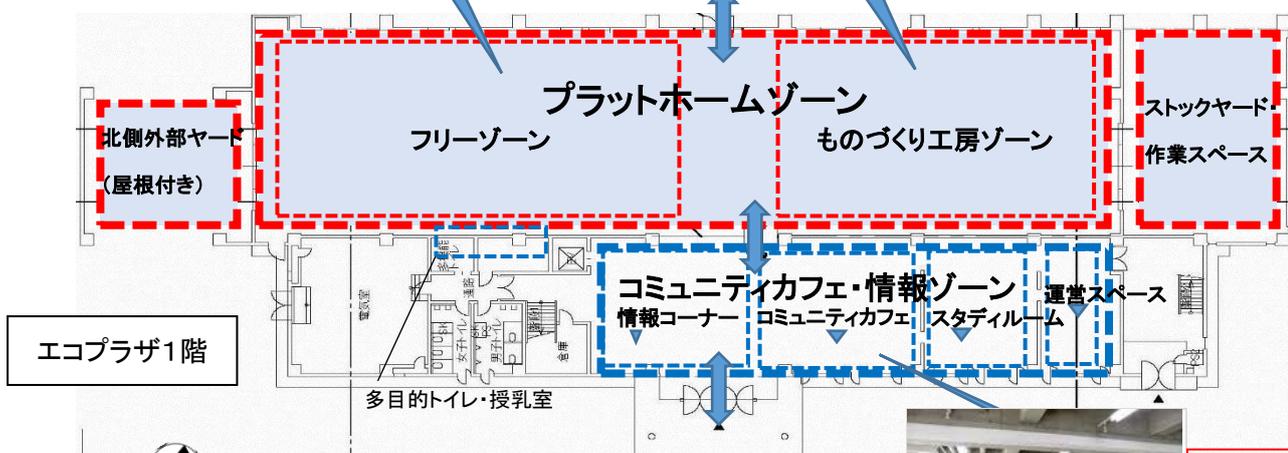
「クリーンセンターとあそぶ」



イメージ写真

調布市文化会館たづくり

「クリエイティブリユース」展



エコプラザ1階



※説明の関係上、長辺方向の図としたため、左側が北の方位となる。

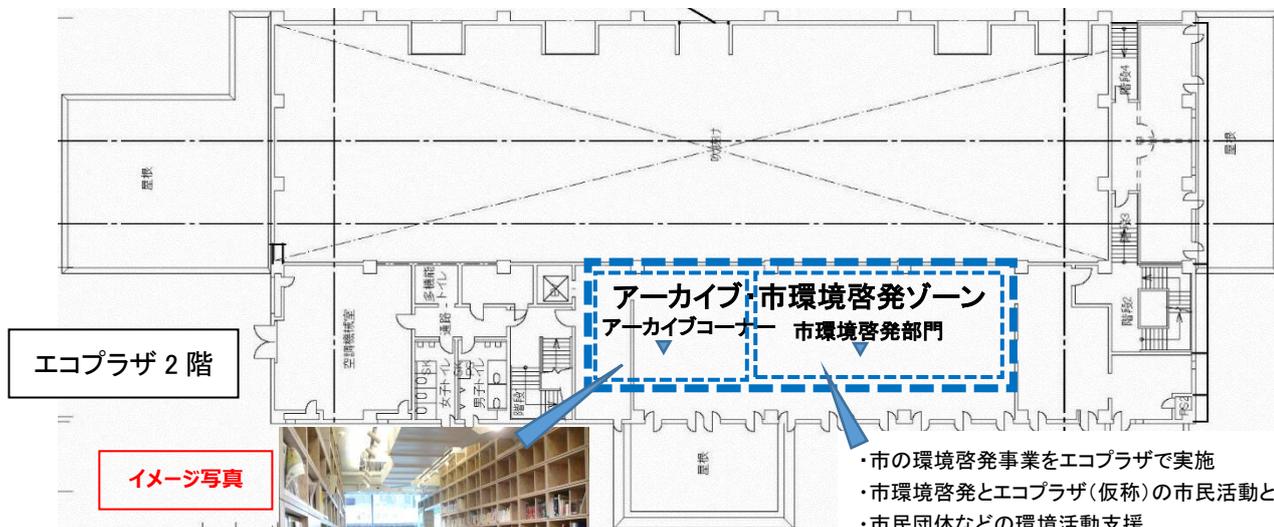


イメージ写真

※「3331 Arts Chiyoda」JHPより

### (2) エコプラザ（仮称）2階の機能と空間利用イメージ

- ・アーカイブ\*・市環境啓発ゾーン（旧事務所棟2階）はアーカイブコーナーと市環境啓発部門で構成する。



エコプラザ2階

イメージ写真

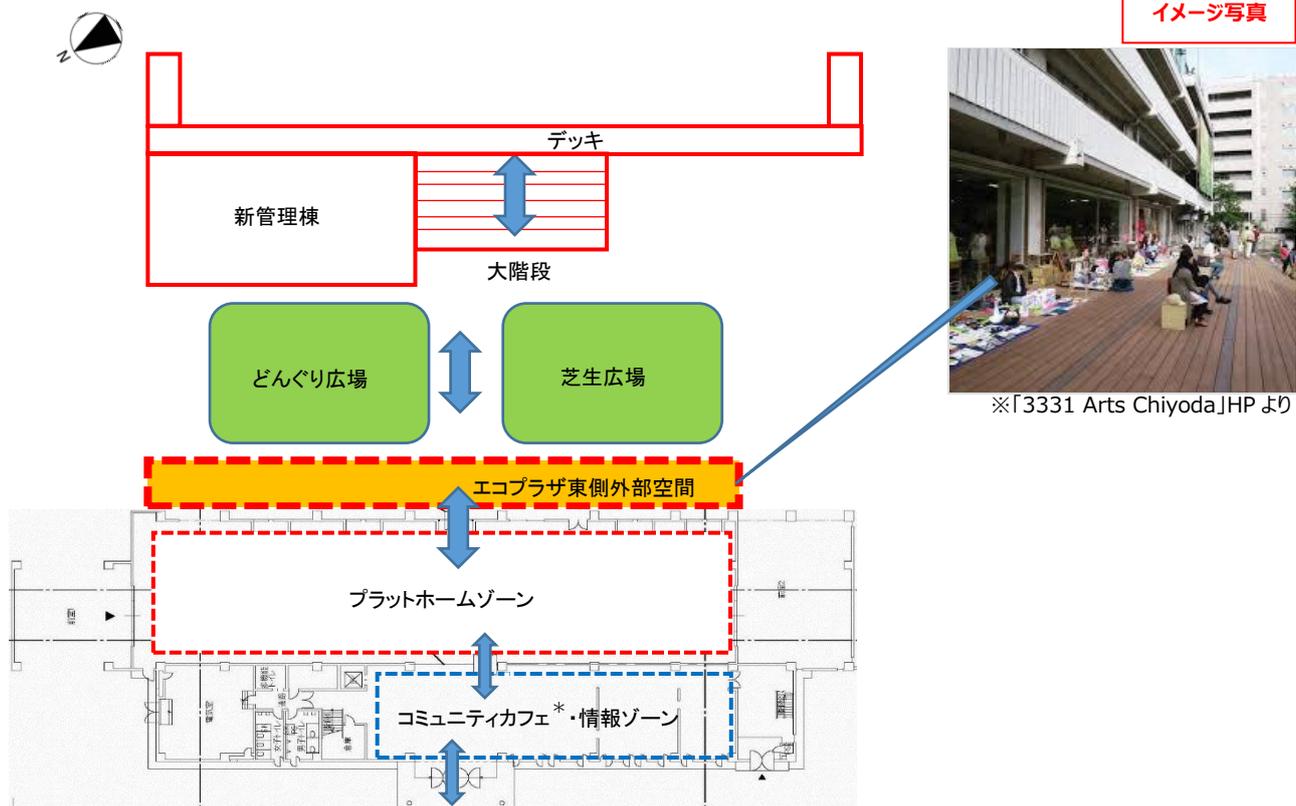
アーツ前橋  
(図書室)

- ・市の環境啓発事業をエコプラザで実施
- ・市環境啓発とエコプラザ(仮称)の市民活動と連携
- ・市民団体などの環境活動支援

### (3) プラットホーム\*ゾーンと東側外部空間との関係性

- ・プラットホームゾーン東側外部は芝生広場、クリーンセンター大階段・デッキと連続しており、東側外部空間もエコプラザのフィールドとなる。またプラットホームゾーンと東側外部空間とも連続している。
- ・東側外部空間では外部デッキを整備し、緑を感じる憩いの場とする。また、緑、水循環、エネルギーなどの環境啓発については、東側外部空間を生かして体感できる仕組みをつくる。

イメージ写真



#### 市民会議で提案された各空間でのプログラムの一例

##### 【ものづくり工房ゾーン】プログラム例

- ・直し方を学ぶ、市民同士教え合う。  
(もくもくと作業するのではなく、交流がうまれる仕掛けが必要)
- ・ものづくり工房利用者講習会 (工具の使い方などを学ぶ)
- ・部材 (パーツ) をストックするために、廃材を解体・分別する。
- ・直すのに必要な部材 (パーツ) のストック。・包丁研ぎができる。
- ・廃材の提供 (小学校の図工の授業で活用)

##### 【フリーゾーン】プログラム例

- ・みんなで展示をつくる (子ども、大人、企業、専門家など色々なレベルの展示)
- ・水循環、緑、水と文化 (地図づくり、図鑑づくり、クイズ、スタンブラリー)
- ・もったいないプロジェクト (ごみの展開・分別調査、バイオマス\*研究・エネルギーづくり、生ごみ処理のレクチャー)
- ・ブース「武蔵野市民は緑が好き!」「地球温暖化を考える!」
- ・大スクリーンで環境映像

##### 【コミュニティカフェ・情報ゾーン】プログラム例

- ・もやもやカフェ/コミュニティカフェ (『1人で悩まないで』例えば、すてたいけどすてられない物などの悩みを他者と共有し、解決の糸口をつかんだり、共有することで新たな活動を生み出す。)
- ・大人 (特に文系) のための環境連続講座 (オープンカレッジ\*的なもの)
- ・エコクッキング、食べ物かえっこ
- ・水と緑の研究会

##### 【エコプラザ東側外部空間】プログラム例

- ・間伐材\*・森の話を聞ける講座
- ・雑木林、芝生 (雑草) を育てる
- ・レインガーデン\*、雨水タンク\*、雨水の見える化
- ・地元野菜直売所、まちなか農家プロジェクト
- ・水と緑のフィールドワーク

## VIII スケジュール

### 1 「市の基本的な考え方」決定までのスケジュール

9月15日号市報において「市の基本的な考え方（案）」を公表し、パブリックコメントや無作為抽出ワークショップ\*、オープンハウス形式のヒアリングなどを実施した。いただいた意見（P57～74 資料編9参照）を反映し、本「市の基本的な考え方」を決定した。

なお、管理運営のあり方や空間利用、プログラムなどの詳細については、いただいた意見を踏まえて、今後、検討していく。

9月15日 市報にて考え方の案の公表、パブリックコメント（10月9日まで）

9月16日、9月26日、10月2日

オープンハウス形式\*によるヒアリングの実施

9月29日 無作為抽出ワークショップ

11月 「市の基本的な考え方」決定

### 2 全体スケジュール

エコプラザ（仮称）は、旧事務所棟の3階部分を減築し、残る1、2階部分と旧プラットホーム\*をリノベーションして使用する。改修工事については、今年度中に実施設計を行い、来年度、工事を行う。

また、管理運営方針を策定した後、開設当初に実施する具体的なプログラムなどについて検討するため、市民参加による運営に関する協議会を新たに設置する。プレ事業などを経て、平成32(2020)年11月の開設を目指す。

年 度	内 容
平成30（2018）年度	旧事務所棟3階部分減築工事、施設改修工事実施設計、 管理運営方針検討・策定
平成31（2019）年度	施設改修工事、外構工事、 運営に関する協議会設置・プログラム等検討、プレ事業
平成32（2020）年度	開設準備、プレ事業 11月 開設予定

# 武蔵野市エコプラザ（仮称）の整備に向けた 市の基本的な考え方 資料編

- 1 環境について考える中高生世代ワークショップ実施概要
- 2 エコプラザ（仮称）整備に向けた一般向けワークショップ実施概要
- 3 エコプラザ（仮称）×モノづくりワークショップ実施概要
- 4 エコマルシェ・環境フェスタブース出展実施概要
- 5 地球温暖化についての講演会実施概要
- 6 市民団体へのアンケート調査結果概要
- 7 庁内推進本部実施状況
- 8 先進施設視察概要
- 9 武蔵野市エコプラザ（仮称）の整備に向けた市の基本的な考え方（案）への意見及び取り扱い方針
- 10 用語解説

# 1 環境について考える中高生世代ワークショップ実施概要

## 環境について考える中高生世代ワークショップ

日時：平成28年12月27日（火）午後1時30分～午後5時

会場：武蔵野プレイス4階 フォーラム

参加者：中高生35名（男子17名、女子18名）

テーマ：ワーク1「最近気になっている環境のこと、私が実践している環境にやさしいこと」

ワーク2「多くの人に環境の現状や大切さを知ってもらうための方法を考える」

その他：子ども政策課所管の大学生サポーターと連携し、4名がファシリテーターとして参加

### 1 プログラム

時間	内容
13:30～13:35	開会、スケジュール説明
13:35～13:50	自己紹介(アイスブレイク)
13:50～14:20	ガイダンス 「環境ってなんだろう？ 私たちの暮らしとつなげてみよう」
14:20～14:25	グループワークの進め方
14:25～15:05	個人作業、グループワーク1
15:05～15:20	休憩
15:20～16:10	個人作業、グループワーク2
16:10～16:55	発表、質疑応答、投票、結果発表
16:55～17:00	閉会、アンケート記入後解散

### 2 発表内容（ワーク1の発表より抜粋）

（グループで多かった意見や紹介したい意見を発表）

#### (1)気になっている環境のこと

- ①地球温暖化、寒冷化、異常気象
- ②気候の変化による野菜価格の高騰
- ③森林減少（自然破壊）、汚染（大気・水）
- ④ごみ問題（再利用、分別含む）、食品ロス（給食でどのくらい廃棄されているのか）
- ⑤トイレのふたの開け閉め（節電）

#### (2)私が実践している環境にやさしいこと

- ①ごみの分別、3R、食べ物を残さない、エコバックの持ち歩き、裏紙の使用
- ②環境マークのついている商品の購入
- ③節電・節水
- ④交通手段の見直し（公共交通の利用）

### 3 投票結果（ワーク2の発表内容に投票、得票数順）

#### (1)自分たちにできそうな、多くの人に環境の現状や大切さを知ってもらうための方法

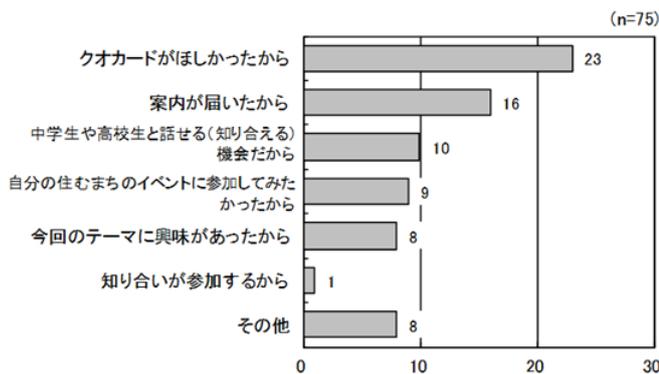
- ①祭りのブースと試飲会：環境に関わるスペースを設けて、環境マークのついた商品の試飲会を行い、環境にやさしい商品を買う必要性を伝える。
- ②学生の学生による学生のための環境イベント：気候や気象、衛星について、体験イベントを交えて伝える。
- ③食品ロス：週に何回かこまめに買い物に行くことで、賞味期限切れの食べ物を減らす。
- ④環境のことをチャレンジっぽいマンガにして配布する。
- ⑤講演会：年の近い若い有名人に学校に来て講演をしてもらうことで、学生や若者に環境のことを知ってもらう。
- ⑥ネットで伝えよう！：交通手段の見直しやごみの分別、節電などの小さな意識を持ってもらったり、イベント告知をしたり、SNSで環境の情報を拡散させる。

#### (2)大人にやってほしい、多くの人に環境の現状や大切さを知ってもらうための方法

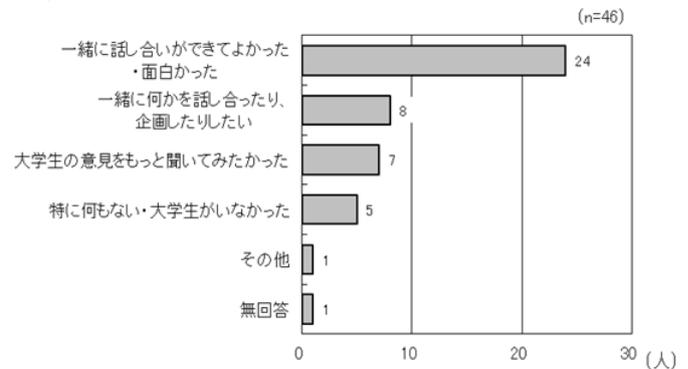
- ①温暖化と車：電気自動車や水素で動く車にして、エコカーに必要な設備等を整える。80年後にどうなっているかを完全再現する。
- ②講演会の企画：環境への対策をしたときとしないときの比較など、具体的な数値を示して説得力をアップする。セッションやワークショップなどで意見を深める
- ③学生が企画・立案したものを大人が実現する。情報を伝えるためにネットやSNSなどをツールとして用いる
- ④ポイント制度をつくる：ごみの分別やキャップの回収に協力するとポイントが貯まり、そのポイントで景品（割引券）がもらえる。
- ⑤広告：テレビCMや駅の大きなモニターで感興のことを流す、ごみ袋に「本当に捨ててもいいの？」と、レシートの裏にはごみの分別方法を、公衆トイレには「水を大切に」と書く。学校の太陽光発電システムは発電量がわかるようにする。
- ⑥イベントの企画・開催：温暖化や自然破壊について伝えるために、暑さ体験や音楽・映像などとコラボしたイベントをする。

## 4 アンケート結果より

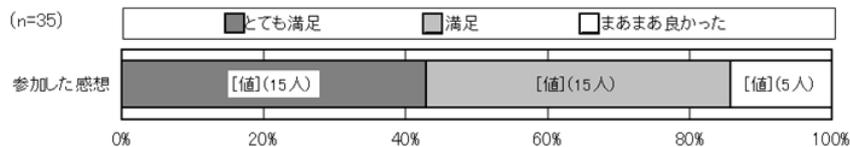
### ①参加理由（複数回答）



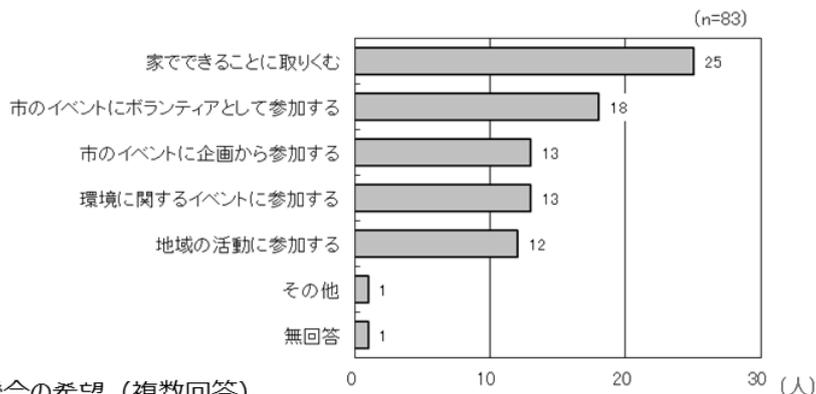
### ②大学生のサポートについて（複数回答）



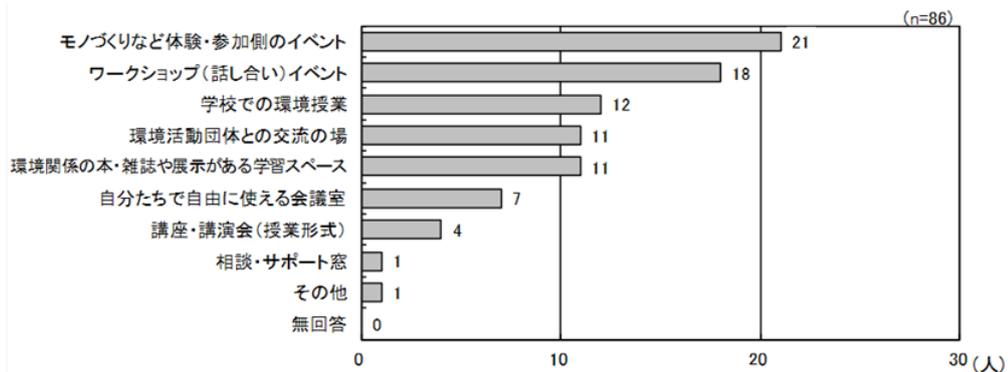
### ③感想



### ④環境について今後やってみたいこと（複数回答）



### ⑤場や機会の希望（複数回答）



## 2 エコプラザ（仮称）整備に向けた一般向けワークショップ実施概要

### エコプラザの整備に向けた市民ワークショップ

日 時：平成29年1月28日（土）午後1時30分～午後5時  
 会 場：武蔵野市役所 西棟811会議室  
 参加者：15名（男性5名、女性10名）  
 テー マ：ワーク1 「最近気になっている環境のこと、私が実践している環境にやさしいこと」  
 ワーク2 「多くの人に環境の現状や大切さを知ってもらうための方法を考える」

1 プログラム		2 発表内容（ワーク1の発表より抜粋）
時間	内容	
13:30～13:35	開会、スケジュール説明	<p>(グループで挙がった意見や発表の中から抜粋)</p> <p><b>(1)気になっている環境のこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地球温暖化、環境破壊／異常気象、海面上昇、四季の消滅、アラル海の消失</li> <li>②再生可能エネルギーへの転換、省エネ</li> <li>③森林減少、生態系・水質汚染による食への影響、緑・野菜の個性の消失、大気汚染</li> <li>④ごみ問題（再利用、廃材利用、過剰包装、分別）</li> <li>⑤喫煙マナー</li> <li>⑥動物被害・対策</li> </ul> <p><b>(2)私実践している環境にやさしいこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ごみの分別、3 R、エコバックや水筒の持ち歩き、ごみ拾いボランティア、リサイクルショップの利用、廃油処理、裏紙の使用</li> <li>②節電・節水、無駄遣いをしない</li> <li>④交通手段の見直し（徒歩、自転車、公共交通機関で移動する）</li> <li>⑤ライフスタイルの見直し、丈夫な身体づくり</li> </ul>
13:35～13:50	自己紹介(アイスブレイク)	
13:50～14:10	ガイダンス 「エコプラザ（仮称）と武蔵野市の環境について」	
14:10～14:15	グループワークの進め方	
14:15～14:45	個人作業、グループワーク1	
14:45～14:55	休憩	
14:55～15:35	個人作業、グループワーク2	
15:35～15:50	模造紙の作成、発表準備	
15:50～16:05	個人シートの作成	
16:05～16:45	発表、質疑応答、投票、結果発表	
16:45～17:00	閉会、個人シートの共有、アンケート記入後解散	

### 3 投票結果（ワーク2の発表内容に投票、①～③は得票数順、④は特徴のあったものとして記載）

#### (1)市民の力でできる、多くの人に環境の現状や大切さを知ってもらうための方法

- ①コミセンの活用：コミセンのプログラムに「環境を考える」を入れて、多くの人に考えてもらう機会をつくる。
- ②ごみの分別と減量：地域のコミュニティーで情報を共有し、ごみ出し場などの毎日見る所にキャッチフレーズを設置する。
- ③リアルなメリット：マイバッグや水筒持参など、環境にやさしいことには、何らかのリアルなメリットがあることを市民同士で楽しく共有する場をつくる。
- ④情報の発信：SNSでの発信やスーパー・コンビニ等の店頭でごみ削減のチラシを配る。啓発のための絵本やビデオを行政の支援を受けながら作成し、配布する。

#### (2)市や企業などにやってほしい、多くの人に環境の現状や大切さを知ってもらうための方法

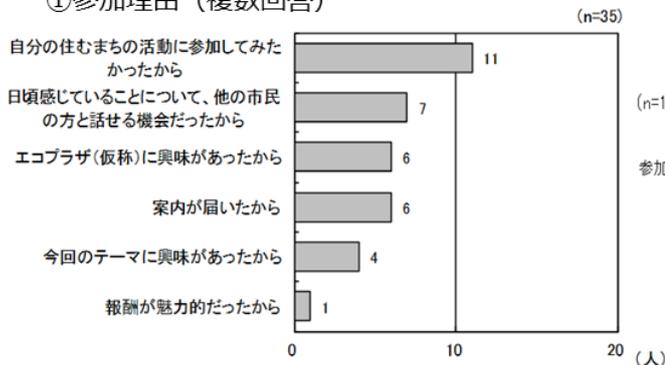
- ①ポイント制によるごみ袋の無料配布：マイバッグや水筒持参などをポイント制にして、ポイントが貯まったら、有料ごみ袋と交換する。ごみの分別や減量について情報発信するために、イベントやゆるキャラ、文化人への無償依頼、駅・教育機関等公共施設などを活用する。
- ②市による周知と企業の協力：公の場でもっとPRし、講座を開く。市民が楽しめる企画をつくる。
- ③地域の情報拠点：環境に関する情報を集めて発信したり、環境のことが学べたりできる地域の環境情報の拠点をつくる。
- ④デポジット等の拡大：リターナルびんやデポジット、リサイクルボックスなどを拡充し、使い捨てしない社会を目指す。

## 4 個人シート（私の環境宣言）

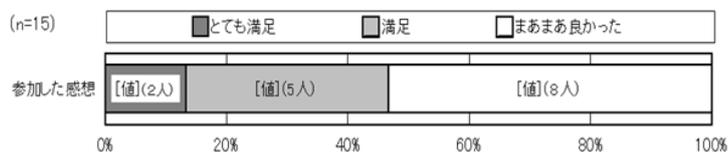
- コミセンや町内会の活動を通して環境のコミュニケーションをはかる。
- 家族で正しい分別をする。
- 環境に優しいことをすればリアルなメリットが得られるとわかれば、家族や友だちにもおすすめできる！自分でできることから1つずつやっつけていこう。
- 市報をなるべく読むようにします。自分の手の届く範囲のごみは捨てます。いろいろな人とコミュニケーションをとって情報を増やします。
- 日常生活のムダ遣いを見直す。
- こまめにON/OFFする。
- ゴミの減量・分別を楽しく広める！！まずは自分から！
- 省資源行動を広げるためにSNS等でもっと発信します。
- 皆で仲良く、自分の出来ることは続けたい。
- いろいろな意味で負担少なく、、、
- これから真剣に環境問題に取り組んでやっていきます。
- さらにゴミの減量に取り組みます！
- ゴミの分別、リサイクルと共有
- ゴミの減量と分別。よりよい環境を守りたい。
- ゴミの分別と減量を心がけ、家庭だけでなく、街のボランティアなどにも参加してみる。

## 5 アンケート結果より

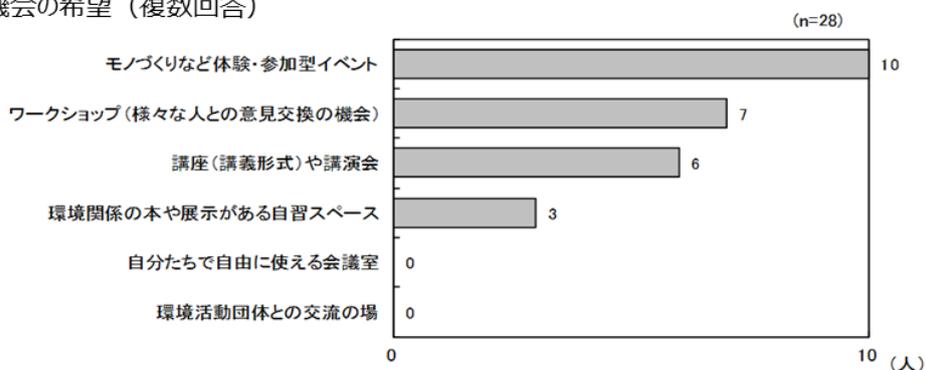
### ①参加理由（複数回答）



### ②感想



### ③場や機会の希望（複数回答）



### 3 エコプラザ（仮称）×モノづくりワークショップ実施概要

#### 「エコプラザ（仮称）×モノづくりワークショップ～廃材からつくるわくわく工作～」

日 時：平成29年3月26日（日）午後1時～午後4時  
 会 場：武蔵野プレイス4階フォーラム  
 参加者：80名  
 スタッフ：20名（中学生ボランティア6名、大学生ボランティア2名、委託事業者3名、市職員9名）  
 実施内容：①モノづくりワークショップ  
 ②エコプラザの検討・整備のパネル紹介  
 ③市の環境啓発事業のリーフレット配布  
 ④環境にやさしいことを紹介するコーナーの設置

#### 配布チラシ



#### 会場案内図



#### ①モノづくりワークショップ

##### 身近な廃材を活用したモノづくり

- 1) 裂き布コサージュ
  - 古着・古布を裂いてコサージュづくり
- 1) ヘアゴム
  - 斜行糸でボンボンづくり
- 3) 小物入れ・ペン立て
  - カーペットやフローリングのサンプルを利用
- 4) イースターバニー
  - 本のはしっこ「裁断紙」を活用したお面づくり
- 5) 段ボールハウス
  - 布団など大きなものが入っていた段ボールを使って、子どもが入れる大きさの家をつくる

#### 裂き布コサージュ



## ②エコプラザの検討・整備のパネルの紹介

武蔵野市では、**エコプラザ(仮称)**の整備に向けた検討を進めています

### エコプラザ(仮称)ってなに？

地球温暖化、大気汚染、森林破壊といったテーマが最近よく話題になっています。こうしたさまざまな環境問題に向き合いながら、私たちが住みやすいまちをつくるためには、環境のことをよく知り、一人ひとりの環境にやさしい取り組みを積み重ねていくことが大切です。

市では、旧クリーンセンターの建物の一部を再利用した、子どもから大人まで、ごみを始めとした環境について広く気づき、理解を深めてもらう施設「エコプラザ(仮称)」をつくるための具体的な検討を進めています。



環境にやさしい暮らしをしなかつたらどうなるのでしょう・・・



今までにないほどの猛暑日やゲリラ豪雨などが発生しやすくなるかもしれません

あなたの心が落ち着く場所やきれいな景色がなくなってしまうかもしれません

生き物がすめない川や海になってしまうかもしれません

## エコプラザ(仮称)のこんなこと あんなこと

平成28年度から具体的に動き始めたエコプラザ(仮称)に関する取り組みについて、ご紹介します。

### 市民会議が始まりました

エコプラザ(仮称)がどのような施設になったら良いかについて、話し合う市民会議が、平成29年2月20日を第1回としてスタートしました。

会議には、エネルギー・ごみ・水・緑の分野でそれぞれ活動している団体や、市民・事業者の方が参加し、全ての市民に親しまれる施設になるよう検討しています。



### 市民ワークショップを開催しました

環境について考える市民ワークショップを開催しました。中高生世代と一般向けの2回行い、「気になっている環境のこと、実践している環境にやさしいこと」を共有した後、「環境

の大切さを伝えるための方法」についてグループで話し合いました。

・4高生世代ワークショップ



### エコプラザ(仮称)とクリーンセンターで環境のことを楽しく学ぼう！

エコプラザ(仮称)は昨年役目を終えた旧クリーンセンターの事務所棟・プラットホーム部分を再利用してつくります。同じ敷地内にある「開かれた施設」をコンセプトとした新クリーンセンターは、見学時間中は予約不要で自由に見学でき、ごみ処理について学ぶことができます。オープンスペースでは、ごみや環境に関するイベントも開催します。エコプラザ(仮称)完成後は、2つの施設で様々な環境のことを伝えていきます。

平成29年4月から本館を  
動の新クリーンセンター



## ③市の環境啓発事業のリーフレット配布

エコプラザ(仮称)を知っていますか？

私たちの身の回りにあるものすべてが環境です。様々な環境のことに関心を持ってもらえますか？

エコプラザ(仮称)  
×  
武蔵野市環境イベント

### エコプラザ(仮称)ってなに？

地球温暖化、大気汚染、森林破壊といったテーマが最近よく話題になっています。こうした様々な環境問題に向き合いながら、私たちが住みやすいまちをつくるためには、環境のことをよく知り、一人ひとりの環境にやさしい取り組みを積み重ねていくことが大切です。

武蔵野市では、旧クリーンセンターの建物の一部を再利用した、子どもから大人まで、ごみを始めとした環境について広く気づき、理解を深めてもらう施設「エコプラザ(仮称)」をつくるための具体的な検討を進めています。

武蔵野市で行っている環境イベントをご紹介します

次のページからチェック！

## ④環境にやさしいことを紹介するコーナーの設置

アンケートの最後に、みんなに伝えたい「環境にやさしいで賞」を書いて掲示板に貼ってもらった。



環境に  
やさしいで賞

## 「環境にやさしいで賞」掲示内容

●着なくなった服を小物やぞうきんにリサイクル。
●食材をたくさん買いすぎないことを心がけています。
●むさしの大好き。今日はありがとうございました。
●ごみは庭に埋めています。
●季節の草木を育てるようにする。 ●道路は歩きやすい基準を守る。
●生ごみをなるべく出さないように庭に埋めています。 ●冷蔵庫のためにむくセはこれから努力して買いすぎないように気を付けようと思います。
●できるだけエアコンやストーブなどは使わない。
●野菜の収穫（人参等）天日干しをしてスープ等を作ります。
●できる限り車を使わず、徒歩自転車で移動する。 ●食材など、無駄にしないようにストックせず、使い切るようにする。
●1つの部屋でみんなで過ごす。
●使わなくなったもので何かに変えることができる。
●子ども会でごみをひろっています。
●子ども会で毎月資源回収しています。
●資源をリサイクル。 ●生ごみをなるべく乾燥機で。
●あまった布でヘアゴムやコサージュなどが作れる。 ●牛乳パックで編み物ができる。
●未来の子供たちにきれいな地球を大切に渡したい。せっかくの美しい星なのだから優しい心で。
●あるものを長く使い続けます。
●すぐにごみにしないで、利用できるか考える。
●緑を大切にします。
●捨てる廃材がおもちゃになる。
●できるだけ自転車で移動する。または徒歩。
●「地球にやさしい絵本」古いけど絵が優しく楽しいです。
●暖房はなるべく使わない。厚着をしたり、体を動かして対応する。なるべく歩くようにしている。健康、精神面強化のため、車を使ったり、エレベーターなど、楽をしないようにしている。楽をしないとありがたみがまして、幸福感がアップするので、おすすめです。体もしまるし。

#### 4 エコマルシェ・環境フェスタブース出展実施概要

### むさしの環境フェスタ

日 時：平成29年11月12日（日）午前10時～午後3時  
 会 場：武蔵野グリーンセンター コミュニティスペース  
 回答者数：284人

#### 1-① アンケート

**来場者 アンケート**

本ブースにご来場いただきましてありがとうございます。  
 市では現在、環境情報施設エコプラザ（仮称）の整備・検討を進めています。  
 今後の参考とさせていただきますので、アンケートにご協力をお願いします。

**Q1. あなたのことを教えてください。**

性別：① 男 ② 女  
 年代：① 小学生 ② 中学生・高校生 ③ 大学生 ④ 一般（代）  
 住所：① 武蔵野市内 ② 武蔵野市外（市・区・町・村）

**Q2. 今日は誰といっしょにいましたか？**

① ひとりで ② 家族と ③ 友達と ④ その他（ ）

**Q3. エコプラザ（仮称）の整備・検討を進めていることをご存知でしたか？**

① 知っていた ② 知らなかった

**Q4. 「Q3」で「① 知っていた」とお答えいただいた方に伺います。  
 エコプラザについてどちらでお知りになりましたか。**

① 市報で ② 市のホームページで ③ ワークショップに参加した  
 ④ その他（ ）

**Q5. エコプラザ（仮称）にどんな機能があつたら、行ってみたいですか？  
 下記の中からお選びください。（複数回答可）**

① 学習・体験の場の提供（講座、イベント等） ② 環境情報の収集・発信  
 ③ 活動する人同士の交流の場 ④ 省エネ等の最新技術の紹介  
 ⑤ その他（ ） ⑥ 特になし

**Q6. 環境について、あなたが関心のある分野を教えてください。**

① ごみ・リサイクル ② エネルギー（再生可能エネルギー、省エネなど）  
 ③ 生物多様性・生物保全 ④ 緑・水辺の保全・創出 ⑤ 地球温暖化  
 ⑥ 公害（大気汚染、騒音など） ⑦ その他（ ）

**Q7. 本ブースの感想がございましたら、教えてください。**

**Q8. エコプラザ（仮称）について、ご意見ございましたら、教えてください。**

#### 1-② 回答者の属性

■男女別数		■住所別数	
男性	67人	市内	179人
女性	211人	市外	85人
無回答	6人	無回答	20人

■年齢別数	
小学生	33人
中・高校生	7人
大学生	3人
一般（20代）	8人
一般（30代）	37人
一般（40代）	60人
一般（50代）	28人
一般（60代）	40人
一般（70代以上）	33人
無回答	35人

#### 1-③ 集計結果

■エコプラザ（仮称）の整備検討の認知度	
知っていた	89人
知らなかった	191人
無回答	4人

■エコプラザ（仮称）の整備検討をどこで知ったか？	
市報	53人
市のホームページ	6人
ワークショップに参加	5人
その他	15人
無回答	10人

■エコプラザ（仮称）にどんな機能があつたら行ってみたいか？（複数回答可）			
学習・体験の場の提供	169人	活動する人同士の交流の場	47人
省エネ等の最新技術の紹介	99人	特になし	18人
環境情報の収集・発信	72人	その他	15人
			回答者数 265人

#### <クロス集計>

（回答者数=265人） （人）

回答肢	小学生	中学生・高校生	大学生	一般（20代）	一般（30代）	一般（40代）	一般（50代）	一般（60代）	一般（70代以上）	年代無回答	合計
学習・体験の場の提供	24	2	1	6	26	48	18	16	11	17	169
省エネ等の最新技術の紹介	4	2	0	1	11	22	13	20	12	14	99
環境情報の収集・発信	1	1	1	2	8	16	7	17	9	10	72
活動する人同士の交流の場	0	0	2	1	2	13	5	7	8	9	47
特になし	7	2	0	2	2	0	1	1	2	1	18
その他	1	1	1	0	0	5	3	3	1	0	15

■環境について関心のある分野（複数回答可）			
ごみ・リサイクル	183人	公害（大気汚染・騒音など）	88人
エネルギー	141人	生物多様性	64人
地球温暖化	133人	その他	5人
緑・水辺の保全・創出	108人		回答者数 272人

### <クロス集計>

(回答者数=272人)

(人)

回答肢	小学生	中学生・高校生	大学生	一般(20代)	一般(30代)	一般(40代)	一般(50代)	一般(60代)	一般(70代以上)	年代無回答	合計
ごみ・リサイクル	17	0	1	2	27	43	20	30	20	23	183
エネルギー(再生可能エネルギー、省エネなど)	15	3	1	5	13	28	17	26	14	19	141
地球温暖化	14	3	0	1	11	31	15	25	14	19	133
緑・水辺の保全・創出	10	0	1	2	14	24	12	19	12	14	108
公害(大気汚染、騒音など)	2	4	2	2	11	17	5	19	11	15	88
生物多様性・生物保全	6	3	0	1	9	11	5	10	8	11	64
その他	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	5

### 1-④ 自由意見 (抜粋)

#### ■エコプラザ (仮称) への要望

- ・子どもが興味を持てる場
- ・環境のつながりを体系的に学べる場
- ・参加型施設、交流・発信の場
- ・体験学習の場、イベント

#### ■エコプラザ (仮称) への意見

- ・もっと市報等で情報を知らせてほしい
- ・たくさん宣伝してほしい
- ・多くの人に利用されるように、つくって良かったと思われる、ためになる施設を
- ・出入りしやすくすることで、子どもだけでなく大人も参加できる
- ・いつでも誰でも受け入れてくれる施設に

#### ■ブースの感想

- ・やっていないことを知ることができた
- ・日頃の行動を見直すことができた
- ・勉強になった、分かりやすかった
- ・環境にもっと関心を持たないといけないと教えられた
- ・3Rを初めて知った
- ・アンケートが長い
- ・体験コーナーがあると良い

### 1-⑤ エコチェックシート

**みんなやってる？身近な「エコ」チェックシート** 普段行っているものをチェックしてみよう！

<p><b>家の中・家のまわりでできること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 使っていない部屋の照明は消す</li> <li><input type="checkbox"/> 見ていない時にはテレビを消す</li> <li><input type="checkbox"/> トイレペーパーを使いすぎない</li> <li><input type="checkbox"/> 水道やシャワーの水をこまめに止める</li> <li><input type="checkbox"/> 冷蔵庫にものを詰め込みすぎない</li> <li><input type="checkbox"/> エアコンの設定温度を控えめにする</li> <li><input type="checkbox"/> まだ使えそうなものは修理して使う</li> <li><input type="checkbox"/> ごみを出すときは分別を徹底する</li> <li><input type="checkbox"/> 生ごみや落ち葉をたい肥にする</li> <li><input type="checkbox"/> 日差しよけの緑のカーテンを育てる</li> <li><input type="checkbox"/> 風呂は冷めないうちに続けて入る</li> <li><input type="checkbox"/> 生ごみは最後まで責任もって飼う</li> <li><input type="checkbox"/> 野菜の皮や葉を捨てずに調理している</li> <li><input type="checkbox"/> 使った油を排水溝に流さない</li> </ul>	<p><b>出かけた時や、買い物の時にできること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 車のアイドリングストップを心がける</li> <li><input type="checkbox"/> 歩きタバコや喫煙のポイ捨てをしない</li> <li><input type="checkbox"/> 買い物に行くときにはマイバッグを持参する</li> <li><input type="checkbox"/> エコラベル、グリーンマークの商品を買う</li> <li><input type="checkbox"/> 使い捨ての製品はなるべく買わない</li> <li><input type="checkbox"/> 地元でとれた、つくられた食材を買う</li> <li><input type="checkbox"/> 生き物をむやみに持ち帰らない</li> <li><input type="checkbox"/> 普段からマイ水筒・マイ箸を持参する</li> <li><input type="checkbox"/> 特売品や割引の誘惑に負けず、不要な買い物はしない</li> <li><input type="checkbox"/> 冷蔵庫の中を確認してから買い物に行く</li> <li><input type="checkbox"/> なるべく徒歩や自転車で移動する</li> </ul>	<p><b>住んでいる場所・学校・職場などでできること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 給食は残さずに食べる</li> <li><input type="checkbox"/> 地域清掃、自然保護活動などに参加する</li> <li><input type="checkbox"/> 水辺や緑地、ビオトープなどに行く</li> <li><input type="checkbox"/> 環境学習、環境体験イベントに参加する</li> <li><input type="checkbox"/> 家の周りにいる野鳥の名前を調べる</li> <li><input type="checkbox"/> 庭やベランダに、みどりや花を植える</li> <li><input type="checkbox"/> 雨水をためて、花の水やりなどに使う</li> <li><input type="checkbox"/> 地域に昔からある水や植物を知る</li> <li><input type="checkbox"/> 夏には打ち水をする</li> <li><input type="checkbox"/> コピーはなるべく裏紙を使う</li> <li><input type="checkbox"/> 再生紙や品の文房具を使う</li> <li><input type="checkbox"/> パソコンは省エネモードに設定する</li> <li><input type="checkbox"/> エレベーターの利用はなるべく控えて階段を使う</li> </ul>
---	--	--

< 裏面のアンケートにも協力ください >

## 1-⑥ エコチェックシート回答状況

(単位 人)

年代	回答した設問数				合計
	0~10問	11~20問	21~30問	31問以上	
小学生	1	12	13	7	33
中学生・高校生		4	3		7
大学生		2	1		3
一般(20代)	3	3	2		8
一般(30代)	2	18	15	2	37
一般(40代)	3	15	33	9	60
一般(50代)		10	15	3	28
一般(60代)	2	8	21	9	40
一般(70代以上)	1	8	11	13	33
無回答	1	7	12	15	35
合計	13	87	126	58	284

## エコマルシェ

日 時：平成29年11月19日(日) 午前11時～午後4時  
 会 場：武蔵野グリーンセンター コミュニティスペース  
 回答者数：168人

## 2-① アンケート

**アンケートのお願い**

本日はご参加いただきましてありがとうございます。  
 市では現在、環境開発施設エコプラザ(仮称)の整備・検討を進めています。  
 今後の参考とさせていただきますため、アンケートにご協力をお願いします。

**Q1. あなたのことを教えてください。**  
 性別：① 男 ② 女  
 年代：① 小学生 ② 中学生・高校生 ③ 大学生 ④ 一般(代)  
 住所：① 武蔵野市内 ② 武蔵野市外(市・区・町・村)

**Q2. 今日はどうなりましたか？**  
 ① ひとり ② 家族と ③ 友達と ④ その他( )

**Q3. エコプラザ(仮称)の整備・検討を進めていることを知っていましたか？**  
 ① 知っていた ② 知らなかった

**Q4. 「Q3」で「① 知っていた」とお答えいただいた方に伺います。  
 エコプラザのことをどこで知りになりましたか。**  
 ① 市報で ② 市のホームページで ③ ワークショップに参加した  
 ④ 環境フェスタに行った ⑤ その他( )

**Q5. エコプラザ(仮称)にどんな機能があったら、行ってみたいと思いますか？  
 下記の中から選びください。(複数回答可)**  
 ① 学習・体験・の場の提供(講座、イベント等) ② 環境情報の収集・発信  
 ③ 活動する人同士の交流の場 ④ 省エネ等の最新技術の紹介  
 ⑤ その他( ) ⑥ 特になし

**Q6. 環境について、関心のある分野を教えてください。**  
 ① ごみ・リサイクル ② エネルギー(再生可能エネルギー、省エネなど)  
 ③ 生物多様性・生物保全 ④ 緑・水辺の保全・創出  
 ⑤ 公害(大気汚染、騒音など) ⑥ 地球温暖化  
 ⑦ その他( )

**Q7. 環境のことで気になっていることがありましたら教えてください。**

**Q8. 羊プースの感想がありましたら教えてください。**

**Q9. エコプラザ(仮称)についてご意見がありましたら教えてください。**

## 2-② 回答者の属性

■男女別数		■住所別数	
男性	59人	市内	101人
女性	103人	市外	49人
無回答	6人	無回答	18人

■年齢別数	
小学生	27人
中・高校生	4人
大学生	0人
一般(10代)	1人
一般(20代)	3人
一般(30代)	37人
一般(40代)	38人
一般(50代)	14人
一般(60代)	11人
一般(70代以上)	10人
無回答	23人

## 2-③ 集計結果

■エコプラザ(仮称)の整備検討の認知度	
知っていた	62人
知らなかった	99人
無回答	7人

■エコプラザ(仮称)の整備検討をどこで知ったか？	
市報	22人
市のホームページ	7人
ワークショップに参加	5人
環境フェスタ	6人
その他	10人
無回答	12人

■エコプラザ（仮称）にどんな機能があつたら行ってみたいか？（複数回答可）			
学習・体験の場の提供	114人	活動する人同士の交流の場	36人
省エネ等の最新技術の紹介	45人	特にない	8人
環境情報の収集・発信	39人	その他	9人
			回答者数 159人

### <クロス集計>

（回答者数=159人）

（人）

回答肢	小学生	中学生・高校生	大学生	一般（20代）	一般（30代）	一般（40代）	一般（50代）	一般（60代）	一般（70代以上）	年代無回答	合計
学習・体験の場の提供	18	1	0	1	30	29	9	9	5	12	114
省エネ等の最新技術の紹介	3	1	1	0	11	7	5	3	6	8	45
環境情報の収集・発信	3	0	1	1	5	11	5	5	3	5	39
活動する人同士の交流の場	0	0	1	2	5	9	4	6	4	5	36
特にない	5	2	0	0	0	1	0	0	0	0	8
その他	1	0	0	0	1	2	1	2	1	1	9

■環境について関心のある分野（複数回答可）			
ごみ・リサイクル	126人	公害（大気汚染・騒音など）	52人
エネルギー	70人	生物多様性	34人
地球温暖化	68人	その他	4人
緑・水辺の保全・創出	63人	回答者数 161人	

### <クロス集計>

（回答者数=161人）

（人）

回答肢	小学生	中学生・高校生	大学生	一般（20代）	一般（30代）	一般（40代）	一般（50代）	一般（60代）	一般（70代以上）	年代無回答	合計
ごみ・リサイクル	21	1	1	2	25	34	13	9	8	12	126
エネルギー（再生可能エネルギー、省エネなど）	5	0	0	2	19	17	6	8	6	7	70
地球温暖化	8	2	1	1	15	16	5	6	7	7	68
緑・水辺の保全・創出	8	0	1	1	12	15	6	6	5	9	63
公害（大気汚染、騒音など）	9	2	1	1	8	7	6	4	6	8	52
生物多様性・生物保全	5	1	0	0	2	7	6	4	4	5	34
その他	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	4

## 2-4 自由意見（抜粋）

### ■環境のことで気になっていること

○ごみ・リサイクル  
残飯や落ち葉のリサイクル、省資源、食べ残しや使い捨ての増加、カラスのごみ荒らし、ごみのほい捨て、ごみ処分のこと

○生物多様性  
まちから自然がなくなり、生きものが身近な存在でなくなっていくこと

○公害など  
大気や水の汚染、排気ガスの影響、水質

○地球温暖化  
異常気象・自然災害、世界規模での温暖化対策の必要性、アメリカの動向、子どもたちが大人になった時の地球環境、負の遺産を残したくない

○緑・水辺の保全・創出  
井之頭弁天池の湧水復活、緑や公園など、子どもたちが安心して遊べる所が少なくなった、畑が減った、水資源の有限性

○エネルギー  
再生可能エネルギーが自然や景観の破壊につながることに、エコカーも化石燃料を使う

○その他  
一人一人ができる環境対策、放射能の正しい知識

### ■エコプラザへの要望・意見

エコについて考えるきっかけづくり・エコについて考えられる学習の場に、一人でも多くの方に知ってほしい、子どもたちの学びに役立つものにしてほしい、新たな環境の取り組みの発信基地・交流基地として期待している、もっとアピールを

### ■ブースの感想

環境宣言で今日から〇〇します！が目をつけた、自分の暮らしを振り返れた、改めて環境のことについて意識し考えた、もう少しPRしても良いのでは？こうした周知活動は大事、環境宣言が楽しかった

## 2-⑤ エコチェックシート

**みんなやってる？身近な「エコ」チェックシート**

普段行っているものをチェックしてみてね！

**1 ごみを増やさない！**

- 普段からマイバッグを持っている
- 容器や包装が少ない商品を選ぶ
- 使い捨てではなく長く使える商品を買う
- 詰め替えの商品を選ぶ
- 牛乳パックやトレーはリサイクルに出す

**4 水を汚さない！**

- シャンプー・リンスは使い過ぎない
- お風呂の残り湯は洗たくや花の水やりに使う
- 食器を洗う前に油汚れをふき取る
- 食べ残しはそのまま排水口に流さない
- 洗剤はなるべく環境に害の少ないエコ製品を選ぶ

**2 生きものを絶滅から守ろう！**

- ペットは最後まで責任を持って飼う
- 他の地域の草や木、生きものを持ち帰らない
- ベランダや庭に花や木を植えている
- 自然体験活動に参加している

**5 地球温暖化を防ぐ！**

- 着るものを工夫し、冷暖房をなるべく使わない
- 冷暖房は、夏は28℃、冬は20℃を室温の目安にしている
- 使わない電気製品はコンセントから抜いている
- 使っていない部屋の照明や見ていないテレビは消す
- テレビやオーディオを大音量にしない

**3 大気を汚さない！**

- 車よりもバスや電車を利用する
- 近場には自転車や歩きで行くようにしている
- 車の利用は相乗りを心がけている
- 急発進・急ブレーキはしない
- 不要な荷物は積まない
- 電気自動車やハイブリッドカーに乗っている

< 裏面のアンケートにもご協力ください >

## 2-⑥ エコチェックシート回答状況

(単位 人)

年代	回答した設問数					合計
	0~5問	6~10問	11~15問	16~20問	21問以上	
小学生	2	10	6	6	3	27
中学生・高校生			3	1		4
一般 (10代)				1		1
一般 (20代)		1	1	1		3
一般 (30代)	2	7	18	8	2	37
一般 (40代)	2	4	18	12	2	38
一般 (50代)		2	5	5	2	14
一般 (60代)			5	4	2	11
一般 (70代以上)	2	1	3	3	1	10
無回答	2	8	4	6	3	23
合計	10	33	63	47	15	168

## 2-⑦ 環境宣言

(宣言者数 166人)

エコチェックシートの分野	人数	主な内容
ごみを増やさない！	83人	食べ残さない、リサイクル、買い過ぎない、マイバッグの持参、ものを大切に、ごみを出さない
生きものを絶滅から守ろう！	4人	自然体験活動に参加する、人と木を大事に、もつと自然を大切にして、生きものを絶滅から守る
大気を汚さない！	8人	急発進・急ブレーキをしない、エコでやさしい運転、自転車・バス・電車を使う
水を汚さない！	15人	油を拭きとってから洗う、環境にやさしい洗剤を使う、お風呂の水の再利用に力を入れる
地球温暖化を防ぐ！	56人	冷暖房の設定温度に注意、電気を使い過ぎない、エコ商品の優先購入、チェックシートの全項目チェック

5

# エコマルシェ

日時：平成30年6月10日（日）  
 会場：武蔵野クリーンセンター  
 回答者数：102人

## 1 アンケート

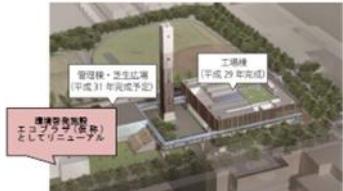
### アンケートのお願い

本日はエコプラザ（仮称）のブースにご来場いただきましてありがとうございます。  
 市では現在、環境啓発施設エコプラザ（仮称）の整備・検討を進めています。  
 今後の参考とさせていただきますため、アンケートにご協力をお願いいたします。

**Q1. あなたのことを教えてください。**  
 性別：① 男 ② 女  
 年代：① 小学生 ② 中学生・高校生 ③ 大学生 ④ 一般（代）  
 住所：① 武蔵野市内 ② 武蔵野市外（市・区・町・村）

**Q2. エコプラザ（仮称）の整備・検討を進めていることを知っていましたか？**  
 ① 知っていた ② 知らなかった

**Q3. 「Q2」で「① 知っていた」とお答えいただいた方に伺います。**  
 エコプラザ（仮称）のことをどちらでお知りになりましたか。  
 ① 市報で ② 市のホームページで ③ ワークショップに参加した  
 ④ 環境フェスタに行った ⑤ 前回のエコマルシェに行った  
 ⑥ 環境講演会「地球温暖化と私たちの未来」に行った  
 ⑦ その他（ ）



**Q4. エコプラザ（仮称）にどんな機能があつたら、行ってみたいと思いますか？**  
 下記の中からお選びください。（複数回答可）  
 ① 環境学習・体験・の場の提供（講座、イベント等）  
 ② 環境情報の収集・発信  
 ③ 省エネ等の最新技術の紹介 ④ 環境ライブ  
 ⑤ 環境遊具・環境教材等の貸し出し ⑥ 活動する人同士の交流  
 ⑦ 活動する人と活動の場のマッチング ⑧ 人材発掘、ボランティア養成  
 ⑨ その他（ ）

**Q5. 環境について、あなたの関心のある分野を教えてください。**  
 ① ごみ・リサイクル ② エネルギー（再生可能エネルギー、省エネなど）  
 ③ 地球温暖化 ④ 緑・水循環 ⑤ 公害（大気汚染、騒音など）  
 ⑥ 生物多様性（生きもの・生態系・絶滅危惧種の保全など）  
 ⑦ その他（ ）

**Q6. エコプラザ（仮称）について、ご意見がありましたら教えてください。**

## 2 回答者の属性

■ 男女別数		■ 住所別数	
男性	34人	武蔵野市内	69人
女性	68人	武蔵野市外	27人
無回答	0人	無回答	6人

■ 年齢別数	
小学生	24人
中高年生	1人
大学生	3人
一般（20代）	3人
一般（30代）	14人
一般（40代）	21人
一般（50代）	12人
一般（60代）	8人
一般（70代）	7人
一般（80代）	2人
無回答	7人

## 3 集計結果

■ エコプラザ（仮称）の整備検討の認知度	
知っていた	34人
知らなかった	68人
無回答	0人

■ エコプラザ（仮称）の整備検討をどこで知ったか？（複数回答可）	
市報	17人
前回のエコマルシェに行った	11人
市のホームページ	6人
環境フェスタに行った	6人
ワークショップに参加	3人
環境講演会に行った	2人
その他	6人
回答者数 33人	

■エコプラザ（仮称）にどんな機能があつたら行ってみたいか？（複数回答可）			
環境学習・体験の場の提供	70人	活動する人と活動の場のマッチング	15人
環境遊具・環境教材等の貸し出し	40人	人材発掘、ボランティア養成	13人
省エネ等の最新技術の紹介	26人	環境ライブラリ	12人
活動する人同士の交流の場	20人	その他	10人
環境情報の収集・発信	19人		回答者数 99人

### <クロス集計>

(回答者数=99人)												(人)
	小学生	中学生	大学生	一般 20代	一般 30代	一般 40代	一般 50代	一般 60代	一般 70代	一般 80代	年代 無回答	合計
環境学習・体験の場の提供	15	1	0	3	10	16	8	6	4	2	5	70
環境遊具・環境教材等の貸し出し	12	0	0	0	8	7	5	5	0	0	3	40
省エネ等の最新技術の紹介	5	0	2	1	3	5	4	2	3	0	1	26
活動する人同士の交流の場	4	0	1	1	4	2	3	3	1	0	1	20
環境情報の収集・発信	3	0	0	1	2	0	5	1	6	0	1	19
活動する人と活動の場のマッチング	5	0	0	1	2	2	1	3	0	0	1	15
人材発掘、ボランティア養成	5	0	1	0	1	1	4	0	0	0	1	13
環境ライブラリ	3	0	1	0	0	1	3	1	1	0	2	12
その他	3	0	0	0	0	2	3	0	0	0	2	10

■環境について関心のある分野（複数回答可）			
ごみ・リサイクル	64人	緑・水循環	37人
エネルギー（再生可能エネルギー、省エネなど）	46人	公害（大気汚染・騒音など）	22人
生物多様性（生きもの・生態系・絶滅危惧種の保全など）	39人	その他	1人
地球温暖化	38人		回答者数 99人

### <クロス集計>

(回答者数=99人)												(人)
	小学生	中学生	大学生	一般 20代	一般 30代	一般 40代	一般 50代	一般 60代	一般 70代	一般 80代	年代 無回答	合計
ごみ・リサイクル	15	0	0	1	10	10	8	7	7	1	5	64
エネルギー（再生可能エネルギー、省エネなど）	9	0	3	2	3	12	6	3	4	1	3	46
生物多様性（生きもの・生態系・絶滅危惧種の保全など）	16	0	1	0	4	5	2	3	5	2	1	39
地球温暖化	10	0	1	1	4	7	7	3	4	0	1	38
緑・水循環	8	0	0	1	4	5	6	5	6	1	1	37
公害（大気汚染・騒音など）	3	0	1	0	2	6	2	2	5	0	1	22
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

## 4 自由意見（抜粋）

■エコプラザ（仮称）への意見・感想

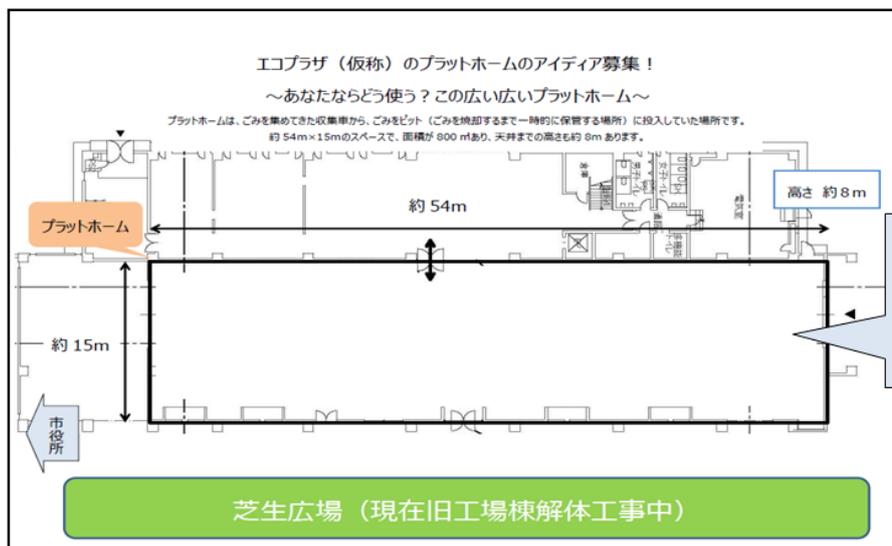
- ・市民（特に子ども達）が環境問題を身近な大事な問題として受け止めるキッカケの場
- ・日常生活に結びつくことをテーマにしてほしい
- ・たくさんの市民が利用できるような施設になれば良いと思う
- ・フラッと立ち寄れて体験出来る所
- ・気軽に立ち寄れておしゃべりができる場
- ・スポーツ施設や皆が参加できる学習の場と合わせて環境に関する施設になったら良い
- ・どんな物ができるのか楽しみ

■エコプラザ（仮称）への具体的な要望

- ・エコに関する市民講座を開催してほしい
- ・子どもも楽しめる体験型（自分がゴミになったつもりで分別、処理されるのを楽しめるアトラクション）など
- ・廃材アスレチック（タイヤ、ごみ箱、ロープ、木など）
- ・物々交換
- ・屋上菜園でとれた野菜を使つての料理、エコクッキングなどができるクッキングコーナーがほしい
- ・生ごみリサイクル土づくりなどを教える
- ・EV、PHVの充電施設が欲しい
- ・リサイクルセンター

## 5 プラットホーム活用アイデア募集

回答者数：87人（アンケート回答者数：102人）



黒い太枠の中に活用アイデアを  
絵や文章で記入していただいた。

### 環境学習に関すること

- ・環境学習スペース
- ・発電体験コーナー  
（水車・風車・太陽光・バイオマス）
- ・環境クイズ
- ・環境に関する勉強会や講演会
- ・環境啓発のゲーム
- ・温室
- ・図書スペース
- ・絵本コーナー
- ・生きものや植物の標本・写真の展示
- ・子どもに体験させるイベントの紹介等
- ・環境に関する展示
- ・緑の空間
- ・環境に関する実験

### 子ども遊び場・遊具に関すること

- ・廃材遊具
- ・動物ふれあいコーナー
- ・室内プール
- ・すべり台
- ・ブランコ
- ・ターザンロープ
- ・砂場
- ・トランポリン
- ・ボルダリング
- ・ダイナミックな遊具
- ・雨天時に子どもが遊べる広場
- ・室内アスレチック
- ・ロープのぼり

### イベントに関すること

- ・音楽イベント
- ・発表会
- ・コンサート
- ・劇場利用
- ・フリーマーケット
- ・おもちゃのかえっこ
- ・絵本のかえっこ
- ・キャンプ
- ・流しそうめん大会
- ・映画上映
- ・紙飛行機大会

### 情報・展示コーナーに関すること

- ・市民活動等の紹介スペース
- ・クリーンセンターの資料スペース

### ものづくりに関すること

- ・廃材ものづくりコーナー
- ・映画・ゲームの作成

### その他

- ・物々交換スペース
- ・会議室利用
- ・レッスン室
- ・勉強スペース
- ・天井は空模様にする
- ・子どもを遊ばせながら仕事ができるスペース
- ・赤ちゃん用のコーナー
- ・貸ギャラリー
- ・ダンススタジオ
- ・ハンモック
- ・プラネタリウム
- ・楽器の練習スペース

### カフェなどの出店に関すること

- ・カフェ(屋上菜園の野菜を生かしたスイーツなど)
- ・野菜市場(出荷されないようなB級野菜)
- ・地域のお店などの出店
- ・チャレンジショップ(屋台などのイートイン施設)
- ・BARラウンジ

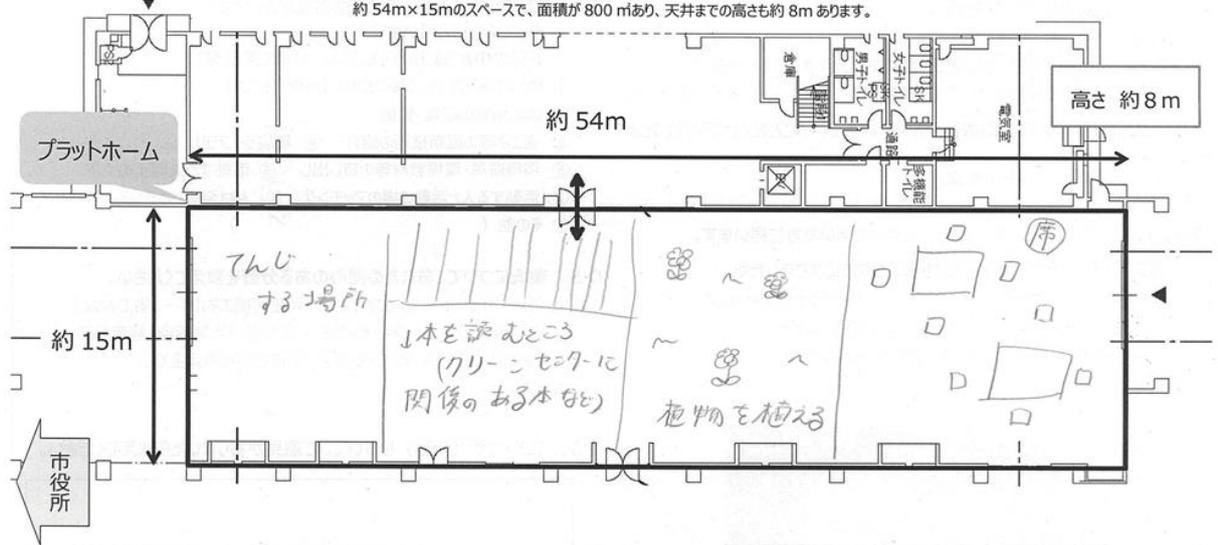
### スポーツ設備に関すること

- ・ボルダリング
- ・スケートボード場
- ・ローラースケート場
- ・雨でも走れるランニングスペース
- ・スケートリンク
- ・バスケットコート
- ・フットサルコート
- ・テニスコート

エコプラザ（仮称）のプラットホームのアイデア募集！

～あなたならどう使う？この広い広いプラットホーム～

プラットホームは、ごみを集めてきた収集車から、ごみをピット（ごみを焼却するまで一時的に保管する場所）に投入していた場所です。  
約 54m×15mのスペースで、面積が 800 ㎡あり、天井までの高さも約 8m あります。

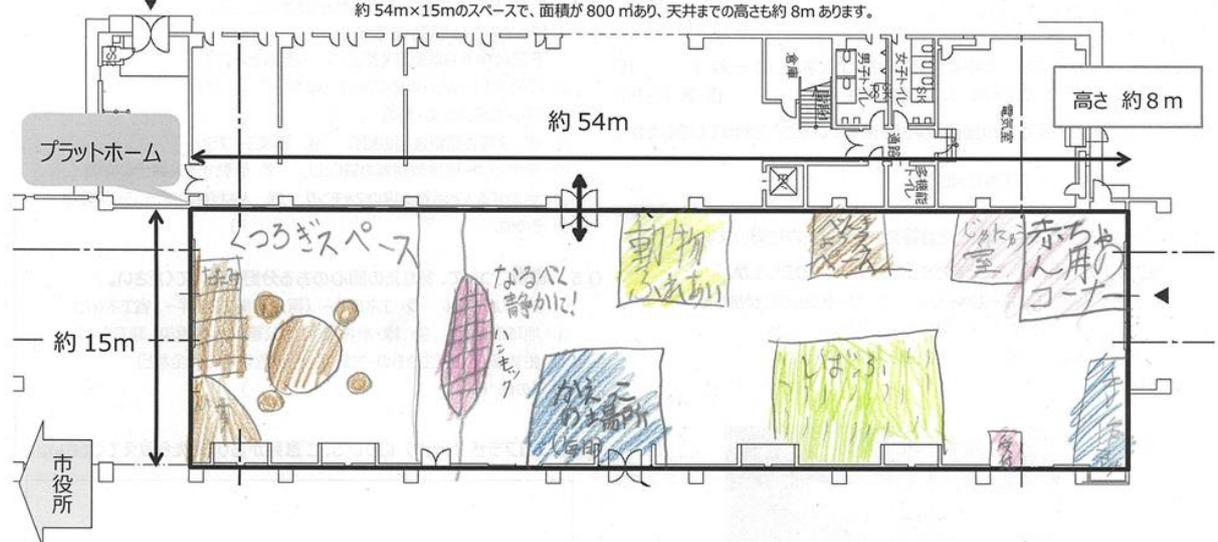


芝生広場（現在旧工場棟解体工事中）

エコプラザ（仮称）のプラットホームのアイデア募集！

～あなたならどう使う？この広い広いプラットホーム～

プラットホームは、ごみを集めてきた収集車から、ごみをピット（ごみを焼却するまで一時的に保管する場所）に投入していた場所です。  
約 54m×15mのスペースで、面積が 800 ㎡あり、天井までの高さも約 8m あります。



芝生広場（現在旧工場棟解体工事中）

## 5 地球温暖化についての講演会実施概要

### 環境講演会「地球温暖化と私たちの未来」

日 時：平成30年3月24日（土）午後2時～3時30分  
 会 場：武蔵野市役所 811会議室  
 講 師：国立環境研究所 江守正多 氏  
 参加者数：84人（アンケート回答者数：77人）

#### 1 講演内容

地球温暖化が進むとなぜ気温が上がるのか。この地球温暖化をどうやって社会としてとらえ、対応したらよいか。

#### 2 2050年の天気予報

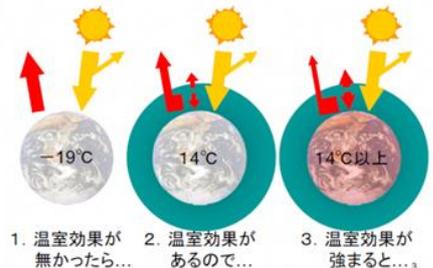
2050年の9月頃、日本の天気予報はどうか。  
 < IPCC の報告に基づいて、このままのペースで二酸化炭素を出し続けた場合 >  
 ① 真夏日・熱帯夜の増加  
 ② 京都の紅葉の見ごろがクリスマス時期へ  
 ③ 沖縄のサンゴの白化（海水温の上昇、海洋酸性化）  
 ④ スーパー台風が押し寄せ、最大風速65m、5～10mの高潮が発生する予想  
 → 都市機能のマヒ、停電や断水といった被害が発生



#### 3 地球温暖化のしくみ

太陽のエネルギーは地球表面に吸収され、赤外線として宇宙に放出される。  
 ① もし温室効果がなかったら、赤外線がそのまま宇宙に放出されて気温は低いはず。  
 ② 大気中の温室効果ガスは、地球表面が放出した赤外線を吸収して放出する。その一部が地球表面に放出されるため、気温が高まる。⇒「温室効果」  
 ※ 平均的な地球の気温は14℃になるといわれている。  
 ③ 温室効果が強まると、地球表面に放出されるエネルギーが増えて気温が上昇する。  
 ※ 人間活動によって増加している温室効果ガスの大半が二酸化炭素

地球温暖化のしくみ

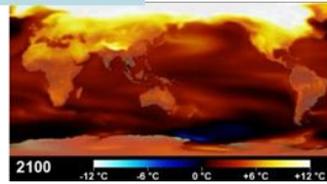


#### 4 地球温暖化の現状と予測

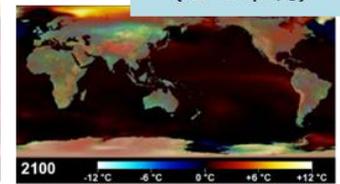
【現状】地球の気温は、エルニーニョ、ラニーニャ現象等の自然現象の影響を受けて、常に不規則に変化している。不規則変化しながらも、平均気温が上昇傾向にある。この傾向は、人間活動による温室効果ガス増加の影響を入れないと説明できず、これが原因である可能性が極めて高い。

【予測】このまま温室効果ガスを排出し続けると、今世紀末には約4℃気温が上昇する。地域によって気温上昇に差があり、太平洋の中心は海水が蒸発して冷やされ気温上昇がゆっくりとなるが、北極等の雪や氷が溶けて気温上昇が増幅されやすいところは、6～8℃の上昇が予測される。日本は海に囲まれているため、4℃上昇か少し高いくらいの予想。

対策なし



対策あり  
(2℃未満)



温室効果ガスを出さなくなれば、上昇を抑えることができる。

#### 5 世界情勢と地球温暖化

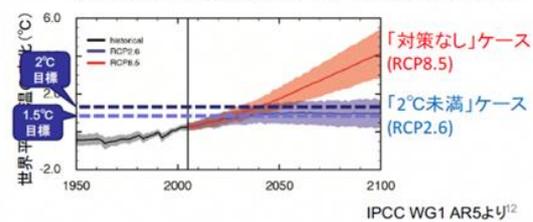
##### 【2015年パリ協定の長期目標】

世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する

##### 【「2℃未満」目標を達成する排出削減経路】

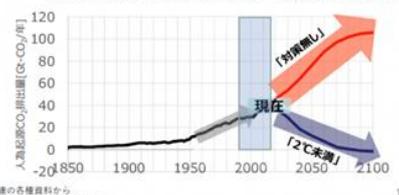
パリ協定では、「今世紀後半に人為的な温室効果ガスの排出と吸収源による除去の均衡を達成する」と定めている。排出量と吸収量の均衡（バランス）とは、排出量から吸収量（植物による二酸化炭素の吸収量）を除いた、温室効果ガスの正味の排出をゼロにすることを意味する。

気候変動枠組条約 COP21/パリ協定 (2015年)



IPCC WG1 AR5より<sup>12)</sup>

気候変動枠組条約 COP21/パリ協定 (2015年)



IPCC関連の各種資料から  
杉山昌弘氏、朝山慎一氏が作成

### 【世界の二酸化炭素排出量と経済成長】

現在の世界経済（世界総生産）の成長率と世界全体の二酸化炭素排出量を見ると、世界経済が成長を続けているのに対して、近年の二酸化炭素排出量はほぼ横ばいとなっている。再生可能エネルギー、エコカーの普及により、温室効果ガスを増やさずに経済成長ができるのではないかと。排出量を減らしながら経済成長できるようになると、温室効果ガス排出量ゼロという目標に説得力が出るのではないかと。

### 【排出ギャップ】

パリ協定…各国が自主目標を定めたもの

パリ協定での各国自主目標がすべて達成できたとすると、3℃前後気温が上がってしまう。

### 【Climate Justice】

今まで温室効果ガスを排出してきたのは、先進国と新興国のような豊かな国だった。しかし、最も深刻な被害を受けるのは、温室効果ガスを出していない途上国、先進国・新興国の立場の弱い方、そして将来世代である。例えば、温暖化により海面上昇が起きれば、島国の国土は危機にさらされる。気候変動の問題は国際的な人権問題でもある。

## 6 どのように排出ゼロを目指すのか

人間活動によって出る二酸化炭素のほとんどは、エネルギー生産時に発生する。エネルギーの8割は化石燃料を原料としているため、他2割の割合を増やす必要がある。化石燃料以外のエネルギーで需要を賄うにはどうしたら良いか？

- ・再生可能エネルギーの普及…太陽・風力等の変動を安定化する対策も必要
- ・火力電力の効率化…石炭よりもガスを使用し、CCS(二酸化炭素を地下に閉じ込め、地上に出さない)技術の活用
- ・電気自動車や燃料電池車へシフト
- ・二酸化炭素の吸収源である森林を守り、植林を進める。
- ・新しい技術の開発・普及、コストダウン等の技術革新が必要である。技術が変わっていくと社会の在り方も変化する。

## 7 大転換の必要性

脱炭素化目標を実現するには、社会の大転換（transformation）が必要

大転換＝世間の常識が変わること

産業革命で常識が変わり、奴隷制度が廃止となったことから、大転換は歴史的に行われてきた。

計画して、管理して、均一的な過去の延長で取り組むと、常識の変化は起きない。⇒発想の転換が必要

### 【分煙革命】

なぜ人々の考えが変わったのか？

- ・科学によって、受動喫煙による健康被害が立証された。
- ・被害者への配慮が考えられるようになった。
- ・健康増進法等の制度が整えられた。
- ・分煙を実施した飲食店に人が入り、経済的にも成功した。

⇒社会の常識が変わった。

### 【温暖化対策】

- ・気候変動も科学が発展し、解明が進められてきた。
- ・途上国への配慮や、将来世代への配慮が共感を呼ぶ。
- ・パリ協定など世界共通の目標も整えられてきた。
- ・経済活動も動きつつある(イギリス・フランスのE Vシフト)  
→再生可能エネルギーの技術開発や普及に資金投入  
→技術進歩→安価で安定した技術供給が可能になる。  
→化石燃料より安くなる。  
⇒世界経済は再生可能エネルギーへ流れる。

## 8 石器時代が終わったのは、石がなくなったからではない

パリ協定の目標達成＝化石燃料文明からの卒業

発見されている化石燃料の3分の1を燃やしたところで2℃を超えてしまう。

もっと安く、安定した、二酸化炭素を出さない技術を手にしたとき、化石燃料文明は終わり、パリ協定の目標達成にたどりつく。

## 9 主な質疑応答

【質問】環境問題や気候変動に興味がある。

私のような高校生や小中学生など若い世代が、地球温暖化に対してできることはあるか。

【回答】今、身の回りのできる対策をしていこうと学校でも習うと思うが、それだけをしていても、二酸化炭素排出量ゼロなどの大きな目標に向かうことはできない。身の回りの対策をやったから良いとそこで終わってしまうと、社会の大転換に参加することができなくなってしまう。

高校生ぐらいの年代であれば、世界の流れに目を向けてほしい。このインターネット時代はアンテナを張れば情報はいくらでも入ってくる。スマートフォンのニュースアプリで環境に関するニュースを集めてみたり、情報を自分で集めることが重要だと思う。

また、今はSNSを使って個人が発信源になれる。自分の考えた意見や疑問などを発信することで、世界が変わると思う。世界の情報に触れて、世界に関わっていくことが今できることだと思う。楽しいので、ぜひ試してほしい。

# 環境講演会「地球温暖化と私たちの未来」

日 時：平成30年3月24日（土）午後2時～3時30分  
 会 場：武蔵野市役所 811会議室  
 回答者数：77人（参加者数：84人）

## 1 アンケート

**アンケートのお願い**

本日は環境講演会「地球温暖化と私たちの未来」にご参加いただきましてありがとうございます。  
 市では現在、環境啓発施設エコプラザ（仮称）の整備・検討を進めています。  
 今後の参考とさせていただきますため、アンケートにご協力をお願いいたします。

Q1. あなたのことを教えてください。  
 性別：① 男 ② 女  
 年代：① 中学生・高校生 ② 大学生 ③ 一般（ ）  
 住所：① 放鷹町市在住 ② 放鷹町市在勤 ③ 放鷹町市在学 ④ その他

Q2. 今日の講演会をどこで知りましたか。  
 ① 市報で ② 市のホームページで ③ 知人からの紹介で  
 ④ フォトブックを見て ⑤ その他（ ）

Q3. 今日の講演会はいかがでしたか。  
 ① とても良かった ② 良かった ③ 普通 ④ よくないからなかった ⑤ やくちかった

Q4. 講演会の感想を聞かせてください。

Q5. 地球温暖化について、どう思いますか。

Q6. 環境について、あなたの関心のある分野を教えてください。  
 ① コミュニティ ② エコプラザ（再生素材エコプラザ、省エネ等）  
 ③ 地球温暖化 ④ 緑の水循環 ⑤ 公園（大気環境、騒音など）  
 ⑥ 生物多様性 ⑦ 生物保全 ⑧ その他（ ）

Q7. エコプラザ（仮称）の整備・検討を進んでいることを知っていましたか？  
 ① 知っていた ② 知らなかった

Q8. 「Q7」で「① 知っていた」とお答えいただいた方に伺います。  
 エコプラザ（仮称）のことをどちらでお知りになりましたか。  
 ① 市報で ② 市のホームページで ③ ワークショップに参加した  
 ④ 環境フェスタに行った ⑤ エコマルシェに行った  
 ⑥ その他（ ）

Q9. エコプラザ（仮称）にどんな機能があつたら、行ってみたいと思いますか？  
 下記の中からも選りくください。（複数回答可）  
 ① 学習・体験の場の提供（講座、イベント等） ② 環境情報収集・発信  
 ③ 省エネ等の最新技術の紹介 ④ 環境ボランティア  
 ⑤ 環境遊具・環境教材等の貸し出し ⑥ 活動する人同士の交流  
 ⑦ 活動する人と活動の場のマッチング ⑧ 人材発掘、ボランティア養成  
 ⑨ その他（ ）

Q10. エコプラザ（仮称）について、ご意見がありましたら教えてください。

## 2 回答者の属性

■男女別数		■住所別数	
男性	44人	市内在住	44人
女性	31人	市内在勤	20人
無回答	2人	市内在学	0人
		その他	8人
		無回答	5人

■年齢別数	
中・高校生	6人
大学生	1人
一般（20代）	1人
一般（30代）	4人
一般（40代）	14人
一般（50代）	10人
一般（60代）	11人
一般（70代以上）	17人
無回答	13人

## 3 集計結果

■エコプラザ（仮称）の整備検討の認知度	
知っていた	63人
知らなかった	14人
無回答	0人

■エコプラザ（仮称）の整備検討をどこで知ったか？（複数回答可）	
市報	31人
市のホームページ	4人
ワークショップに参加	1人
環境フェスタに行った	20人
エコマルシェに行った	7人
その他	13人
無回答	2人
回答者数 77人	

■エコプラザ（仮称）にどんな機能があつたら行ってみたいか？（複数回答可）			
学習・体験の場の提供	53人	活動する人と活動の場のマッチング	14人
省エネ等の最新技術の紹介	36人	人材発掘、ボランティア養成	12人
環境情報の収集・発信	26人	環境ライブラリ	9人
活動する人同士の交流の場	19人	その他	2人
環境遊具・環境教材等の貸し出し	18人		
回答者数 77人			

### <クロス集計>

(回答者数=77人)										(人)
	中学生 高校生	大学生	一般 (20代)	一般 (30代)	一般 (40代)	一般 (50代)	一般 (60代)	一般 (70代以上)	年代 無回答	合計
学習・体験の場の提供	5	1	1	3	9	9	7	10	8	53
省エネ等の最新技術の紹介	2	1	1	2	4	5	6	10	5	36
環境情報の収集・発信	2	0	0	1	6	5	3	6	3	26
活動する人同士の交流	1	0	0	1	4	5	3	3	2	19
環境遊具・環境教材等の貸し出し	3	0	0	1	4	3	1	3	3	18
活動する人と活動の場のマッチング	0	0	0	2	3	3	2	2	1	13
人材発掘、ボランティア養成	0	1	0	1	1	3	3	2	1	12
環境ライブラリ	1	1	0	0	2	2	1	1	0	8
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2

### ■環境について関心のある分野（複数回答可）

地球温暖化	37人	生物多様性・生物保全	23人
エネルギー（再生可能エネルギー、省エネなど）	36人	公害（大気汚染・騒音など）	13人
緑・水循環	33人	その他	4人
ごみ・リサイクル	30人	回答者数 77人	

### <クロス集計>

(回答者数=77人)										(人)
	中学生 高校生	大学生	一般 (20代)	一般 (30代)	一般 (40代)	一般 (50代)	一般 (60代)	一般 (70代以上)	年代 無回答	合計
ごみ・リサイクル	0	0	0	1	6	3	6	7	7	30
エネルギー（再生可能エネルギー、省エネなど）	1	0	1	2	9	2	7	5	9	36
地球温暖化	1	0	0	3	7	5	7	9	5	37
緑・水循環	2	0	1	2	4	5	7	5	7	33
公害（大気汚染・騒音など）	3	1	0	1	2	1	1	2	2	13
生物多様性・生物保全	3	0	0	1	5	4	3	4	3	23
その他	1	0	0	0	1	0	0	1	1	4

### ■今日の講演会はいかがでしたか

とても良かった	38人
良かった	20人
普通	4人
よくわからなかった	0人
よくなかった	1人
無回答	14人

### ■今日の講演会をどこで知りましたか（複数回答）

知人からの紹介で	31人
市報で	23人
ポスター・チラシを見て	15人
市のホームページで	3人
その他	8人
無回答	2人
回答者数 77人	

## 4 自由意見（抜粋）

#### ■エコプラザ（仮称）への意見

- ・子どもに教育できる施設になるとよい。
- ・体験コーナーがあれば小さい子や親子が来て身近に感じられる。
- ・子どもが環境について意欲的に学べる場。
- ・CO2ゼロの生活が体験できる施設。
- ・情報を発信し、楽しく学べる施設。
- ・環境に関する市民団体を育て支援する。
- ・子どもから大人まで学習でき、最新の情報をわかりやすく学べる場。
- ・子連れで行ければ、大人も学べる。
- ・温暖化防止のための身近な提案や方針を発信してほしい。

#### ■地球温暖化について

- ・現状を正しく理解する。多方面から情報を得る。その後様々なアイデアも出てくる。
- ・若い世代が真剣に考え、解決策や適応策を主体的に動かしていく必要がある。
- ・我慢だけでなく楽しんで防止できる方法があるとよい。
- ・再エネ100%の可能性の予想ではなく、どう実現するか考え行動する責任がある。
- ・良く知られていない。情報発信が重要。
- ・一人一人の意識を変えるために、教育・啓発が大切。
- ・身近にできることから始めていきたい。

#### ■環境講演会の感想

- ・ビジネスチャンスを見出せば対策推進も可能。
- ・「社会の大転換で止められる」の話に明るい光を感じた。
- ・脱炭素のために人々の意識の変革が重要という考えに同意。
- ・生態系が崩れるのは大変な事。水不足、食料不足が現実にならないよう、一人一人が生活を考える。
- ・今世紀中に温室効果ガス0の時代も夢ではない。その兆候も見えてきているのは確か。

## 6 市民団体へのアンケート調査結果概要

### 武蔵野市エコプラザ（仮称）に関するアンケート調査結果

#### アンケート実施概要

発送日：平成30年7月9日

発送数：53件

回答数：38件（回答率72%）

#### 1 団体の概要について

##### (1) 団体の活動分野（環境面）（複数回答可）

ア	ごみ・資源	9
イ	エネルギー（再生可能エネルギー、省エネなど）	4
ウ	緑	20
エ	水循環	5
オ	生物多様性（生態系・動物・昆虫・植物）	8
カ	食・農	6
キ	公害	0
ク	環境衛生	2
ケ	地球温暖化	6
コ	環境学習・環境啓発	9
サ	環境全般	1
シ	その他	5

##### (2) 団体の所属人数（現時点でメンバーとして登録されている人数）

ア	10人以下	9
イ	11人～30人	15
ウ	31人～100人	6
エ	100人以上	7
	無回答	1

##### (3) 団体の活動歴

ア	5年以下	4
イ	6年～10年	9
ウ	11年～20年	15
エ	20年以上	10

#### 2 活動状況

##### (1) 活動頻度（平均的な頻度）

###### ① 団体のメンバー対象の行事や公開イベント等

※複数回答を含む

ア	毎日	2
イ	週数日	5
ウ	週1日	3
エ	月数日	12
オ	月1日	8
カ	月1日より少ない	11

※複数回答を含む

###### ② 団体の運営のための内部打合せ等

ア	毎日	0
イ	週数日	1
ウ	週1日	2
エ	月数日	7
オ	月1日	15
カ	月1日より少ない	13

(2) 活動への団体メンバーの参加人数（平均的な人数）

① 団体のメンバー対象の行事や公開イベント等

ア 10人以下	16
イ 11人～30人	15
ウ 31人～100人	2
エ 100人以上	2
無回答	3

② 団体の運営のための内部打合せ等

ア 10人以下	26
イ 11人～30人	7
ウ 31人～100人	1
エ 100人以上	0
無回答	4

(3) 団体の拠点（「拠点」とは、団体の連絡先や、事務作業を行う場所）（複数回答可）

ア 団体専用の拠点	10
イ 会員の事務所、勤務先等	2
ウ 会員の自宅	20
エ その他	12

(4) 主な活動場所（複数回答可）

① 団体のメンバー対象の行事や公開イベント等

ア 団体専用の拠点	11
イ 会員の事務所、勤務先等	1
ウ 会員の自宅	3
エ コミュニティセンター等の貸出スペース利用	11
オ 活動内容に応じた場所で活動している	16
カ その他	14

② 団体の運営のための内部打合せ等

ア 団体専用の拠点	11
イ 会員の事務所、勤務先等	2
ウ 会員の自宅	7
エ コミュニティセンター等の貸出スペース利用	13
オ 活動内容に応じた場所で活動している	6
カ その他	8

(5) 活動を行う曜日と時間帯（複数回答可）

① 団体のメンバー対象の行事や公開イベント等

ア 平日昼間	24
イ 平日夜間	10
ウ 土曜・日曜・祝日	25

② 団体の運営のための内部打合せ等

ア 平日昼間	19
イ 平日夜間	12
ウ 土曜・日曜・祝日	12

3 エコプラザ（仮称）について

(1) エコプラザ（仮称）の整備・検討を進めていることを知っているか

ア 知っている → (2)にも回答	22
イ 知らない	16

② 活動の中でエコプラザ（仮称）が話題になったことはあるか

ア よく話題になる	4
イ 時々話題になる	8
ウ 話題になったことはない	10

4 団体の活動における課題について

① 活動する場所

活動場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区ごとの企画を検討する際、コミセンが1か月前でないで予約できない。</li> <li>・市役所、事務局、コミセン、プレイス、活動現場等で現在は行えているが、いつまで確保できるか？</li> <li>・拠点が区内にあるが、活動範囲が広いので、行事によっては話し合い、準備作業の場所がない。</li> <li>・まず「どこでやる？」場所探しに苦労する。</li> </ul>
資料等の保管場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局がないので、猫を一時的に保護する場所や道具などの置き場ないこと。</li> <li>・活動の拠点がほしい。その中に、持っている資料や活動に必要な道具を保管するスペースがほしい。</li> </ul>
費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有料だと経費がかかり、参加者にも負担になる。</li> </ul>
土日の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土・日借りられる場所がない。</li> </ul>

② 展示やイベントの開催

開催場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園でのイベントをするには様々なハードルがある（人数、動員数、販売不可）。</li> <li>・雰囲気のある場所がない。</li> <li>・もっといろいろな場所でのワークショップなどをしたい。</li> </ul>
周知・集客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・告知・周知に課題がある。</li> <li>・会場の確保。集客。</li> <li>・啓発のためのイベントをやりたいが、企画や運営をする余裕がない。</li> </ul>
制約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事との重複を避けた日程の設定。</li> <li>・パネル・道具等の保管スペースが足りない。</li> <li>・車両搬入ではない場合の什器持込みの限界。</li> </ul>
費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有料の場合が多いので、日数が短くなる。</li> </ul>

③ 活動に必要な環境問題などの情報の入手

情報入手方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報入手の場がほしい。</li> <li>・本や新聞、テレビなどからの情報は得ているが、限界を感じている。</li> <li>・情報入手の機会が少ない。</li> <li>・インターネットでチェック可能な情報を整備して欲しい。</li> </ul>
情報不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ缶、米ぬか、コーヒーかすなど、回収させてくれるところを探している。そのような情報が集まってくるとよい。</li> <li>・外部の団体等より入手すると、不十分。</li> </ul>
情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報をキャッチしても共有するチャンスを得られない、活かせない。</li> </ul>

④ 活動に対する、行政や民間団体による支援制度の情報入手

情報不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に対する、行政や民間団体による支援制度の情報が必要。</li> <li>・環境問題の活動に対して補助金を提供している団体や協力的な企業の情報を知りたい。</li> <li>・情報がなかなか得られない。</li> <li>・助成金などの情報がわからない。</li> <li>・情報入手の機会が少ない。</li> </ul>
情報入手方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足なので、気がついたときにインターネットで情報収集する程度で、組織的な動きはできていない。</li> </ul>
支援手続き等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を受けて、報告書など煩雑になるのは困る。</li> <li>・市の協力が充分得られない。</li> </ul>

⑤ 他団体との意見交換、事業の連携・協力

連携の難しさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマが異なると連携は難しい。</li> <li>・連携がうまくできていない。</li> <li>・他の地域の団体と交流、連携があるが、武蔵野市内の団体とはあまり接点がない。</li> <li>・意見交換の機会はあるが、マンパワー、財源などの点で事業連携にまではなかなか難しい。</li> </ul>
連携の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な団体にも関係する問題に取り組んでいると思うが、連携の方法がわからない。</li> <li>・気軽に連携できる仕組みが欲しい。</li> </ul>

連携の事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腐葉土の提供での連携、協力が助かっている。</li> <li>・自身も参加している団体や知り合う方々と共働している。</li> <li>・他団体には、参考にできることがあるのではないかと考えている（緑のボランティア 横のつながり）。</li> <li>・環境フェスタではできない他団体間の交流を深め、互いの活動を理解し、できることは実践して良好な地域・地球環境をめざしていく。</li> </ul>
-------	---

#### ⑥ 団体の運営体制

人員の固定化・不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー固定化、高齢化</li> <li>・運営が一部の人の負担となっており代わりがない。</li> <li>・事務局の担い手。</li> <li>・常勤スタッフがおらず事務面での体制が弱い。</li> <li>・実際に活動できる人員が少なく、日々の相談対応に困ることが多い。</li> <li>・複業の為、注力できない期間がありもどかしい。</li> </ul>
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化。50歳代以下の入会が極めて少ない。</li> <li>・メンバーの高齢化。世代交代をどう図るかが課題になってくる。新しい仲間はポツポツ増えてはいるが。</li> <li>・メンバーの高齢化のため、公園の緑の保全が厳しくなっています。</li> <li>・会員の年齢層が上がっている。活動に関心をもつ若い人もいるが巻き込み方法に悩んでいる。</li> <li>・エコプラザを通して市民特に若い人たちの発掘に期待している。</li> </ul>
人件費確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費の確保がむずかしいため、優秀な人材がなかなかあつまらない。</li> </ul>
負担増大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供相手のイベントを数多く実施しており、スタッフの負荷が過大になっている。</li> <li>・活動が多岐に及んでいるため、管理業務が複雑になり過ぎており、市民団体の域を越えている。</li> </ul>

#### ⑦ 活動資金の確保

資金の不足・不安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報費が充分とれない場合も。</li> <li>・一部いきいきサロンの活用を始めるもまだわずか。</li> <li>・自転車操業、手弁当など多々。</li> <li>・安定財源がない。</li> <li>・安定性がない（会費・寄付、受託事業、助成金といった財源は年により変動が大きいので）。</li> </ul>
支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金のほとんどは寄付でまかなっているが、助成金があると、とても助かる。</li> <li>・環境問題の活動に対して補助金を提供している団体や協力的な企業の情報を知りたい。</li> </ul>
資金の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金を得るための自由な場がほしい（公園での産物を加工したり、作品を販売する）。</li> <li>・行政委託以外の方法も試みたい。</li> </ul>

#### ⑧ 活動内容の周知

周知手段の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSでの発信が弱い。</li> <li>・市報のように周知する場所が欲しい。</li> <li>・既存のネットワークより外への情報発信が難しい。</li> <li>・市民への周知がまだまだできていない。</li> <li>・活動を広く知ってもらうことが困難。</li> <li>・活動が多岐に及んでおり、周知が簡単に行えない。</li> <li>・小学生向けのイベントは、学校向けにチラシが配布可能なので、周知され、応募・参加者が多い。大人気。大人向けのイベントは、市報にほぼ限定されるので、周知効果が低く、応募・参加者が少ない。</li> </ul>
イベント活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコマルシェ等、活用させていただいているが、さらに周知ができるとよい。</li> <li>・現在は、キャンペーン、くらしフェスタ、環境フェスタが公に情報発信の機会である。エコプラザによってより多くの市民に現状をアピールすることができる。</li> </ul>
人員不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動にさく人員が足りない。</li> </ul>

## 5 エコプラザ（仮称）できるとよいこと

### (1) エコプラザ（仮称）できたらよいと思うこと（期待度）

※期待度を5段階で評価（5が最大、1が最小）、無回答は除く。

エコプラザ（仮称）できたらよいと思うこと	期待度				
	5	4	3	2	1
① 最新の環境情報を入手できる。	9	13	8	2	1
② 個人・団体が環境に関する情報を発信できる。	11	9	7	3	1
③ エコな暮らし方につながるスキルを市民同士教え合う、学び合う機会がある。	13	11	4	3	1
④ 子ども同士や親子連れで、遊び、エコについて学べる設備・教材・場所がある。	12	14	5	0	2
⑤ 環境について学びたい、活動したいときに、同じ悩み、課題意識を持つ市民同士をつなげてくれる。	14	8	9	2	0
⑥ 環境について学びたい、活動したいときに、相談、アドバイスを受けたり、活動をサポートしてくれる仕組みがある。	14	14	5	0	0
⑦ エコに関連した市民の漠然としたアイデア・悩みに耳を傾けてくれて、それを実現・解消するための様々な方法を示してくれる。	9	12	7	2	1
⑧ エコプラザ（仮称）の空間を生かした活動のアイデアを受け付けてくれる。	9	12	8	1	1
⑨ 環境学習・体験事業（講座、イベント等）に参加できる。	14	14	4	0	1
⑩ 訪れた人が、何気なくエコな暮らしに関心を持つような仕掛けがある。	8	17	5	0	1
⑪ 省エネや再生可能エネルギー（太陽光発電など）の最新技術を知り、体験できるなど、エコにつながる暮らし方を学べる。	11	11	9	1	0
⑫ エコプラザ（仮称）で行われた展示・イベントなどの記録を見て、具体的な活動ノウハウを得ることができる。	6	11	10	3	1
⑬ 市内各地域・各施設と連携し、地域への出前型の取り組みができる。	11	10	7	1	1

### (2) エコプラザ（仮称）できるとよいと思うこと（自由記述）

- ・エコ・カフェをつくる。その一角に「エコ・トーク・テーブル」を設け、その時々テーマでお茶をのみに来た人が自由に話に加われるような空間にする。
- ・学校ルートでの広報力強化・・・出前授業で、子どもと子育て層に。
- ・事業者ルートの開拓・・・中小企業、商店等への出前授業や学習会告知。
- ・毎年行われる「環境展」。現在はブースのみであるが「プレイス」で行っていたような「環境講座」的なものがあったらよいのではないかな。
- ・環境学習リーダー養成講座。出前授業をやるにしても、「伝える」技術と基本的なオールラウンドな環境知識のレベルを身につけるべき。
- ・大判ポスター印刷のできるプリンター、ラミネーターなどの利用ができるとよい。
- ・市内で環境に関する活動を行っている団体の活動の場があるとよい。貸会議室、貸作業室、工具などがそろっており、そこで材料の再生、解体、製作ができるスペースがあるとよい（ものを大切にするというコンセプト。テンダー氏の『ダイナミックラボ』のような施設）。
- ・講座・イベント開催場所の常設化、できれば大・中・小
- ・環境・エコに関する実験・実習の場所（常設化）。
- ・映像の発信場所（常設化、兼用可）。
- ・場をいかした継続的な活動：植物の栽培、生きものを育てる、ビオトープ、水質調査など、個人宅や事務所ではできないような実践・調査など。
- ・環境問題に関心のある市民・団体が一つ屋根の下「エコプラザ」で活動できるようになることは大変うれしい。団体間の交流をする中で、学習会や講演会を企画し、その成果を積み上げていきたい。
- ・環境関連の講演会の開催。
- ・持込み企画の実施。
- ・粗大ごみ回収の中からまだ使える物品の販売（ごみの中からこんなもの展）。
- ・廃油プラントができないか（練馬区のような）。
- ・見てわかるグリーンインフラモデル展示。
- ・武蔵野市の下水道を知る模型。
- ・エコに関する市としての大きな取組方針が明確に示され、その方針における「エコプラザ」の役割が市民として感ずることができるといいですね。
- ・現在の活動場所で用が足りるので必要性を感じない。
- ・アイデアの造成、実験をしよう場が定期的になり、そのスキルを活動として実施する。
- ・展示やイベント、セミナーなどの場として。
- ・公園ボランティアにとって、活動資金を得る場所がありません。環境系の団体が優先される自由な場があればと思います。情報交換もできれば有意義です。
- ・従来の役所主導の仕組を脱し、わかりやすく、気軽に、楽しく、センスのある場所にして欲しい（例、Caféスペースや各グループのワークショップなどの開催がいつもあるようなイメージ）。
- ・若い人達を取り込む工夫（例、ライブコンサート、発表の場の提供など）。
- ・資料を整理・陳列してだれもが利用できるスペースが欲しい。
- ・近隣自治体、近隣の活動団体の報告書。
- ・活動に使用した教材・資料を使い回しができる。

## 6 旧グリーンセンターのプラットホーム活用アイデア（自由記述）

- ・なかなか大きな音を出せる場所がないので、音楽や体験イベントなどができたら良いのでは？
- ・秋～冬にかけて落ち葉の事が問題になります。落ち葉の感謝祭のようなイベントを再開してはどうでしょうか？また、農家さんとコラボするなどして（堆肥として利用したい農家さんにひきとってもらう為の一時保管場所）利用できないでしょうか？
- ・緑ボランティアグループの発表の場になるイベントを開催し、次世代のボランティア参加を促したい。多くのグループが一堂に会することによって、参加しようとする人たちがグループを比較して選ぶことができる。
- ・生物多様性のイベントを考えたい。
- ・屋内なので天候に左右されずに開催できるのは、とても良い場所だと思う。
- ・雨天にも対応でき、電気やガスも使用可能なマルシェの場（地域のおまつりの場）。
- ・音響も良さそうなのでLiveもできるとよい。
- ・環境・ごみ減量のイベント開催場所。
- ・フリーマーケット（付加価値の付いた内容で）。
- ・子供のためのイベント開催場所。
- ・年数回は「フリマ」をやってみようか。
- ・環境×アートのイベントを実施する。
- ・苗の提供、植物に対する知識、相談を提供できます。プラットホームを利用して苗木交換会もできると思います。緑を通してより良いまち作りを考える場所にしたいと考えています。
- ・深く関わっている廃材利用をルーツに持つ音楽（ジャグ・バンド・ミュージック）のフェスト廃材利用手仕事マルシェのピースフルな複合イベントをやりたい！
- ・市と共同でイベントを開催したいです（動物愛護系）。
- ・ねこの譲渡会もできるとうれしいです。
- ・アーティストに開放して、発表の場にしてみよう。
- ・エコファッションのファッションショーの開催。
- ・「エコ」（→もったいない、リユース、リメイク、アップリサイクル）をテーマにしたアートを募集して、展示する。
- ・木の廃材を集め、それを自由につなぎ合わせるなど、大きなモニュメントをつくる（一定期間でつくり変える）。
- ・簡単な住宅のモデルを作り、エコハウスを体験できる。①屋根にソーラーパネル。ベランダにベランダ発電キット。②窓断熱リフォーム。床断熱リフォーム。③省エネ家電。
- 企業のHEMS最先端モデルハウスではなく、市内の大部分の住宅で取り組める、身の丈の省エネ・創エネ対策。
- ・武蔵野の動植物の展示。
- ・グリーンセンターの歴史。ごみピットの歴史。
- ・展示については、市内の団体に限らず、全国的に活動する団体が多くのパネルを所有しているの、出展してもらおうとよいのではないかな。
- ・以前ものづくり工房hicolorの壁で行った「アルミ缶展示」がとてもきれいでした。つぶしたアルミ缶を壁一面に貼っていくのですが、光があたると反射してきらきらと美しかったです。壮大なスケールで行くと圧巻かもしれません。
- ・市民の集う場所として目を引く、展示・仕掛け（大空間でなければいけないこと）。
- ・雨水の行方展示（合流式下水道のしくみ）。
- ・「食品ロス」「エコ・クッキング」。関連した団体同志で共働していくのもよいのではないかなと思う。
- ・生ごみの肥料作り
- ・苗作り
- ・草花、野菜販売
- ・無料で物物交換できるリユースマーケットを常設する（逗子市の「エコ広場」のようなイメージ）。
- ・雨水の貯留・浸透を横から見られる。
- ・一部は庭や畑、池にしているいろいろな形態での雨のゆくえを確かめられるとすばらしいです。
- ・NHKの「大科学実験」等の場所として提供する（環境問題関連）。
- ・小中学校、高校の環境問題関連の科学実験を募り、実施に提供・協力する。
- ・民間企業の環境問題についての科学実験の、市民へのプレゼンの場に貸し出す。
- ・種々のロボットの実験。
- ・雨水センター（福岡県の「あまみず憩いセンター」）や雨庭（レインガーデン）があると、市民のとりくみの参考となる。
- ・太陽光や廃熱利用エネルギーだけではなく、太陽熱利用も促す仕組みがほしい。
- ・会議室形式でなく丸テーブルとイス5脚の組合せで2～3組設置し、だれでもいつでもそこで打合せしたり、議論したりできるスペースが欲しい。
- ・日常的には、子どもたちの遊び場として活用する。
- ・災害時の避難所。
- ・ドローンの飛行訓練。
- ・足湯につながらながら、交流できるスペース。
- ・ボルダリングの施設を設置する。

## 7 エコプラザ（仮称）全般についての意見（自由記述）

- ・定例的な会合や研修の際に使用できるスペース（会議・研修室）が確保されると有意義です。
- ・何度でも足を運び、そこで出会った人たちとの交流や情報交換等で、地域・環境・資源・平和等への関心がより喚起され、物の見方、とらえ方のステップアップに貢献できるような場としての貢献を期待する。

## 7 庁内推進本部実施状況

### (1) 庁内推進本部の設置について

#### ① 旧庁内推進本部

本市では、新武蔵野クリーンセンターの整備にあたり、庁内に「新武蔵野クリーンセンター（仮称）周辺まちづくり整備庁内推進本部（以下「旧庁内推進本部」という。）」を設置して、庁内の横断的な調整を図ってきた。

旧庁内推進本部は、副市長を本部長として、総合政策部長、総務部長、財務部長、市民部市民活動担当部長、防災安全部長、環境部長、都市整備部長、教育部長で構成されていた。

#### ② 新庁内推進本部の設置

武蔵野市エコプラザ（仮称）の検討にあたっては、旧庁内推進本部を改組して、新たに「武蔵野クリーンセンター周辺まちづくり整備庁内推進本部（以下「新庁内推進本部」という。）」を設置した。

新庁内推進本部では、「武蔵野市エコプラザ（仮称）の整備に関すること」を所管事項に加えるとともに、メンバーに市民部長、子ども家庭部長を加えて、より広い分野の部署間での横断的な調整を可能とした。

さらに新庁内推進本部の下に、課長級の職員で構成する「幹事会」を設置し、より実務的な調整を可能な体制を整備した。

### (2) 庁内推進本部実施状況

#### ① 第1回武蔵野クリーンセンター周辺まちづくり整備庁内推進本部・幹事会合同会議

- ・日 時 平成30年7月11日（水） 午前10時～11時30分
- ・場 所 412会議室
- ・議 題 新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会の検討状況について  
新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設工事の進捗について  
エコプラザ（仮称）検討市民会議の検討状況等について

#### ② 第2回武蔵野クリーンセンター周辺まちづくり整備庁内推進本部・幹事会合同会議

- ・日 時 平成30年8月28日（火） 午前10時～11時30分
- ・場 所 411会議室
- ・議 題 エコプラザ（仮称）検討市民会議のまとめ（案）修正版（本編のみ）について  
エコプラザ（仮称）の整備に向けた市の基本的な考え方（案）について

8 先進施設視察概要

施設名	エコプラザ西東京	えこっくる江東	多摩エコにごセンター	豊田市eco-T(エコット)		
施設写真						
視察年月日	平成27年4月21日	平成27年4月15日	平成27年5月1日	平成27年8月6日		
1 施設概要	設置者	西東京市	江東区	多摩ニュータウン環境組合	豊田市	
	開設年	平成20年	平成19年	平成14年	平成19年	
	理念・基本的な考え方	環境の保全と循環型社会の形成につながる活動を普及。環境学習の場の提供。	「エコ」+「作る」+「江東」すべての生きものにとって住み良いエコロジーな環境を作る。生活と地球環境とつながりにきづかせる。調べ学習で自ら気づき、環境への視野を広げる。	「リサイクル・コミュニティセンター」「地域」「わざ」「次世代」ごみの少ない暮らし方を学んだり、情報を得ることのできる施設。	・生活と環境のつながりを実感する ・人を介して「気づき」を育む ・「気づき」を行動に結びつける ・参加・体験を軸に市民が作り上げていく	
	構造など	鉄筋コンクリート造、地上2階、1,009㎡ * 事務室・詰所含む 講座室、多目的スペース、など	鉄筋コンクリート造、地上2階、1,000㎡ 展示室、情報コーナー、ワークショップルーム、研修室など	鉄筋コンクリート造、地上2階、1,980㎡ リサイクル工房・リサイクル品販売コーナー、展示コーナーなど	2,080.83㎡、展示室、ホール付伊室、多目的室、図書コーナー、ワークショップルーム、調理室	
	環境配慮設備	雨水利用	○水撒き等	○トイレ		○
		太陽光発電	○太陽光発電ガラス	○太陽光パネル		○太陽光発電
		風力発電		○風力発電		○風力発電
		太陽熱利用				
		地熱利用				
		屋上緑化・菜園	○屋上緑化	○屋上緑化、菜園		○壁面緑化
ビオトープ			○屋上ビオトープ			
緑のカーテン		○		○		
遮熱・断熱・遮光	○高断熱ガラス、光触媒部材屋根			○複層ガラス、熱反射ガラス、外付ブラインド		
その他	無水トイレ、エコセメント利用、コーゼンレーション	ハイブリッド発電、ソーラーカー倉庫、田んぼ、堆肥置場		清掃工場の蒸気発電利用、高効率照明、排水・汚水の再利用		
開設経過	保谷・田無市の合併を機に特例債を活用した施設整備を検討。清掃職員からの移転も目的だった。開設2年前から市民参加で開設準備、リサイクルプラザとして市民団体等と議論してきた歴史がある。	2か所の清掃事務所の統合（清掃事務所庁舎の新設）に合わせ、従来からの環境に関する学習、活動、情報発信の拠点であった啓発施設の建て替えを行った。江東区はごみ処分の埋立地である夢の島を有し、ごみ処理問題が非常に身近で重要な問題だった。	八王子、多摩、町田にかかる多摩ニュータウン環境組合の清掃工場の建て替えに伴い、地元住民からの要望を踏まえ、併設のリサイクルセンターを開設した。	平成15年度からクリーンセンター併設の学習施設として市民参加で検討。開館前からボランティアを養成し、開館4年目からは市民NPOが運営。		
立地条件・周辺環境	住宅地。保谷駅徒歩15分。周辺に保谷庁舎、スポーツセンター、こもれびホール等。	住宅少ない。大きな道路沿い。潮見駅徒歩12分。周辺は海浜公園、運動公園がある。幼児～小学生、親子ターゲット。駅周辺には大型マンションが多い。	住宅なし。大きな道路沿い。唐木田駅徒歩5分。清掃工場内併設。周辺に女子大・福祉センター等。	住宅なし。豊田市中心市街地から8km。末野原駅2.5km。清掃工場内併設。		
主な業務	・講座、イベント等の実施 ・情報の発信 ・会議室の貸し出し *リサイクル品はシルバー人材センターが展示販売	・講座、イベント等の実施 ・常設展示室の設置、運営 ・ボランティアの養成 ・情報コーナーの設置、運営 ・部屋の貸し出し	・粗大ごみのリサイクル販売 ・講座、イベントの実施 ・情報の発信 ・食器のリサイクル ・子どもエコクラブの運営（工作教室・イベントなど）	・環境講座の開催 ・施設見学対応 ・展示の更新 ・市民フォーラムの開催 ・地域等への派遣・出前授業 ・子どもエコクラブ ・環境学習教材の貸し出し		
休館日	第3月曜日、年末年始	月曜日、年末年始	月曜日、年末年始	月曜日・年末年始		
開館時間	9時～21時30分	9時～17時 * 常設展示室は9時30分から	10時～17時	9時～17時（事前予約で21時まで延長可）		

施設名		エコプラザ西東京	えこつくる江東	多摩エコにこセンター	豊田市eco-T(エコット)
公の施設		○	○	○	×
運営者		直営 建物管理 職員 事業運営 職員 ・市民中心の協力が各種事業支援とチーム活動(リユース・園芸・書籍映像・工作・エコイメージアップ・宣伝)をしている。 ・市民嘱託職員5名が講座等の企画、立案、運営を担当、市民目線を生かしている。	直営 建物管理 職員 事業運営 職員 ・事業の一部を環境活動団体の連合体に委託している。 ・展示室等を案内するエコサポーター(3年登録)を養成している。	委託 建物管理 職員 事業運営 NPO法人東京・多摩リサイクル市民連邦 ・組合と運営団体との定例会議を月1回実施、課題や改善点を共有、協議している。	委託 建物管理 職員+NPO法人とよたエコ人プロジェクト(日常点検・備品管理等) 事業運営 NPO法人とよたエコ人プロジェクト ・行政→運営、NPO→活動、市民→インタープリター、の役割分担により、スムーズな運営を目指している。
職員体制		5名(1日3名体制) *すべて非常勤嘱託	8名 正規3名、再任用1名 非常勤嘱託4名	8名(1日3名体制) 正規2名 パート6名	スタッフ8名(専従3、パート5) インタープリター69名 学習コーディネーター5名
ランニングコスト	合計	事業費 計3,902万円	事業費 計4,100万円	事業費1,900万円	委託料4,800万円、リユース工房200万円 ※
	人件費	事業の人件費1,251万円	運営費3,100万円	人件費1,100万円	※
	施設管理経費	—	—	—	※
	事業運営費	事業費2,651万円	事業費1,000万円	800万円	※
	光熱水費	—	—	—	—
	修繕費	—	—	—	—
その他		エコサポーターへの費用弁償 展示説明1回1,000円	事業費内訳(委託料1,600万円+リサイクル品売上300万円)	インタープリターへの交通費1回2,000円	
2 運営	来場者数	H27	H26 利用者: 28,448人	H27 来場者: 約25,000人 H26	H26 来場者: 約20,000人超
	貸館	多目的室2室、講座室2室	研修室、ワークショップ室はあるが、貸し出しはなし。	多目的室 3室	ワークショップルーム2室、調理室1室、多目的室1室 登録団体のみ利用可
	見学			清掃工場: 2407人(60団体)	
	講座・イベント	環境講座: 1,828人 (38講座、77回)	講座・ワークショップ・講演会: 22,129人(21回)	講座: 1,032人(121講座)	施設内講座: 60回1,161人
	リーダー養成	協力員: 26人	エコサポーター養成講座: 4日間、 修了者19人(延べ331人)	登録制無償ボランティア(エコメイト)	
	出前講座 講師派遣		小学校4校(12クラス)		出前講座: 122回3,653人
	団体連携	登録: 24団体(H29) 登録団体を講師とした講座開催、団体の事業のPR			
	情報発信	リユース掲示板	メルマガ登録: 600件 図書貸し出し: 少ない PC閲覧: 少ない	リユース掲示板	イベント出展: 約18,000人
	その他	環境教材の貸出(無料)(環境カルタ、消費電力計、搾油機、騒音計など) 図書・映像(無料)	カーボンマイナス子どもアクション事業: 6,557人 エコキッズクラブ登録(体験型プログラム実施): 859人	再生家具の販売 食器リサイクル レンタル自転車(5台)	環境学習支援(教材の提供や貸出) エコポイント制度
	利用料	午前/午後・夜間/全日 多①1,350/1,800/4,950 多②1,500/2,000/5,500 講座 400/550/1,500 *登録団体約4割引	貸出施設なし	多目的室 1時間200円 レンタル自転車 1時間以内 100円 3時間以内 200円 5時間以内 300円	無料
特徴			・リサイクル品の売上収入を運営費に充てている。	・「環境モデル都市」。	

施設名	西宮市環境学習サポートセンター	中央区環境情報センター	京エコロジーセンター	板橋区エコポリスセンター		
施設写真						
視察年月日	平成27年7月28日	平成27年10月16日	平成27年7月28日	平成27年10月14日		
1 施設概要	設置者	西宮市	中央区	京都市	板橋区	
	開設年	平成17年	平成25年	平成14年	平成7年 (リニューアルオープンは平成27年)	
	理念・基本的な考え方	環境学習を軸とした21世紀の持続可能なまちづくり。目標①学び合い②参加・協働③生物多様性④快適なまち⑤資源循環⑥温暖化防止⑦良質な環境⑧国際協力	環境問題をわかりやすく学ぶとともに、区民・事業者・区が連携し、環境活動の輪を広げる。	「低炭素」「循環型」「自然共生型」社会を目指す。「見て・触れて・考える」施設。市民・事業者・研究機関・NPOとのパートナーシップ。交流・発信・実践・検証の場。	「環境」について、触れて、感じて、学んで、いつのまにか今より詳しくなれる場所。	
	構造など	鉄筋コンクリート造、1階部分の一部を使用 学習コーナー、図書コーナー、ミニ水族館	東京スクエアガーデン内6階、315㎡ *事務室除く 展示情報コーナー、交流室、研修室	鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階、2,700㎡ 企画展示コーナー、体験コーナー、図書コーナー、交流コーナーなど	鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階、3712.43㎡ *地域センターとの複合施設 資料室、学習室、実験室など	
	環境配慮設備	雨水利用				〇トイレ
		太陽光発電		〇太陽光発電		〇太陽電池
		風力発電				〇風力発電
		太陽熱利用			〇放射熱→冷暖房システム	〇太陽熱集熱器→90℃給湯
		地熱利用		〇地熱利用	〇地熱利用	
		屋上緑化・菜園		〇壁面緑化	〇屋上菜園	〇壁面・屋上緑化
		ビオトープ			〇屋上ビオトープ	
緑のカーテン		〇				
遮熱・断熱・遮光		〇遮熱塗料、二重特殊ガラス、庇		〇二重壁構造		
その他		BEMS		トップライト・エコサークル（自然光を取り入れている）		
開設経過	前身は環境書籍1,500冊を揃える環境図書コーナーや、相談・ボランティア活動の拠点機能を持つ環境学習ルーム。江上庁舎内にあったが、平成17年に移転して開設した。	最先端の環境技術が取り入れられた東京スクエアガーデンの6階「京橋ステーション」内に設置。区条例により一定面積以上の建物建設の際には、行政機能の付加が義務付けられている。	京都市開催の「地球温暖化防止京都會議（COP3）」を記念し、環境学習・環境保全活動の拠点として開設。市内の環境NPOや消費者・事業者団体代表、学識経験者等による研究会、企画委員会等が開設に至るまで主体的な役割を果たした。	開設から20年が経過した27年度にリニューアル。大型展示は廃止し、有識者と区職員からなるあり方検討委員会提言を受け、機能充実と協働推進を柱に全面改修した。		
立地条件・周辺環境	商店街。コープの1階。 西宮北口駅徒歩5分。 利用者は小学生中心。	オフィス街。 京橋駅すぐ、銀座一丁目駅・宝町駅徒歩2分、東京駅・有楽町駅徒歩6分。 企業・在勤者利用多。	住宅少ない。 横に青少年科学博物館がある。竹田駅徒歩12分、藤森駅徒歩5分。	住宅地。 志村坂上駅徒歩20分、ときわ台駅バス10分。 無料送迎バスあり。		
主な業務	・環境学習相談窓口 ・環境学習のサポート ・地域の環境活動のサポート ・情報の発信 ・川の学習拠点 (ミニ水族館)	・研修室の貸し出し ・講座、イベント等の実施 ・情報の発信 ・活動登録団体による企画展示、活動発表会	・講座、イベント等の実施 ・ボランティアの養成、支援 ・外部イベントへの出展 ・環境保全活動への助成 ・情報発信 ・地域社会への提案 ・会議室の貸し出し	・講座、イベント等の実施 ・出前授業 ・情報の発信 ・会議室の貸し出し ・事業者連携による企画展示		
休館日	月曜日、年末年始	年末年始のみ	木曜日、年末年始	第3月曜日、年末年始		
開館時間	9時～17時	9時～21時	9時～21時 *展示コーナーは17時まで	9時～17時 *施設貸出は21時30分まで		

施設名		西宮市環境学習サポートセンター	中央区環境情報センター	京エコロジーセンター	板橋区エコポリスセンター
公の施設		×	○	○	○
	運営者	委託 建物管理 職員 事業運営 NPO法人こども環境活動支援協会 (LEAF)	委託 建物管理 職員 事業運営 (株)小学館集英社プロダクション  ・大企業の本社や組織力のある環境団体が多く、連携が実現しやすい環境にある。 ・運営事業者の企画力が生かされた事業が展開されている。	指定管理 公益財団法人京都市環境保全活動推進協会  ・担い手を養成するための連続講座に力を入れている。 エコメイト(任期3年) エコサポーター(エコメイト卒業生)	指定管理 H27～環境立区いたばし(2社JV) 建物管理:(株)東急コミュニティー 事業運営:(株)学研教育出版 H29～板橋エコみらいプロジェクト(4社JV) 建物管理:東京リビングサービス(株)、(官公需適格組合)板橋建物総合管理共同組合 事業運営:(株)小学館集英社プロダクション、東京リビングサービス(株)
職員体制		スタッフ 平日1名、休日2名 サポーター 1～3名	8名 常勤3名、非常勤5名 *常時2名。2交代制。	16名 エコメイト51名 エコサポーター122名	施設管理:2名+α 事業運営 正規13名 ※事業運営担当職員は全て正規職員、仕様書で非常勤は認めず
ランニングコスト	合計	2,100万円	運営費3,300万円(事業費込)	指定管理委託料 H26 1億5,257万円	指定管理委託料 1億4,250万円
	人件費	自然環境センター一括委託施設管理費700万円		7,661万円	—
	施設管理経費	事業費1,400万円		—	維持管理費4,030万円
	事業運営費	—		6,577万円	事業費1,539万円
	光熱水費	—		—	—
	修繕費	—		8万円	—
その他			業務委託費212万円 その他4,525万円 差引収支345万円		
2 運営	来場者数	H28 利用者:24,886人	H26 来館者:32,400人程度	H27 入館者:100,701人	H26 来館者:143,111人
	貸館	なし	研修室利用(2室) 15,105人	会議室2室、視聴覚室1室、実習室2室、4,894人(440件)	視聴覚ホール1室 環境学習室1室
	見学		展示室来館:7,024人	団体:5,859人(183団体)	
	講座・イベント	体験:52件(34小学校) 地域団体・施設への活動支援:585名と10組(13回)		エコ学習:3,944人(132件) 館外事業:5,865人(36回) おもちゃのかえっこ:5回	啓発事業・イベント・その他:96,460人
	リーダー養成			エコメイト養成講座:受講21人、登録16人、6回 ステップアップ講座(環境ボランティア向け):11回	指導者養成講座参加:150人 かんきょう観察委員登録:67人
	出前講座 講師派遣	保育士・教員研修:12回 企業:3社、参加者104名		出前講座・講師派遣:10件	363回(保育園・幼稚園・小学校等)
	団体連携	エココミュニティ会議等活動コーディネート(会議・イベント支援):40回	交流室利用者:1,249人	エコ学区への学習会:2,516人(46回)、相談・ヒアリング・取材:300回超	環境活動団体登録:20団体 ボランティアなど参加:990人 団体への場の提供:1,396件
	情報発信	エココミュニティ情報掲示板		資料貸出2,215冊、ビデオ・DVD 1,739人、新規カード登録者156人	エコツアー:1,117人(4回) 環境なんでも見本市:2,968人(2回)
	その他	エコ活動認定 アースレンジャー:5,804名 バッジ:2,764名 (ファミリー向け、幼児向けもあり)	エコキッズ	環境学習副読本作成(小学校4・5年生、中学生)エコセン通い帳:参加者3,500人(10回以上達人51人)	みどりのカーテン事業:コンテスト応募70人、応援団体登録数210人
	利用料	貸出施設なし	午前1,900/午後2,500 夜間3,100/全日6,800 *登録団体7割引	午前/午後/夜間 会①2,000/2,600/2,900 会②1,600/2,100/2,400 視聴4,100/5,300/6,100 実習2,100/2,800/3,100 (附属設備別料金)	午前/午後/夜間 視聴覚 1,700/2,000 学習室 910/1,100 *登録団体は減免有。
特徴	・平成15年に全国初の「環境学習都市宣言」。運営団体を軸に多様な環境学習が進められ、家庭、地域、学校など、全生活領域に浸透している。		・正規職員の専門性の向上を図るため、様々な研修等に参加している。	・講座等の事業数が多く、内容も充実している。	

施設名		港区エコプラザ		施設名		港区エコプラザ		
施設写真				公の施設		○		
視察年月日		平成27年4月30日		運営者		指定管理 株式会社キャリアライズ		
1 施設概要	設置者	港区		運営者		・企業等との会議体を発足し、連携している。		
	開設年	平成20年		職員体制		7名 常勤6名 非常勤1名		
	理念・基本的な考え方	「低炭素社会」「自然共生型社会」「循環型社会」をテーマに、身近なエコ活動から、地球規模の規模のテーマまで、楽しいエコ発信基地。		ランニングコスト		合計 指定管理委託料 7,235万円		
	構造など	鉄筋コンクリート造、地上1～3階を利用、1157.98㎡ ホール、多目的室、会議室		ランニングコスト		人件費 人件費3,616万円		
	環境配慮設備	雨水利用			ランニングコスト		施設管理経費 施設管理経費629万円	
		太陽光発電			ランニングコスト		事業運営費 事業運営費1,786万円	
		風力発電			ランニングコスト		光熱水費 光熱水費37万円	
		太陽熱利用			ランニングコスト		修繕費 修繕費：220万円	
		地熱利用			ランニングコスト		その他 その他：776万円 差引収支：169万円	
		屋上緑化・菜園	○屋上緑化		来場者数		H27 利用者：54,462人	
		ビオトープ	○ビオトープ		貸館		会議室2室 登録団体利用のみ：503回	
		緑のカーテン	○		見学		実施事業数：138事業	
	遮熱・断熱・遮光			講座・イベント				
	その他	床材などに区民の森の間伐材を利用		リーダー養成				
開設経過	平成5年にリサイクル系啓発施設として開設。平成20年に廃校跡地を民間に貸し付けて民間資金で施設を整備。1～3階を区が買い戻して移転開設した。平成13年からの検討を生かし、環境全般の普及啓発をする「エコプラザ」となった。		アクティビティ		出前講座 講師派遣			
立地条件・周辺環境	オフィス街。大使館あり。 浜松町駅徒歩4分、大門駅徒歩3分。 企業・在勤者・外国人利用多。		団体連携					
主な業務	・講座、イベント等の実施 ・情報の発信 ・会議室の貸し出し ・事業者連携による企画展示		情報発信		図書貸出約2,000冊、DVD、体験型学習教材			
休館日	第4月曜日、年末年始		その他					
開館時間	9時30分～20時		利用料		無料			
			特徴		・大使館や大企業と連携した取り組みや、大人、在勤者向けの事業が充実している。			

9 武蔵野市エコプラザ（仮称）の整備に向けた市の基本的な考え方（案）への意見及び取り扱い方針

「武蔵野市エコプラザ（仮称）の整備に向けた市の基本的な考え方（案）」への市民意見聴取を次のとおり実施した。

- ・パブリックコメント：平成30（2018）年9月15日から10月9日実施、49名・団体  
（オープンハウスを平成30（2018）年9月16日・26日、10月2日に実施）
- ・無作為抽出による市民ワークショップ：平成30（2018）年9月29日実施、31名参加
- ・武蔵野市エコプラザ（仮称）検討市民会議：平成30（2018）年10月29日開催（案への意見は4名）

あわせて84名・団体からのコメントを、市の基本的な考え方（案）の目次に沿って186件の意見に分類した。

基本理念 \_ 目指すもの

パブコメ=パブリックコメント、ワーク=ワークショップでの意見、  
会議=武蔵野市エコプラザ（仮称）検討市民会議での委員の意見

No.	意見要旨	対応	種別
1	SDGsの達成に向けて貢献するという考え方に賛成する。	エコプラザ（仮称）では、環境分野の活動を通じて、SDGsの達成に貢献してまいります。	パブコメ
2	周辺整備協議会や公募市民会議での検討等を経てまとめられた基本理念は、大いに評価できる。上位理念にSDGsを挙げながらも、実際の（現実的）な目標理念として身近で日常的な生活環境要素の取り込みには好感がもてる。	持続可能なまちづくりのために、様々な環境問題が日々の生活とつながっていることを知ってもらうことから始めてまいります。個々の活動をつなぎ、さらに地域の力をまち全体に広め、SDGsの達成に貢献したいと考えています。	パブコメ
3	「環境問題→環境行動→地域づくり→まちづくり」の連鎖は論理的・シンプルで非常に良いと思う。SDGsは不可欠なコンセプトだろうが、初めて知った。		パブコメ
4	目指すものとしてSDGsを掲げていてとてもよいが、言葉を知っている人は多くない。言葉を調べようとすると図書館にも本屋にも本がない。わが事として捉えてもらうためにも、もっとわかりやすい説明が必要だ。	SDGsの説明をより丁寧に修正するとともに、ロゴマークを挿入しました。	会議
5	案からは、エコプラザが市民個々の生活に寄り添うものであり、市民の前向きな取り組みを支える場をめざしていることを感じられる。	環境に関する様々な疑問を受け止めるとともに、探究心をはぐくむプログラムやアーカイブなどを揃えていきたいと考えています。	パブコメ
6	多くの時間をかけて真摯に議論が行われたことは大切なことと思う。詳しいプロセスの情報が公開されたことはとても良い。今後期待するのは市域全体への波及効果だと考える。「場」を作ることにはまず一歩でしかないので今後の展開に大いに期待する。	すべての市民が様々な環境問題を自分のこととして捉え、ライフスタイルを変えるきっかけとなるよう啓発を進めます。	パブコメ
7	ごみ減量の格言「買すぎない・作りすぎない・食べすぎない」の「三すぎない運動」を進めてはどうか。クリーンセンターが日本一と言われるが、ごみを捨てる市民も日本一でありたいと願っている。	持続可能なまちづくりを目指し、日々の生活の取り組みを、ごみの減量を含めた環境に配慮した取り組みへと改善していけるよう、啓発してまいります。	パブコメ
8	そもそもゴミを出さない暮らしへ。そのきっかけのエコプラザになるといい。		ワーク
9	パリ協定時の予測より温暖化の進行が早まっている。IPCCの総会では「2050年までに実質ゼロ」=「脱炭素」の必要性が指摘された。今からつくるエコプラザが目指すものとしては、「低炭素」ではなく「脱炭素=CO2実質ゼロ」に書き換えるべきと思われる。「脱炭素革命」という言葉はビジネスの世界でも一定浸透している。	脱炭素に向けて社会の大転換が必要であることは認識していますが、まずは低炭素モデルの実現を目指すことで、SDGs達成への貢献を目標に啓発に努めてまいります。	パブコメ

10	「行動する地域づくり」の意味がわからない、「地域」と「まち」が同義に近いので「地域をまちに広げる」という表現はわかりにくい等があるため、4項目の説明文を次のように変えてはどうか。 「日々の暮らしの中に環境問題があることを知り、可能なことから行動につなげる」、「とりわけ、低炭素社会を目指した行動を促進する」、「一人ひとりの行動をつなげ、環境改善に向けた地域力を高める」、「環境分野の地域力を、環境以外のまちづくりとつなげ、まちづくり全体の向上を推進する」	個々の気づきからライフスタイルの変化へと促し、集い育ち合う中で地域ぐるみでの取り組みへ、さらに武蔵野市全域へと拡大させることを目指しています。 いただいたご意見を参考に、わかりやすく伝えられるよう修正いたします。	パ°ブ コメ
11	「一人ひとりの行動から行動する地域づくりへと進める」の文言がわかりづらい。		会議
12	基本理念が立派である。	基本理念を体現できるよう、検討を進めてまいります。	パ°ブ コメ
13	エコプラザ整備に向けた市の基本的な考え方に賛成する。		パ°ブ コメ
14	全区市町村があっと驚くエコプラザにしてほしい。		ワー
15	「市の考え方（案）」を読み、エコプラザに対する理解が深まり興味と関心が湧いてきた。今後もっともっと勉強していきたい。	今後も、エコプラザ（仮称）に関する周知を進め、全市的な取り組みとなるよう努めてまいります。	パ°ブ コメ

## 基本理念 \_ コンセプト

No.	意見要旨	対応	種別
16	共、創、継、場を標榜し、市民参加を基調としながらもクリーンセンターの歴史の継承と将来に渡る環境要素の多様性の受容まで配慮していることを評価する。	クリーンセンター建設と武蔵野市のごみ問題には、市民参加の歴史が詰まっています。理念として残すだけでなく、旧クリーンセンターのプラットホームと事務所棟の一部を活用してエコプラザ（仮称）を開設し、環境啓発の拠点として市民にごみ処理への理解を求めていくことには意義があると考えています。4ページの「エコプラザ（仮称）から啓発する意義」でも、旧クリーンセンターが歩んできた経緯について記載しています。	パ°ブ コメ
17	旧クリーンセンター誕生の歴史の振り返りは、武蔵野市民にとって忘れてはならない事象であり、きちんと後世に残す必要があり、うんと強調したい。		パ°ブ コメ

18	<p>エコプラザはクリーンセンター建て替えの検討の中で生まれたものであり、新クリーンセンターと一体で考えられてきた施設である。エコプラザを単独の施設として捉えて議論することは不十分であり、その必要性を考慮する際の本質を見誤ることになる。新クリーンセンターとエコプラザの機能を整備できる用地を他に得ようとするれば、どれだけの財政負担が必要なのかという点に触れずに5億円の整備費が無駄だと言うのは、旧クリーンセンターの建設時からこの問題に関わってきた市民に対し、極めて無責任な態度である。</p> <p>全市民が同じ意識でクリーンセンター建設問題に取り組むにはどうしたらよいか、周辺整備協議会ではこの点に最も心を配って議論してきたが、結論としてその方法は一つ、クリーンセンター自体を必要としない社会にすることである。その道筋をつけて着実に進めることが、将来再び施設の更新という問題に向き合うことになる次世代市民に対する、私たちの責任である。</p> <p>市民にごみを発生させないライフスタイルを促すためにはエコプラザが必要で、旧施設を利用したエコプラザを新クリーンセンターと一体で整備することに意義がある。</p> <p>エコプラザの整備に反対するのであれば、エコプラザがなくてもゴミ焼き場がここから無くなる方法、対案を示すべき。</p>	<p>すべての市民が、環境問題を自分のこととして捉え、ライフスタイルを変えたり、対話しながら連携することができれば、持続可能なまちづくりにつながると考えています。</p> <p>エコプラザ（仮称）はすべての市民に向けた環境啓発の拠点として、多様な環境のことだけでなく、クリーンセンター建設の歴史や議論・成果・関わった方たちの思いなども継承してまいります。</p>	パ°ブ コメ
19	<p>エコプラザは、クリーンセンター建設に向けた周辺住民の粘り強い話し合いと受け入れの決断の経過や、クリーンセンター運営協議会の施設の安全な稼働に向けた長い間の活動へのエネルギーと思いを継承し、施設周辺整備協議会で検討された基本的なコンセプトや考え方を反映したものであることを希望する。</p>		パ°ブ コメ
20	<p>エコプラザの建設については10年ほど前から継続して、「全市民が気軽に訪れることのできる、ごみゼロを目指すための啓蒙活動をする場を作る」というコンセプトで議論されてきた。ごみゼロを目指す啓蒙活動を行う施設としては現在考えられる最高の施設になるだろうし、またなってくれることを大いに期待する。そもそもの経緯を考えずに5億円の改修は高いという反対意見を言うのは考え直してほしい。</p>		パ°ブ コメ
21	<p>エコプラザについては委員会、協議会で長年検討を積み重ねてきた。周辺地域や関係団体、一般市民など多くの市民の参加でいねいに話し合われてきた。施設周辺の住民として日々感じているのは、全市民にごみ処理への関心を持ってほしいこと、ごみの問題は誰でも共通の生活に関わる大きな問題であること、環境全体にかかわることなどである。市民・事業者・自治体が協同して取り組まなくてはならない。ごみを含め環境について、市民が学び合う・話し合う・育ちあう場が必要である。</p>	<p>エコプラザ（仮称）では、様々な市民、市民団体、事業者、行政などが環境について学び合い、対話し、育ち合うことを目指しています。連携して取り組むためのプログラムや学び合いのできる場を提供できるよう、検討を進めてまいります。</p>	パ°ブ コメ
22	<p>私たちが安心して暮らしていくためには、単にごみ処理施設だけでなく、大人・子どもたちへの環境啓発が必要。環境への配慮などから事務所棟とプラットホームを再利用し、地球温暖化を考える環境啓発の拠点エコプラザを整備する・ごみを通じて低炭素社会に向けた行動を促す場とすることに期待している。</p>	<p>ごみ問題はエコプラザ（仮称）の原点ですが、持続可能なまちづくりのためには、ごみ、資源、エネルギー、緑、水循環、生物多様性など多様な環境啓発が必要です。全市的な環境啓発の拠点となるよう努めてまいります。</p>	パ°ブ コメ

23	温暖化の影響か、集中豪雨や熱帯夜の現状を誰にでもわかりやすく説明する大人の責任を感じている。小さなことだが、武蔵野市から発信できることを誇りに思う。エコプラザの建設を希望する。	「みんなでつくろう！子どもたちに未来をつなぐエコプラザ」をコンセプトに、環境問題の本質を正しく理解できるように、わかりやすく啓発してまいります。	パ ブ コ ム
24	「ごみ減らし青い地球を次世代に！（市募集当選標語）」をコンセプトに、市民が日常生活における環境問題を考え現状を改善し、住みよい地域の創生をめざすことを推進することが肝要と思う。		パ ブ コ ム
25	子どもたちも含めて日々の生活での環境の課題を考えさせられる施設となってくれることを願っている。		パ ブ コ ム
26	子どもころからこういった環境について学んでいくことで、環境分野に親しみをもって大人になっていくのではないか。		ワ ー ク
27	良いと思う。	コンセプトを体現できるよう、管理運営のあり方などについて検討を進めてまいります。	パ ブ コ ム
28	基本的な考え方に素敵なことがいっぱいあった。期待している。		パ ブ コ ム
29	エコプラザを環境分野の発信源としたいという思いが熱く伝わってきた。		ワ ー ク
30	環境問題を総合的に取り上げ継続的にセミナーを開くなどして、環境にかかる市民の活動を活発化していくことが大切と思う。もっと環境問題の重大さを市民に訴え、エコプラザを活用して、行政と市民が一体となって取り組むことが必要と思うので、エコプラザの早急な立ち上げに期待する。	市民団体や民間事業者など多様な主体とネットワークを構築する中で、多様な環境に関わる情報を収集し、わかりやすく伝える啓発の拠点でありたいと考えています。	パ ブ コ ム
31	2020年に開設することが完成ではなく、決めたコンセプトを基本とした「スタート」だと思う。いかに人が集まり、エコを体感し、生活に反映できるかを大切に運営していただきたい。型にはまらず、毎年の繰り返しでなく、時代の変化に追従（エコの考え方もどんどん変化するだろう）した運営を期待している。	エコプラザ（仮称）のコンセプトの考え方として、「進化しながら磨く」を掲げています。時代、ニーズ、価値観の変化などにアンテナを張り、人も施設も学び合い、常に育ち続けたいと考えています。	パ ブ コ ム
32	「環境問題」は何かを我慢するものになってしまっている。夢のある環境対策が必要。		ワ ー ク
33	異なる主体との連携については、コレクティブインパクトという言葉があるが、目標や成果、基本的な価値などを共有したうえで行うということを示したほうがよい。そうでないと各論でズレが出てくるのが心配。	いただいたご意見を踏まえ、加筆しました。	会 議
34	コンセプトがあいまいで、隣にクリーンセンターがあるのに同じような施設を開設すること自体が理解できない。環境啓発の施設であれば、クリーンセンターに付属することで足りると思う。	旧クリーンセンターの一部を活用してエコプラザ（仮称）を開設し、環境啓発の拠点として市民にごみ処理への理解を求めていくことには意義があると考えています。ごみだけでなく多様な環境問題について啓発する拠点として、クリーンセンターとは役割分担してまいります。	パ ブ コ ム

機能 \_ 施設の位置付け

No.	意見要旨	対応	種別
35	環境啓発の拠点であり、だれもが利用できるというのが良い。地球市民として考えていかねばならない。デリバリ型も選択肢となっていることに拍手。	全市的な環境啓発の拠点施設とするためには、エコプラザ（仮称）はもちろん、既存の施設や場も積極的に活用して事業を展開する必要があると考えています。	パ°ブ コム
36	この施設が、武蔵野市民のごみ問題を中心とした環境問題について情報を発信し、市民が活動するよりどころとなり、周辺地域にとってもクリーンセンターとともに誇れる施設となることを願っている。	多くの市民に活用され、日々の生活から環境を考える際のよりどころとなるよう、努めてまいります。	パ°ブ コム
37	明るく入りやすい場にしてほしい。		ワーク
38	中高生も学びにくる場になるとよい。		ワーク
39	学生も来られる場になるとよい。		ワーク
40	一人暮らしで頼れる人がいないため、助けを求められる場になると良い。コミセンは敷居が高いと感じる人もいるため、コミュニティカフェが世代を越えてつながることができる場となってほしい。		ワーク
41	新クリーンセンターを見学した際、ガラス越しの巨大なダストボックスに膨大なごみが溜められているのを見て衝撃を受けた。ごみ問題が「具体的なもの」「自分事」として初めて理解できた気がする。市民へのアピールはもちろん、保育園・幼稚園・小中学校の教育プログラムの一環として新クリーンセンターのダストボックス見学を組み込み、そこからごみ問題を自分のこととして考える取り組みを、エコプラザから発信していただけたらと思う。	「気づき」のためには、問題の「見える化」はとても効果があると考えています。エコプラザ（仮称）は、新クリーンセンターと連携して啓発の取り組みを推進してまいります。ごみ問題はエコプラザ（仮称）の原点ですが、持続可能なまちのためには、ごみ、資源、エネルギー、緑、水循環、生物多様性など多様な環境啓発をあわせて行う必要があります。全市的な環境啓発の拠点施設となるよう努めてまいります。	パ°ブ コム
42	ごみ処理だけを目的とする施設ではなく、問題を「見える化」し、市民に問いかけ、考えさせ、何らかの行動につなげる施設は、地球環境問題が深刻になった今、絶対に必要であり、エコプラザがその役割を担う施設になると期待している。長期的な視点で意味のある施設として存続してほしい。		パ°ブ コム
43	エコプラザがセンター内（隣接）にあることのプラス面は承知しているが、「環境＝ごみ処理」の印象を払しょくする努力が必要である。		パ°ブ コム
44	旧クリーンセンターの施設の一部を残して、エコプラザとして環境やごみ問題などを扱って行くこの事業について、大きな期待感を持って見ている。		パ°ブ コム

45	エコプラザの本市における位置づけが明確でない。市として本気で取り組むのであれば、Leading Cityとしての市の環境対策を立案・計画し、市民だけでなく対外的にも積極的に発信していく主要拠点・中枢センターとなりシンボリックな存在として整備することとなる。ところが、「機能」「連携・協力」「管理運営」の記述からは、市民みんなで楽しく勉強・体験学習していく「レジャーランド的な広場」の姿が浮かび上がってくる。環境対策に本気であれば、緑・自然、生物多様性の問題、下水道の問題、接道緑化での道路や個別住宅の建築指導問題などなど、いろいろな課題と議論が出てくるはずである。	エコプラザ（仮称）では、ごみ、資源、エネルギー、緑、水循環、生物多様性など多様な環境啓発を行うことを想定しています。エコプラザ（仮称）で啓発する環境問題が多様なものであることについては、市の基本的な考え方（案）に記載したとおりです。 また、環境問題に気づくこと、気づいて感動することから関心が喚起され、探究する中で他者と関わり新たな視点や価値観、活動などが生まれることを期しています。 最新の科学的知見や社会動向などを踏まえつつ、魅力的な啓発施設になるよう、検討を進めてまいります。	パ°ア コム
46	市民および関係機関の環境意識を高めるとともに行動をネットワーク化し、「環境都市むさしの」というべきものをつくっていくための拠点として、ぜひ活かしていければと思う。資源・エネルギー分野に止まらず、生物多様性を含む多様な環境分野を取り込んでいく構想であるとのこと、期待している。		パ°ア コム
47	武蔵野市の環境問題とその対策の情報発信の拠点として位置づけ、各関係部署が認識している環境関連の問題情報を収集し、若い人たちが真摯に環境について学習できる場や活動として動けるような場にすべきと思う。		パ°ア コム
48	コミセンとの棲み分けについて示していただければと思う。	エコプラザ（仮称）は多様な環境問題と環境の大切さを啓発する全市的な拠点施設です。環境を切り口に人と情報が集まり、対話することで新しい価値を創り続けます。その一環として、コミュニティセンター等の既存施設を活用した出張型の取り組みを行うことなども想定しています。	パ°ア コム
49	エコプラザは環境啓発に止まらない機能をもつと思うので、「多様な環境啓発の拠点施設」ではなく「多様な環境啓発とネットワークの拠点」としたほうがよい。説明文は「多様な環境啓発とネットワークの拠点として、環境に配慮した行動を促すとともにそれらをネットワーク化していく」としたほうがよい。	いただいたご意見を参考に、文言をネットワークについて加筆しました。	パ°ア コム

## 機能 \_ 施設の機能

No.	意見要旨	対応	種別
50	環境問題、ごみ問題などひもとくような講演や講座を企画してほしい。	市民や市民団体、民間事業者などが持っている知恵・ノウハウなどをエコプラザ（仮称）に集約し、環境の大切さや様々な環境問題についてわかりやすく提供してまいります。	パ°ア コム
51	セミナー・講演会など、環境についての情報発信を行う場であってほしい。	いただいたご意見は、今後、エコプラザ（仮称）のプログラムなどをつくっていく中で、参考にさせていただきます。	ワーク
52	市のごみ処理について情報を発信してほしい。		ワーク
53	エコプラザで、時代に合わせたごみの分別方法を学ぶ必要がある。		ワーク

54	エコな暮らしに関心を持ち、省エネや再生可能エネルギー（太陽光発電など）の最新技術を知り体験できるなど、エコにつながる暮らし方を学べる場。学習の場として「ごみの行方コーナー」「生ごみたい肥、野菜づくり」なども。		パ°ブ コメ
55	ものにあふれ、高齢化が進んだ現代社会の中では、無理に家の中にものをためこむのでは無く、身の回りを整理して、無駄なものを増やさないライフスタイルが重要である。そのような知恵を学ぶ場になればよいと思う。		パ°ブ コメ
56	子どもたちを対象に啓蒙するプログラムを充実してほしい。		パ°ブ コメ
57	大きなイベントをきっかけに、子どもたちに環境について学んでほしい。		ワ-ク
58	イベントに参加できるなど、子どもたちが環境問題に興味を持てるようになってほしい。		ワ-ク
59	マイクロプラスチックなど、石油由来のごみが大きな問題である。次世代の子どもたちが、石油とどのように向き合っていくかということを大きなテーマとして捉えていただきたい。		パ°ブ コメ
60	地球温暖化をはじめ、ごみやエネルギーなどの現状を伝えてほしい。		ワ-ク
61	子どもたちには「捨てない」ことの大切さを学んでほしい。そのためには、大人がそれに取り組んでいる姿を見せることが大切であり、「つながる」ことに意味がある。		ワ-ク
62	ごみ便利帳の内容からセミナーをしたら良いと思う。市民のみなさんのアイデアを集めて展示してほしい。		パ°ブ コメ
63	3R連続環境講座「生ごみたい肥で野菜を作りごみを減らそう」の講習会の会場に使用させてほしい。年1回の開催ではごみ減量の効果もうすれてしまう。		パ°ブ コメ
64	武蔵野市の郷土種を使った緑化を実現させてほしい。昔からの土が保全されている独歩の森や農家の屋敷林などの実生苗が候補となる。		パ°ブ コメ
65	市民活動の記録を残しておく機能を是非加えていただきたい。情報の宝庫となり文字通り環境啓発の拠点となる。	エコプラザ（仮称）で実施した事業やプログラムについて、成果も含めて活動記録を残したいと考えています。詳細については、今後検討してまいります。	パ°ブ コメ
66	エコプラザで学んだこと、話し合ってきたことなどを次世代に伝えてほしい。		ワ-ク
67	世界の「脱炭素革命」では啓発や誘導を越え、「規制（禁止や義務付け）」による強制的なエネルギー転換が主流になりつつある。「科学的知見に基づく危機感」が共有されている人の中ではそれが受け容れられている。科学的知見や、対策の効果と費用などの基礎情報の共有を進め、負担や規制の受容について市民が合理的な判断をできるようにするための「啓発」が求められている。	市民団体や民間事業者など多様な主体とネットワークを構築する中で、最新の科学的知見や、助成制度・規制等の環境に関する社会動向などの情報を収集し、わかりやすく伝える啓発の拠点でありたいと考えています。機能の内容に加筆します。	パ°ブ コメ

68	エコプラザへの来訪者は限定されるため、エコプラザは市民への情報提供・反応を各種通信機能を効率的に活用することが重要。	情報の伝達は重要な機能の一つと考えています。啓発だけでなく双方向のコミュニケーションが図れるように、様々なツールを今後、検討してまいります。	パ°ブ コム
69	機能の5項目のうち「知る」「学ぶ」の主語は市民、「つなぐ」「育てる」「支える」の主語がエコプラザであるため、すっきりしない。内容の左欄は体言止めと用言止めが混じっているが、どちらかに統一できるほうがよい。 「知る」「学ぶ」のあと「育てる」「つなぐ」「支える」の順ではどうか。 「はぐくむ」と「育てる」は同じ意味なので、どちらか一つではどうか。	いただいたご意見を参考に、「学ぶ、学び合う」のあと「はぐくむ、育てる」、「つなぐ」の順に修正いたします。 体言止めと用言止めが混ざっている部分は、「キーワード」として活かします。「はぐくむ」は守って伸ばすイメージ、「育てる」は自立した状態にするために必要な手段を講じるイメージで、これまでの検討でも使い分けられています。	パ°ブ コム

### 連携、協力 \_ 多様な主体との連携、協力

No.	意見要旨	対応	種別
70	環境問題に取り組んでいる団体がエコプラザを拠点として情報交換や交流会、学習する機会を持つなどしてお互いを理解し協力すれば、大きな力になって課題の解決に向かい、次世代に生きる子どもたちが安心して住み続けられる環境をつくることのできるのではと期待している。	現在、環境啓発の取り組みは、環境分野ごとに、市民、市民団体、民間事業者、市など様々な主体が行っていますが、エコプラザ（仮称）を拠点としてネットワーク化することで、環境に関する情報の集約や活動の広報、また、新たな啓発の取り組み・活動へとつなげられるよう、参加しやすく、対話が生まれやすい場の提供に努めてまいります。	パ°ブ コム
71	「地域における各種主体の連携による温暖化対策の推進」を提案・実践してきたが、ここに市の各部課や公共施設、地域の市民団体、事業者、教育機関などが加わり各主体の強みを結集することができれば、効果的な連携を実現できる可能性が見えてくる。市が主体的・積極的に「効果的な連携づくり」に参画することを期待する。		パ°ブ コム
72	「環境に関する総合的なネットワークを構築する」という広大な使命をエコプラザが帯びていることを、参加する市民や諸団体のみなさんが正しく理解することで、実現に大きく前進することが可能となるのではと思う。		パ°ブ コム
73	ひとりひとりの暮らし方へ影響を与えるために「学び合う」ことや「人と人をつなぐ」ことが強く求められる。市民として多くの課題に取り組んできた地域であり、本物の住民参加が可能な参加型の施設であってほしいと思う。		パ°ブ コム
74	エコプラザへの来訪者は限定されるため、関係先との連携を保つことが必要。		パ°ブ コム
75	位置的に多くの市民に足を運んでもらうことは難しいので、エコプラザ側から地域に出かけていくスタイルが必要と考える。特に夜間の講座などは、武蔵野プレイス等駅近の施設での開催を中心とすべきである。	エコプラザ（仮称）を拠点として、既存の施設や場を活用した出張型の取り組みもあわせて行ってまいります。	パ°ブ コム

76	エコプラザの基本理念にあるSDGsについては、目標の多くの部分で障害者支援と重なる部分がある。「すべての人」の中に障害のある方が含まれていることを意識でき、また地域に啓発できるような取り組みを協力して行っていければと思う。 障害のある方が制作した小物などを販売する活動を広報・発信し、また知的障害など重い障害のある方が地域住民のひとりとして活躍できる場として整備していただければうれしい。	SDGsは「誰ひとり取り残さない」社会を実現するための目標であり、エコプラザ（仮称）は誰でも利用できる施設です。障害のある方にも利用いただけるよう、連携していきたいと考えています。	パ ブ コ ム
77	定期的な集客イベントの開催も大切だと思う。「エコマルシェ」、おもちゃのかえっこ、フリーマーケットなど様々な広がり多くの人の身近な場所になっていくことを期待している。	環境への関心を高めるためには、継続的・段階的な仕掛けが必要です。既存の集客力のある取り組みを、エコプラザ（仮称）の空間を利用して実施することを検討してまいります。	パ ブ コ ム
78	エコプラザの運営など、まだ詳細が煮詰まっていない時点で、運営に携わる人材の提供、運営への参画など、武蔵野シルバー人材センターへのチャンスを検討いただきたい。	運営や事業に関わる人づくりは、大切な要素と考えています。また、事業の展開にあたっては、市民や市民団体、事業者などとの連携が欠かせないと考えています。今後詳細について検討してまいります。	パ ブ コ ム

### 連携、協力 \_ 環境を切り口とした他分野事業との連携について

No.	意見要旨	対応	種別
79	何らかの形でエコ関連の企業（産業）を誘致できる工夫ができればと思う。	市民や市民団体、事業者などとの連携は欠かせません。魅力ある環境政策を打ち出せるよう市として努めてまいります。	パ ブ コ ム
80	環境の横串を刺すことで他分野と連携が図れればすごいこと。	地球温暖化問題に関して正しい知識をもち、環境に配慮した生活を実践するためには、ごみ、資源、エネルギー、緑、水循環、生物多様性など多様な環境問題と環境の大切さ、日常生活と環境問題とのつながりなどについて啓発する必要があります。多様な環境問題には関連性があり、どの分野にも軽重はありません。また、エコプラザ（仮称）での啓発が、子ども・文化・教育・生涯学習・福祉など多岐にわたる分野に横串を刺し広い視点で考えつつ、一人ひとりの日常生活での環境に配慮した行動を促すものとなるよう、努めてまいります。	パ ブ コ ム

### 管理運営 \_ 運営の考え方

No.	意見要旨	対応	種別
81	市民活動同士も連携が難しいと言われているが、エコプラザのコーディネート機能に期待する。		パ ブ コ ム
82	エコプラザ整備を機に、行政・市民だけでなく様々な主体の環境活動、持続可能な地域・社会を考える必要があると思う。また、閉塞感のある地域コミュニティの場にならないことも大切。まだ運営主体や展開が見えないが、今まで他地域・他分野でできなかった新しい持続可能な社会の構築を目指していただきたい。		パ ブ コ ム

83	図示された展開は理解できるが、美しいイメージ倒れにならないよう、行政を含めた管理運営者の強力なリーダーシップが必要と 思料する。	エコプラザ（仮称）の運営には、環境に関する専門的知識をもつだけでなく、中立的な立場で活動を支援するファシリテーターとなれる人材が必要と考えています。利用者に寄り添いニーズを把握しながら、各分野、各団体の持ち味や強みを生かしたコーディネートができるよう努めてまいります。	パ°ブ コム	
84	運営は誰がするのか。行政、市民を等分に見られる理事長を置いて 長期的展望で運営していただきたい。また市民団体のスタッフを起用し、職員の激しい異動の弊をカバーしてはどうか。		パ°ブ コム	
85	よい施設になるかどうかは、管理運営する人材・体制次第である。当面は市の直営という方針は妥当と思うが、専門的知識、経験 を有する人材の確保を期待する。 また、5年後以降についても、民間企業を含む指定管理者制度で3年ごとの更新といった方法は、市民との意識の乖離、事業の継続性等から問題を感じるケースも見ているので、できれば避けて いただきたい。		いただいたご意見を参考に、今後、運営体制について検討してまいります。	パ°ブ コム
86	人材の発掘または育成に期待する。		パ°ブ コム	
87	エコプラザの運営を担う人材の育成については、市民活動推進課の「コミュニティ未来塾むさしの 地域をつなぐコーディネート力養成講座」のノウハウや卒業生を活用できると思う。	エコプラザ（仮称）の運営には多様な環境に関する専門的知識、コーディネート力、利用者に寄り添う姿勢などの資質のほか、事業の企画・実施、接遇等の能力も必要と考えています。	パ°ブ コム	
88	市民運営になると逆にガチガチの運営になりがちであることを市民は経験済み。研修等で身に付けていただき、何のための施設か ということを基本にものを考えられる人を育てていただきたい。		パ°ブ コム	
89	目的も計画案も素晴らしいが、それが可能な人材なしには無意味になる。		パ°ブ コム	
90	運営については、一つの団体に偏することなく多様な環境活動を行う個人、団体が携われるような仕組みづくりが求められる。		パ°ブ コム	
91	施設を作ることは、天下りの温床になる。	パ°ブ コム		
92	ごみ減量アドバイザーの養成。	エコプラザ（仮称）の運営や事業に関わる人材の育成を進めてまいります。	パ°ブ コム	
93	コンセプトに沿った運営を期待している。武蔵野市ならではの市民活動が育まれますように。	環境啓発の拠点として積極的に周知を進めるとともに、利用者に寄り添い、利用者が学び合い、育ち合うことのできるような運営を目指します。	パ°ブ コム	
94	案の通り整備を進め、残された運営方法についての具体的な検討に速やかに着手することを望む。		パ°ブ コム	
95	エコプラザ開設から5年間という期間を目途として過渡的な運営から恒常的なそれへと推移するという考え方は非常に斬新で、市民会議の力量を感じる。		パ°ブ コム	
96	相談者を迷わせないように、しばらくは庁内環境政策課が窓口となり相談を受け、エコプラザの周知が進んでから直接行けるようにする。		パ°ブ コム	

97	案では具体的事業内容が曖昧模糊として明快には述べられていないため、これからは、各分野の有識者・実務経験者などの市民・市民団体を含む委員会を設置し、環境問題にLeading City武蔵野の気概がみられる活動内容を取り込むべく、再検討をお願いしたい。	「市の基本的な考え方」、「管理運営方針」が定まった後には、具体的な実施プログラムの内容などについて検討する市民参加の運営に関する協議会を設置し、検討を進めてまいります。	パ ブ コ メ
98	シルバー人材センター関連施設が入れば不燃ごみ等が増えるだけとなり、ごみゼロを目指す啓蒙活動の拠点にするとのコンセプトとは程遠くなる。	シルバー人材センターとは、機能面で様々な連携ができると考えています。	パ ブ コ メ
99	今後の展開の部分が見えていないが「実は地域だけの便利な施設」にせず、市全体を視野に入れた広がりやを常に考えていただきたい。他のさまざまな市の施設も含め、一部の人のための場所にならないように定期的に参加のデザインを振り返り修正することを行っていただきたい。	すべての市民が環境問題を自分のこととして捉え、ライフスタイルを変えるきっかけとなる啓蒙の拠点を目指します。時代、ニーズ、価値観の変化にアンテナを張り、常に育ち続けたいと考えています。	パ ブ コ メ
100	箱を用意することで終わりではなく、その後の活用を力を注いでいただきたい。		パ ブ コ メ
101	環境は市民にとって地味な問題なので、イベントを次々に打たないとなかなか出かかない。エコプラザの利用者推計は甘すぎるのではないかと。それとも、武蔵野市としてエコ環境教育にそこまで人力とお金を注ぐのかを教えてください。建物があればコンセプトが残って、それを続けるために、あとはNPO任せで、そのうち本旨がぼやけるということも起こりかねない。真の目的、精選された目的に対し、費用対効果の一点で再考をお願いする。	環境は喫緊の課題のため、エコプラザ（仮称）を環境啓蒙とネットワークの拠点として、多くの市民に活用してもらえるよう努めてまいります。時代、ニーズ、価値観の変化にアンテナを張り、市民や市民団体、民間事業者など多様な主体と接点を持ちながら、持続可能なまちを目指します。 また、エコプラザ（仮称）では、市の施策と関連して事業を展開することを想定しており、市民・市民団体・民間事業者などと市の連携が不可欠です。	パ ブ コ メ

### 管理運営 \_ 運営にかかるコスト

No.	意見要旨	対応	種別
102	エコプラザ事業ありきの意見募集を行っているのだとすれば、市民に対する説明責任のあり方としての適切が問われてしかるべき。運営にかかるコストは、事業の必要性を考える上では極めて重要な要素であり、現時点では試算不能とされている運営にかかるコストも踏まえて検証する必要がある。	運営にかかるコストについては、今年度中に管理運営方針を定め、その中で試算します。	パ ブ コ メ
103	費用対効果も考えてほしい。		ワ ー ク
104	提示されている新施設予算は最低限の話で、これ以上が考えられる。また、年間維持費もかかる。		パ ブ コ メ
105	供用期間は何年か。イニシャルコストは容易にはじき出されるが、供用期間が示されてはじめてランニングコストが出てくる。イニシャルとランニングコストを合わせたトータルコストを出し、エコプラザ自体がエネルギーコストの低い省エネ型の施設を作っていただきたい。	供用期間も含め、施設の管理運営にかかるコストについて、今年度中に定める管理運営方針の中で示します。エコプラザ（仮称）の整備にあたっては、トータルコストを重視しつつ、省エネルギー化、低炭素化に資する施設を目指し、検討してまいります。	パ ブ コ メ

## 管理運営 \_ 評価・検証のあり方

No.	意見要旨	対応	種別
106	事業評価は不可欠であり、独自の尺度での評価でもよいと思う。	環境啓発のあり方として、コミュニティセンター等の既存施設を活用した出張型の取り組みを行うことを想定しています。評価基準については、エコプラザ（仮称）への来館者数だけでなく、出張型の取り組みを含めた効果や成果を含めた指標が必要と考えています。いただいたご意見を参考に、今後、検討してまいります。	パ ブ コ メ
107	評価の基準として「（他自治体等からの）視察の受け入れ件数」を加えてはどうか。SDGsにどのくらい貢献しより良い社会になったかをはかる有力な手掛かりになり、先進的な政策を発信する武蔵野市であってほしいという市民の期待に沿う指標になると思う。視察した自治体が作成する視察レポートの内容も評価の上で大いに参考になると考えられる。		パ ブ コ メ
108	エコプラザの立地は必ずしも市内全域からアクセスが良い場所とは言えないため、啓発企画は3駅周辺やコミセン、小中学校区ごとに実施し、より多くの参加を得ることを目指すべきと思う。成果指標はエコプラザへの来館人数だけではなく、市内外各所で実施される企画も含めた啓発人数を重視するべき。		パ ブ コ メ

## 空間の利用 \_ ごみ処理施設にあるエコプラザ、リノベーション方針

No.	意見要旨	対応	種別
109	プラットホームゾーン等の配置図が、「東が上」になっていて理解しづらかった。	配置図と空間利用の図との方位が違うのはご指摘のとおりです。空間利用の図は説明の関係上、長辺方向とさせていただきます。方位記号と注釈を付け加えます。	パ ブ コ メ
110	既存の建物の有効活用はたいへん評価したい。多くの方々のご意見で良いものができることを楽しみにしている。		パ ブ コ メ
111	築30年であれば、リホームではどうか。		パ ブ コ メ
112	プラットホームのありのままを残す意図は大賛成。		パ ブ コ メ
113	旧クリーンセンターの建物を改修することで、必要な機能を作っていけるなら、それがエコな施策なのでおおいに推進していただいで結構。		パ ブ コ メ
114	場所を考えてほしい。		ワ ーク
115	交通の便が良くないこの地域に人が集まるか不安に思う。		ワ ーク
116	次のクリーンセンターの建替えに備え、30年後を見据えながら動く必要がある。		ワ ーク
117	災害時にも必要備品等を備え、活用できるようにしたい。		ワ ーク
			エコプラザ（仮称）には災害時の避難施設としての位置付けはありませんが、18ページに記載の防災機能について、具体的に検討してまいります。

## 空間の利用 \_ 機能と各階の配置構成

No.	意見要旨	対応	種別
118	ハコについては、現時点で大枠を決める必要があるが、フレキシブルに活用できるような工事にとどめていただくとよいと思う。	旧事務所棟、プラットホームともにフレキシブルな利用を想定しています。	パ ブ コ メ

119	具体的な構想を見せてほしい。例えば、環境に関する市民団体のメールボックス、市や東京都、近隣自治体の環境関連資料の棚を整備して皆が利用できるようにする。ロビーを作って、各団体が自由に討議できネットワークを作りやすくする。同時に、武蔵野プレイス3階との重複を避ける。	エコプラザ（仮称）で生み出されるイベント・講座など様々な情報や活動記録等は、すべての利用者が閲覧・活用できるように、工夫してまいります。また、市民や市民団体などが交流する機会・場を提供し、環境に関するネットワークの拠点を目指します。	パ°ブ コメ
120	各階に1か所、広さによっては2か所に給水機の設置を。マイボトル持参者は増えているが、水を補充できる場所がないという声が多く聞かれる。マイボトルを安心して持ち歩くには、要所要所に給水場の設置は不可欠であり、まずは公共施設にあるのが当たり前にしていくことが大事。	マイボトルの持参は、環境に配慮した取り組みとして推進すべきものと考えます。エコプラザ（仮称）への給水機の設置については、いただいたご意見を参考にしながら、可否について検討します。	パ°ブ コメ
121	給水設備は、環境配慮と熱中症予防の観点からも必須設備になる。直接飲む口と水筒への給水用のハイブリッドタイプの設置を希望する。		パ°ブ コメ

### 空間の利用 \_ 機能と空間利用

No.	意見要旨	対応	種別
122	環境のことが学べて子どもと一緒に過ごせる子育てひろばを作ってほしい。	子どもから大人まで世代を問わず、環境の大切さや環境問題を学びながら過ごしていただける空間を目指しています。	パ°ブ コメ
123	クリーンセンターが隣にある強みを生かし、子どもたちも学ぶ場として活用できるように（事例発表など）。		パ°ブ コメ
124	子育てイベントを開催してほしい。		ワ-ク
125	区画ほぼ中央の新管理棟あるいはその付近に、国旗掲揚台を設置することで、重要性を表現できる。	ご意見として承ります。環境の重要性を知っていただけるような工夫を今後も検討を進めてまいります。	パ°ブ コメ
126	お茶碗リユース（展示）コーナーもあれば、市民の交流もさらに広がると思う。	お茶碗をはじめとした日用品のリユースの取り組みも大切な環境啓発の取り組みの一つです。いただいたご意見を参考にしながら、今後、エコプラザ（仮称）の具体的な事業内容について検討してまいります。	パ°ブ コメ
127	お茶碗リユースコーナーの設置をお願いしたい。		パ°ブ コメ
128	お茶碗リユース事業は市民の確実なニーズがある。常設のお茶碗コーナーを設置し、市内における事業展開の拠点としての位置づけを目指したい。リユース食器使用のため、エコプラザ内に厨房を設置し、その食器洗浄スペースを活用したい。		パ°ブ コメ
129	お茶碗リユースコーナーがあったらと思う。また、リサイクル粘土でお茶碗を焼いたりするワークショップなど、他の施設の取り組みを参考にしてほしい。		パ°ブ コメ
130	まつりやイベントで使われる使い捨てプラスチック容器に代わって、リユース食器を使ってもらうための整備（食器を揃え、洗浄できる設備）を要望する。海のプラスチックごみ汚染が問題として浮上してきた。これまで便利で豊かな暮らしを享受してきた私たちも今こそ本気で直さなければならぬ時期に来ている。今すぐ何ができるのか何をしなければならぬのか、エコプラザで皆で考えていけたらと願う。		パ°ブ コメ

131	不要食器の常設陳列。ごみ類の分別体験。備品として、レンタル用食器、腐葉土作製等のための耕運機、各種キャンペーン用のぼり旗用ポール、運搬用軽トラック。		パ°ブ コメ
132	リユース情報を集め、物々交換ができたり、フリーマーケットを開催する。		ワーク
133	キッチンにリユース食器を備えてほしい。大きなおまつりの際使用し、できれば洗浄施設が備えられたら助かる。	環境問題と食育は深く関係しています。いただいたご意見を参考に、法令等を勘案しながらコミュニティカフェの運用方法などについて、今後検討してまいります。	パ°ブ コメ
134	エコクッキングで調理・エネルギー・資源など学ぶ場があればうれしい。		パ°ブ コメ
135	食品ロスをなくすための料理講習会（エコクッキング）を通じごみ問題を考えるための厨房の設置（腰より上をガラス張りにし開放的な雰囲気にする）で、情報の発信、相談、交流ができる市民の交流の場としたい。		パ°ブ コメ
136	可燃ごみの半分を占める生ごみの資源化は重要な取り組みで、生ごみのたい肥化と野菜作りを展開することが必須である。厨房を設置することで、エコクッキングや食育の拠点としての展開も考えられる。		パ°ブ コメ
137	調理室、会議室等があればよいと思う。		パ°ブ コメ
138	調理場があれば屋上で収穫した野菜などをその場で料理して楽しく食べたり、親子で料理を楽しんだり、フリーマーケットをしたりできる。		パ°ブ コメ
139	エコ・カフェの一角にトークテーブルを設けて、時々テーマやフリーで話せるようにして、関心がある人の対話を促すのがよい。コーヒー等はフェアトレードで。		コミュニティカフェをエコプラザ（仮称）内に設け、世代を超えた人・情報の交流を促したいと考えています。
140	環境に関心のない層などに来ってもらうためには、常設の不用品交換コーナーや、食品ロスを活用したカフェ等の設置を希望する。		パ°ブ コメ
141	コミュニティカフェ等気軽に集まれる要素が必要。		ワーク
142	常設として、リサイクル品販売コーナー、お茶碗リユースコーナー、簡単な打ち合わせもできる交流コーナーがあるとよい。「むさしのエコボ」をアピールできるコーナーも。	エコプラザ（仮称）での販売事業は法による一定の制限がありますが、活動の紹介や市民団体などとの連携、「むさしのエコボ」の周知は積極的に行ってまいります。	パ°ブ コメ
143	家具リサイクルコーナーの設置（シルバー人材センター）をお願いしたい。	プラットホームのフリーゾーンは、子どもたちが環境のことを楽しく学べる設えや展示のほか、エコプラザ（仮称）や市民団体などの活動を紹介する展示などを行う場にしたいと考えていますが、具体的な利用方法については、今後、いただいたご意見を参考にしながら検討を進めてまいります。	パ°ブ コメ
144	プラットホームの半分に予定している展示物だが、展示の具体的な内容が明確でないことは課題である。現在のリサイクル店内に陳列できない家具類を置いて見やすくしてほしい。たとえば廃棄自転車などを陳列するスペースがあれば、誰かが使用することにつながるか。市民が負担なく購入できる場をさらに充実させてムダをなくすことは、地球環境にも市民にもうれしい場所になるのではないか。		パ°ブ コメ

145	大量採取→大量生産→大量消費→大量廃棄の、私たちの「豊かな」社会が成り立っている結果として地球環境に負荷をかけ続けているのだということを、視覚的に学べるような場を準備することで、「地球規模で考え、地域で行動する」ことが促せると良いと思う。	具体的な空間の利用方法や展示物の内容については、時代の変化に対応できる設えを前提としつつ、いただいたご意見などを踏まえて、今後検討してまいります。	パ°ブ コメ
146	大きな空間を使って、廃材を使った「環境ゴジラ」とでもいってよきモニュメントを創ってはどうか。		パ°ブ コメ
147	プラットホームの高い天井を活かして、ボルダリングができればどうか。		ワーク
148	ごみの排出実態を認識し減量を目指す動機推進を図るための、ごみ排出量の推移についての展示。ごみ減量のモニターの募集と実績発表の場も。		パ°ブ コメ
149	「環境によいこと」を具体的にできる仕組みをつくる。たとえば、足こぎ発電機のようなものを設置しておいて、10分漕いだらコーヒーを10円値引きするとか。		パ°ブ コメ
150	廃材を利用した、子どもの工作教室の設置をお願いしたい。		パ°ブ コメ
151	総花的に書かれた内容を読んだが、何だかピンと来ない。唯一「ものづくり工房ゾーン」はDIY工房のような形ができれば喜ぶ人が多い気がした。		パ°ブ コメ
152	エコプラザで不要物の処分の方法を教えるのであれば、だいぶ昔市役所にあった空き缶回収機を、復活してほしい。ペットボトルの家庭での始末をどうすべきかが写真展示等でわかるようにしてもらいたい。		パ°ブ コメ
153	足湯等会話のきっかけになるものがほしい。		ワーク
154	かつてクリーンセンターはフリーマーケットの場として使われていた。ごみピットエリアについては、フリーマーケット再開の検討も必要だが、イベント会場や教育の場としてたくさんの使い道が考えられるため、エコプラザを拠点とした催し物として考えることが肝要。		旧プラットホームゾーンは大空間が特徴的であり、この空間を活かしたプログラムを実施してまいります。
155	屋上で野菜作りをしたい。クリーンセンターの屋上菜園では面積が狭く、見学者に作物を提供したいが育ちが間に合わない。	耐震上の問題から屋上に菜園を整備することは困難な状況です。	パ°ブ コメ
156	野菜を栽培してはどうか。	エコプラザ（仮称）は、クリーンセンター敷地内の新工場棟や新管理棟など様々な施設やフィールドを一体的に使って取り組みを展開し、多様な環境啓発を進めます。エコプラザ（仮称）東側の外部空間を緑を感じる憩いの場とし、緑、水循環、エネルギーなどを体感できるようにしていきたいと考えています。	ワーク
157	クリーンセンター敷地内の一体的な活用として、いろいろな雨水タンク・浸透ます、垣根の展示、ピオトープの配置などを期待する。	レインガーデン、雨水タンクなどを使った雨水の利用や、種の保存・生物多様性などを啓発するプログラムの実施についても、今後検討してまいります。	パ°ブ コメ
158	「どんぐり広場」には、市内のコナラやクヌギの種を守ることを念頭に、地元の雑木林から落ちたどんぐりを子どもたちが撒くなど教育事業として行うことがよい。 芝生（雑草）とあるのは、市民が在来種・外来種を勉強しながら在来種中心の野草空間を育てていければよいと思う。		パ°ブ コメ
159	ラボック市のばら園の再開を楽しみにしている。		パ°ブ コメ

その他

No.	意見要旨	対応	種別
160	これまでエコプラザ計画の中で行ってきた市民検討会議における議論や、啓発活動自体は一定の意味があったと思う。	平成22（2010）年2月から新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会、平成29（2017）年2月からエコプラザ（仮称）検討市民会議を設置し、長きに渡り、委員間の情報共有を図りながら活発な意見交換を行ってきました。今後も「みんなで作ろう！」をコンセプトに運営方針やプログラムなどについて検討を続けてまいります。	パ°プログラム
161	平成29年4月に検討委員会が発足して以来過重なスケジュールにもかかわらず、「基本的な考え方（案）」として集約されたことに敬意を表する。		パ°プログラム
162	旧クリーンセンター跡地の有効活用のあり方については、「ごみ関係、環境関係の施設でなければならない」という縦割り行政的な考え方をとる必要はなく、改めて、全市的な観点から再検討いただきたい。例えば、今後子育て世代が増加することを考えれば、市役所の一部機能を移転し、市役所の空きスペースで保育所の運営を外部委託するという有効活用も考えられる。	エコプラザ（仮称）の原点は本市のごみ問題にあり、エコプラザ（仮称）の整備は新クリーンセンターの建替えと一体の計画として進めてきました。 ごみをはじめ、資源、エネルギー、緑、水循環、生物多様性などの多様な環境啓発の拠点として、環境の大切さや環境問題の根源・本質・つながりなどをわかりやすく伝えるとともに、市民参加型の啓発施設として新旧クリーンセンターの歴史も継承してまいります。	パ°プログラム
163	多額な税金の投入を伴う事業であることが分かった今、旧クリーンセンターの改修作業を進めるのではなく、一旦立ち止まって、本当にこれほどの税金投入に見合った事業なのか、再検討の必要がある。事業内容を見ると、そのほとんどが、ハコモノがなくともできる事業、市の他の施設で代替可能な事業である。代替手段や費用対効果の検証をしっかりと行うことが極めて重要である。	エコプラザ（仮称）の開設にあたり市内の環境啓発の取り組みを一元化・体系化する過程で、市が実施する事業の整理・再編を行い、市民団体や民間事業者が環境啓発の主体として活躍できる機会を提供するとともに、その活動を支援することが必要と考えています。	パ°プログラム
164	エコプラザの建設は必要ない。人口が減少し財政的に非常に逼迫することが予想されている中、建設すること自体が無駄で、維持費もかかるような施設は不要。		パ°プログラム
165	検討市民会議で重ねられた検討には敬意を表するが、エコプラザの目的・理念の実現はここでしかできないものか。改修費用、その後の維持管理のランニングコスト、理念を実現できる研究体制、発信できる人材を確保した組織を長い年月維持するのは行政の覚悟も並大抵のことではないだろう。現在のクリーンセンターでの展示や会議室での事業展開、プレイスでの他団体との連携などではできないのか。大きな施設を持たなくても教育委員会との連携でエコ教育として出前授業では不足なのか。上下水道事業には莫大なお金がかかることが喫緊である現在、新たにエコプラザを発足させるのには疑問を感じる。	また、子どもや教育、文化、福祉、生涯学習などの環境以外の分野の事業についても、環境を切り口にエコプラザ（仮称）で展開できる事業があることから、市の関係課や財政援助出資団体などとも協議を進めてまいります。 施設開設後も、運営や事業実施を担う人材育成を進め、コンセプトに忠実に、時代や価値観、ニーズの変化などに対応しながら、新しい価値を創り続けていきたいと考えています。 なお、旧クリーンセンタープラットホームと事務所棟の改修については、シンプルな設えとすることでコスト削減を図る方針です。	パ°プログラム
166	高齢者が多くなってきた近年、出向が困難でもあり出張講座等で近くで学ぶ仕組みのほうがより啓発になる。市内には数多くのコミセン等すばらしい箱物があり、これ以上必要か。箱物は次世代につけを残す可能性があるのではないか。		パ°プログラム

167	<p>模型により具体的に部屋の用途の説明を受けた。アーカイブ室…中央図書館の分室として学習室や読書室を増設した建物が計画された時点で準備すればよい。エコ講座室…各コミュニティセンターや庁舎西棟講義室など、他の公的な場所でも目的は達成できる。重要なのは、常に開催して生活の身近な場所で意識を浸透させていくこと。映像講座室…クリーンセンター2Fのコーナーの一つを利用し、常時20分程度のをを放映し、定期的継続的に内容をテーマ化（寒い時期には冬用のエコ術など）する。コミュニティカフェ…クリーンセンター2Fに自販機等を置いてコミュニティの場にする。</p>		パ°ブ コメ
168	<p>「環境」を全面に出すと、人が集まりにくいのではないか。</p>	<p>「環境」をテーマに他分野とも連携を図ってまいります。</p>	ワ-ク
169	<p>イベントなどにおけるアンケート調査として有効回答が99人とあるが、市民の意見を聴取したとは全くいえないのではないか。市民の意見をもっと丁寧に吸い上げる仕組みを早急に考えてもらいたい。</p>	<p>イベントなどにおけるアンケート調査については昨年秋から、また、平成30年9月から10月にかけては3回のオープンハウス・無作為抽出ワークショップなどをパブリックコメントと併せて実施しています。今後も機会を捉えて、周知や意見聴取などを行ってまいります。</p>	パ°ブ コメ
170	<p>市民に周知するためにも、エコプラザ（仮称）の名称を公募してほしい。</p>		パ°ブ コメ
171	<p>エコプラザ（仮称）は、「仮称」とずっとついているが、これくらいいつまでにどのように決めるのかという見通しや計画はあるのか。</p>	<p>市民周知・広報の必要性は市としても十分認識しています。ご意見を踏まえ、今後検討してまいります。</p>	会議
172	<p>市民に対しての今後の広報や周知については、伝える工夫、努力が必要だと思う。</p>		パ°ブ コメ
173	<p>行政としては、市民全般によく判る質問をするべきではないか。文面にカタカナが多すぎて判読、理解が困難である。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、巻末に用語解説を追加しました。</p>	パ°ブ コメ
174	<p>基本理念には抽象的で聞こえの良い言葉が格好良く羅列されているが、その後の「機能」「連携・協力」「管理運営」では明示されておらず分かりにくい。</p>	<p>具体的な管理運営のあり方については、今年度中に管理運営方針を作成する予定です。</p>	パ°ブ コメ
175	<p>焼却施設の昔をしのび、模型を楽しめた。</p>	<p>クリーンセンター建設の歴史を継承してまいります。</p>	パ°ブ コメ
176	<p>「お示ししました」は「示しました」とする。「生物多様性の保存」は「生物多様性の保全」がよい。</p>	<p>ご指摘のとおり、修正いたします。</p>	パ°ブ コメ
177	<p>クリーンセンター新管理棟建設は100億円の無駄遣いだ。委託業者が設備管理しているため従来のように事務所が隣接する必要はない。また、新管理棟建設で重要な資産である景観を失う。新管理棟が建たなければ空地に障害者自立の支援となる藍の木などを植えるとよい。</p>	<p>クリーンセンターの管理運営は民間事業者に長期包括委託をしていますが、管理運営の責任は市にあり、市職員も委託業者と連携しながら業務を遂行する必要があることから、新工場棟と合わせて新管理棟を配置しています。その上で景観に配慮して計画しています。</p>	パ°ブ コメ

178	クリーンセンター見学者コースは、閑散として人を招き入れる雰囲気がない。廊下を利用して、効果的な展示だけでなく、そこで関心を持った来場者に情報を案内し取り組みにつなげるきっかけをつくる。太陽光パネルや自然エネルギー関連のものを具体的に紹介できるよう屋上にも案内し、来場者が疲れない動線を考えていく。ごみ処理の見学は、エコ学習の現場という位置づけだから、クリーンセンター見学者コースという名称をエコプラザ見学コースに変えたほうがよいのではないかと。また、リチウム電池のことなどをここで見せながら伝えていけば、より理解が深まると思う。	クリーンセンター新工場棟は、平成29年4月に稼働を開始し、平成29年度は約23,000人の来館がありました。今後、エコプラザ（仮称）と連携しながら、より多くの方に見学いただき、ごみ処理に関する学びの場として充実できるよう努めてまいります。	パ ブ コ メ
179	現状のエコプラザ（新クリーンセンター見学者コースと思われる）は利用者が少なく寒々しい場所という印象。賑わいのあるスペースにするのがまず大事だと思う。ハイセンスさではなくもっと素朴さを追及してほしい。		パ ブ コ メ
180	クリーンセンターと環境政策課は統合して、似たような取り組みは整理・統合してはどうか。	今後、市の環境啓発事業については、より効率的・効果的な事業へと再編を進めてまいります。	パ ブ コ メ
181	エコプラザにシルバー人材センターの移転を唱えている人がいると聞かすが、シルバー人材センターの粗大ごみ再生サービスを導入しても罪悪感なく粗大ごみを持ち込む市民が増えるだけで逆効果になることを周辺整備協議会では時間を掛けて議論し結論に至っており、受け入れられない。	シルバー人材センターとは、機能面での連携について検討してまいります。	パ ブ コ メ
182	台風前の市役所からの注意メールは防災の準備に役立っている。メールを受け、クリーンセンター裏の野球場周辺の排水溝の泥除去を行っているが、やってよいことなのかやめるべきなら言ってほしい。	大変ありがたく思いますが、作業中の負傷等の危険性がありますので、気になる排水溝などありましたら、市にお問い合わせくださいますようお願いいたします。	パ ブ コ メ
183	マンションなどの建設により人口が増え、バスの便と自家用車が増加し大渋滞による環境悪化が想像され、緑は目に見えて減少している。「緑が多い高級住宅地」としてのブランド力は地に落ちスラム化が進み犯罪発生率が上昇すると、高額所得者の市への転入は減り、高齢が進んだ結果、市の財政悪化に繋がる。	エコプラザ（仮称）では、環境悪化や緑の減少を抑制できるように、より多くの市民に環境の大切さを伝え、環境に配慮した行動を促していきます。	パ ブ コ メ
184	武蔵野市シルバー人材センターも、今後の検討会議等へ是非参加させてほしい。リサイクル事業をやっているが、公益法人であるため、営利を追求せず、リサイクルと格安価格での市民への「リサイクル品」を提供している。この点を含みエコプラザ設立に際して、一角の確保を検討いただきたい。	市民団体等との連携は重要であると考えています。シルバー人材センターとは、機能面での連携について検討してまいります。	パ ブ コ メ
185	武蔵野市はコミセンを核として地域活動が形成されているが、老朽化したコミセンの建替え等に役立つ場所であることは必然である。	エコプラザ（仮称）は全市民的な環境啓発施設であり、ごみ処理施設の付帯施設のため、コミュニティセンターの建て替えに使用することは難しいと考えます。「環境」をテーマに、コミュニティセンターと連携を図ってまいります。	パ ブ コ メ
186	行政職員、市議、市長の報酬は東京都の水準と比較してどうか。改めるところが多々あると思う。	ご意見として承ります。	パ ブ コ メ

10 用語解説

あ	アーカイブ	様々な情報を記録し保管すること。ここでは、施設で新たに生み出されるイベント・講座などの事業の成果や、活動の記録を残し、閲覧・活用できるようにすること。
あ	アップサイクル	流行おくれの衣類など使わなくなったものや廃棄物を、新しい素材やより価値の高いものへと変換すること。
あ	現し（あらわし）	木造建築で、柱や梁などの構造材が見える状態で仕上げる手法。天井を張らずに梁を見せるなど。
い	インタープリター	自然・文化等を分かりやすく人々に伝える人のこと。自然についての知識そのものを伝えるだけではなく、その裏側にある「メッセージ」を伝える。
う	雨水タンク	建物の地下や個人の住宅などに設置し、雨水を溜めるための貯水タンクのこと。道路の舗装等により地下に雨水がしみ込まずに、下水道にそのまま流れてしまうことを防ぐ一助となる。
え	エネルギー地産地消	その地域の需要に合ったエネルギーを地域独自に生産し、その地域で消費すること。
お	オープンカレッジ	大学、研究所などの行う公開講座。
お	オープンハウス形式	パネル等の展示と合わせ、参加者が質問したり、自由に意見を述べることができる会議等の開催方式のこと。
か	間伐材	森林の樹木の発育を図るために、劣等な樹木などを間引くことによって、伐り出された木材のこと。
け	建築物環境配慮指針	地球温暖化対策のため、本市における建築物の省エネ化を推進するために定めた基準のこと。建築物の断熱化や、再生可能エネルギーの利用、各種設備の省エネルギー化など、10事項を定めており、市内で建築する事業者に対して各項目の履行をお願いしている。
げ	ゲリラ豪雨	発生の予測が難しく突発的な集中豪雨を指す通称。
こ	構造計算	建築物等に加わる荷重などの外力に対して、安全かどうかを確かめるために行う数値計算。
こ	コーディネーター	団体や組織が抱える問題点から課題を抽出し、その解決策を検討し全体の調整や統合をする役割の人。
こ	コミュニティカフェ	様々な活動団体や人が集い、交流し、情報交換することのできる地域社会の場や居場所のこと（営利目的のカフェではない）。エコカフェも同義。
さ	再生可能エネルギー	エネルギー資源のうち、資源そのものの枯渇を懸念せずに利用できる資源の総称。発電に利用されるエネルギー資源を指すことが多い。主な再生可能エネルギーとしては、太陽光、風力、水力、波力、地熱、太陽熱、バイオマスなどがある。
ざ	財政援助出資団体	市が出資等を行い、団体の行う業務が市政と極めて密接な関連を有している団体または市が継続的に財政支出を行っている団体のうち、特に指導監督等を要する団体。
じ	ジェンダー	歴史的・社会的に形作られた男女の差異（に対する意識）。
じ	循環型社会	大量生産・大量消費・大量廃棄型社会に代わるものとして提示された概念。循環型社会形成推進基本法では、「天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会」としている。
せ	生物多様性	動物、植物、その他すべての生き物は一つ一つに豊かな構成があり互いに支えあって生きており、そうした「様々な生きものがつながっていること」。
そ	ソーシャルインパクト	様々な活動の結果を通じて、市民生活へ与える影響のこと。社会的影響力。
た	耐震基準	一定の強さの地震が起きても倒壊または損壊しない住宅が建築されるよう、建築基準法が定めている基準のこと。
た	太陽光発電システム	自然エネルギーを利用した発電方式のうち、太陽光を利用した発電方式。
て	低炭素社会	気候変動問題の主原因とされる二酸化炭素の排出が少ない社会のこと。

ば	バイオマス	生物を利用して有用物質やエネルギーを得ること。また、その生物体。生物資源。
ひ	ヒートポンプ	水を低い所から高い所に押し上げるポンプのような原理で、低温側から高温側に熱を移動させる仕組み。冷暖房や給湯機などに応用される。
ふ	ファシリテーター	団体等の活動が円滑に進むように、意見をひきだし、まとめ、また成果が上がるように支援したり、調整したりする役割をする人のこと。
ふ	プラットフォーム	クリーンセンター（清掃工場）において、収集した廃棄物を積み下ろしする場所。
ま	マネジメント	経営や運営について、組織だって管理すること。
み	水資源	人間が生活や生産に役立てる資源としての水。
り	リユース	使用済みの製品を再使用すること。
れ	レインガーデン	降雨時に雨水を一時的に貯留し、時間をかけて地下へ浸透させる透水型の植栽スペースのこと。
わ	ワークショップ	提起された課題についての具体的な方法・処理などに関して意見を交わしたり案を作成したりするための集まり。
L	LED	発光ダイオード。

武蔵野市エコプラザ（仮称）の整備に向けた  
市の基本的な考え方  
平成30（2018）年11月

発行／武蔵野市環境部環境政策課  
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28  
電話 0422-60-1841（直通）